

## はじめに

平成26年度は、11月15日（土）に開館以来の利用者数が100万人に達し、年度末に開催しました特別展「微笑みに込められた祈り 円空・木喰展」を皮切りとする開館10周年記念行事をスタートさせるなど、当館にとって大きな節目を迎えたシーズンとなりました。

展示活動としては、春に特別展「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」を、夏に企画展「福岡市博物館所蔵 幽霊・妖怪画大全集」、秋に企画展「甲斐の黒駒 歴史を動かした馬たち」、翌年度にかけて前述の開館10周年記念特別展「円空・木喰展」を開催いたしました。「幽霊・妖怪画大全集」においては、3万人近い利用者があったほか、「甲斐の黒駒」では、古墳時代から行われてきた本県の馬生産をめぐる歴史や文化を紹介し、わが国の歴史のなかで、馬が果たしてきた大きな役割について、多くの方々に学んでいただくことができました。また、シンボル展は2回開催し、富士山世界文化遺産登録1周年を記念した「広重の不二三十六景」と、「さわれる富嶽三十六景」を開催し、後者の展覧会では触覚型展示という当館初の展示手法を取り入れ、幅広く多くの方々に利用して頂く展示を目指す試みを実施いたしました。

調査研究活動では、日本学術振興会科学研究費による課題が新たに2件採択されたほか、県費による総合・共同研究、富士山世界文化遺産学術調査・研究を継続して推進しており、本県の歴史・文化に関する重要なテーマについて、引き続き取り組んでおります。一方、県内の研究者・団体が取り組む研究への支援などを目的とした「みんなの研究」を開始し、今年度は研究者の採択と来年度の成果発表に向けての準備を行いました。当館が掲げる「参加体験・交流型博物館」、「成長する博物館」を実現しつつ、博物館が担う使命を果たしていくため、今後も調査研究体制の充実に努めてまいります。

おかげさまで当館は開館10周年を迎えることができました。これまでのあゆみのなかで、当館へお寄せいただいたご協力に対して御礼申し上げますとともに、今後も皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

山梨県立博物館

館長 平川 南

# 目次

## はじめに

### 第Ⅰ編 山梨県立博物館の目指すところ

#### 第1章 県立博物館の評価制度……………1

- (1) 県立博物館の使命……………1
- (2) 新たな評価制度の策定……………1

#### 第2章 通信簿ツアーの実施……………5

- (1) 通信簿ツアーの内容……………5
- (2) 通信簿ツアーの結果……………7

### 第Ⅱ編 事業・諸活動

#### 第1章 運営・ミュージアムサービス……………21

- (1) 運営・ミュージアムサービスの方針……………21
- (2) 平成26年度利用者状況一覧……………21

#### 第2章 調査・研究……………25

- (1) 外部資金による調査・研究……………25
- (2) 県費による調査・研究……………27
- (3) 個別調査・研究……………28
- (4) 調査・研究成果の公表……………30
- (5) 富士山世界文化遺産学術調査・研究……………32

#### 第3章 資料の収集・保管・活用……………34

- (1) 資料収集の方針……………34
- (2) 資料の収集……………34
- (3) 資料の整理・目録（データ）化……………35
- (4) 資料の修復・管理……………36
- (5) 資料の活用……………37

#### 第4章 展示……………38

- (1) 常設展示……………38
- (2) 企画展・シンボル展等……………46
- (3) 展覧会関係刊行物……………65

#### 第5章 企画交流事業……………67

- (1) 生涯学習サービス事業……………67
- (2) 博学連携……………69
- (3) 博物館同士のネットワーク……………75
- (4) 広報……………76

#### 第6章 施設の整備・管理……………77

- (1) 安全快適な施設づくり……………77
- (2) 施設開放……………77

#### 第7章 情報の発信と公開……………78

- (1) 資料閲覧室の利用状況……………78
- (2) 博物館総合情報システム……………79
- (3) 博物館ホームページ……………80

#### 第8章 県民参画……………81

- (1) NPOとの連携……………81
- (2) 博物館協力会（ボランティア）との連携……………82
- (3) かいじあむ みんなの研究……………83

#### 第9章 組織・人員……………84

- (1) 職員の資質向上……………84
- (2) 第三者委員会……………84

#### 第10章 外部支援と連携……………86

- (1) 外部支援……………86
- (2) 外部との連携……………86

### 第Ⅲ編 各種資料

#### 1 組織・職員等名簿……………87

#### 2 平成26年度予算額……………89

#### 3 年間日誌……………89

## 凡例

- ・各事業の経緯・方針・関連法規等については『平成17年度 山梨県立博物館年報』を参照されたい。
- ・各種委員等の名簿における勤務先・役職等については、全て平成26年度におけるものである。
- ・原則として、各種名簿の順序は五十音順である。
- ・敬称は略している。
- ・「県立博物館」と表記されているものは、全て山梨県立博物館を指す。

（表紙）常設展示「城下町の賑わい」のジオラマの人形

# 第 I 編 山梨県立博物館の目指すところ

## 第 1 章 県立博物館の評価制度

### (1) 県立博物館の使命

#### 使命 1

■山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史」を学ぶ場を目指します。

山梨県の歴史の特色は豊かで多様な自然に育まれた人々の個性あふれる暮らしの歴史である、とまとめられます。だからこそ「山梨の自然と人との関わりの歴史」を学ぶことは、現在よりもより未来へ開く扉の鍵を探ることにつながるのです。

山梨県立博物館ではその一例として、本県の特色ある生業や富士山への向き合い方、武田氏の動向等々について総合的に資料の収集・調査・研究を行います。そして、その最新の成果を「山梨県の精神の拠り所」として絶えず利用者の皆様に問いかけ、共に考え続けます。

#### 使命 2

■山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。

山梨県は、周囲の高い山々によって閉じられた地域という印象を持たれています。ですが、四方を高い山々に囲まれた地域だからこそ、山梨の先人達は昔から活発な「交流」を求めてきました。

こうした歴史にふさわしく、山梨県立博物館は、県内各地の様々な文化施設、史跡・自然をはじめ、県内外の多くの皆様と活発に交流を行います。「交流」のセンターとして、当館を起点に県内各地へと多くの人々の誘導を図り、本県の活性化に絶えず努めます。

#### 使命 3

■山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。

山梨県立博物館は、最新の調査・研究成果を展示やイベント内容等に反映させ、絶えず新しい情報の発信に努めます。

また、社会情勢の変化や、利用者の知的関心、学習意欲の高まりに対応して、歴史・文化の視点に立った新たな価値観や未来像を、展示等をとおして考えてもらう場となることを目指します。

特に、山梨県の県立博物館として、農林業・伝統産業・観光や水資源・過疎化等、現在の山梨が抱える様々な課題を乗り越えていくために、県民の皆様とともに未来の山梨のあり方を考え、連携を進めます。これらをとおして、山梨県立博物館は、その事業・活動等が広く県民の皆様とともに成長して、全国の目標となるような博物館を目指します。

### (2) 県立博物館の評価制度の策定

県立博物館の活動が独善に陥ることなく、社会に開かれた活動を行っていくためには、県立博物館の活動を適切に評価し、その結果を運営改善に結びつけていく体制づくりが必要である。

そこで、県立博物館が開館した平成17年度から平成19年度にかけて、県民の代表から構成される第三者委員会「みんなで作る博物館協議会」（以下「みんなつく」、第 II 編第 9 章参照）において、県立博物館の評価制度の検討を行い、運営委員会にも諮った上で、平成19年10月10日（水）に開館5周年目までの評価制度（以下「第 1 期評価制度」という）を策定、さらに平成24年12月25日（火）に開館6周年目から10周年目までの新たな評価制度（以下「第 2 期評価制度」という）を策定した。

第 2 期評価制度では、県立博物館の事業・活動等が現状で停滞することなく、将来に向け、利用者ニーズや調査・研究の進展に応じて成長していくことをめざし、第 1 期評価制度で掲げた使命 1・使命 2 という県立博物館の使命に使命 3 を新たに加えた。

また、それぞれの使命に対応して別表「平成23年度から平成27年度までの評価項目」に掲げた評価項目を設けるとともに、別表「平成23年度から平成27年度までの各活動分野における数値評価の目標値」に掲げた数値目標を定めた。

今後、第 2 期評価制度にもとづいて、平成23年度から平成27年度までの運営実績の検証を行い、平成28年度に総合評価を行う予定である。

■平成23年度から平成27年度までの評価項目

※評価方法Aは数値評価、評価方法Bは自己診断、評価方法Cは通信簿ツアアをそれぞれ指す。  
 ※評価A、B、Cをふまえて、平成28年度に運営委員会において総合評価を実施し、総合評価報告書を刊行する。

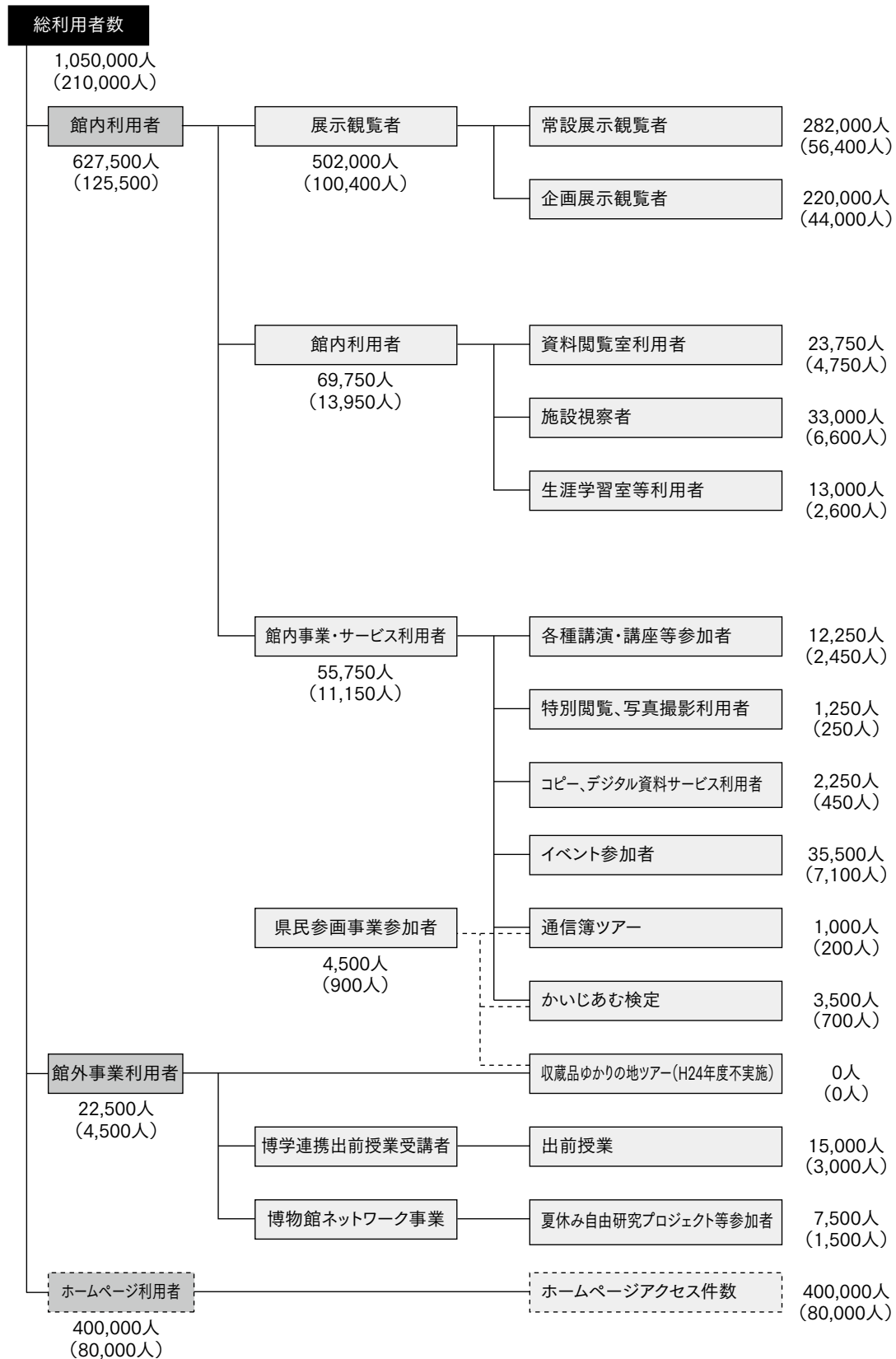
使命 1	使命 2	使命 3
使命 1 に対応した活動目標	使命 2 に対応した活動目標	使命 3 に対応した活動目標
活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目

山梨県立博物館の使命	使命 1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命 2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命 3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(1) 運営（ミュージアムマネジメント）及びミュージアムサービスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県立博物館が整備されて良かったと思ひ、思われる博物館づくりを目指して、当館が提供するあらゆるサービスの利用者数の増加に努めます。具体的には開館6周年目から開館10周年目までに1,050,000人の総利用者数を目指します。</li> <li>山梨県立博物館がどのような使命を持って整備されたのかを分かりやすく明示し、職員・利用者ともに共通の理解を得られるように努めます。</li> <li>博物館の使命がどの程度達成できたのかを館内外に明らかにするために、利用者の視点に立った活動目標を設定し、その実現に向けて最善の努力をします。</li> <li>博物館が提供するあらゆるサービスについて多くの利用者に御満足いただけるよう、絶えず改善し続ける博物館づくりに館に携わる全ての人々が一丸となって努めます。そのために、常に博物館全体の活動について自己点検を行い、また利用者の側からの評価の声を受け入れ、その結果を公開します。</li> <li>NPOとの協働などをとおして、広く県民が参画できる事業活動を推進し、県立博物館及び山梨県への親しみや関心が深められるように努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総利用者数（評価方法A）</li> <li>館員及び利用者を対象として、博物館使命がどの程度認知されているのかの調査（評価方法C）</li> <li>利用者の視点に立った目標を設定しているか？（評価方法B）</li> <li>目標の達成状況については、自己及び他者評価を行い、その結果を公開しているか？（評価方法B・C）</li> <li>県民参画事業の参加者数（評価方法A）</li> </ul>	
(2) 調査・研究について	<ul style="list-style-type: none"> <li>「山梨の自然と人との関わりの歴史」をテーマとした調査・研究を精力的に実施し続けます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査・研究の最新成果を展示や諸講座等の機会をとおして積極的に公開し、利用者の知的好奇心を満足できるように努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学術研究機関としての博物館の魅力を高めるために、外部資金の導入などによって積極的に調査・研究を行い、その成果を論文や研究発表などをとおして、広く社会に還元します。また、その実現に向けて県内外の人々との共同調査・研究を積極的に推進します。</li> </ul>
(3) 資料の収集、保存及び活用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料保存機関としての博物館という魅力を高めるために、「山梨の自然と人との関わりの歴史」を明らかにする上で必要な資料の収集・保存に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集及び保管・調査資料の利用体制の充実化をはかります。これら資料の目録化（データベース化）を進め、館内外の人々にとって共に積極的な活用が可能となるように努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館職員による論文執筆や講演・報告などの研究実績が定期的に蓄積されているか？（評価方法A）</li> <li>科学研究費ほか外部資金の導入などをとおして、共同調査・研究が行われているか？（評価方法B）</li> <li>県民参画による調査・研究が行われているか？（評価方法B）</li> </ul>
(4) 展示について	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示をとおして魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」像を積極的に多くの人々に向けて発信し続けます。具体的目標としては、開館6周年目から開館10周年目までに502,000人の利用者数を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育の現場との連携を深め、子ども達が楽しみながら山梨の歴史や文化を学ぶことのできる展示を作り続けます。具体的には開館6周年目から開館10周年目までに41,000人の学校利用者数を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のニーズや調査・研究の進展に対応して、企画展の開催や、年間をとおした常設展示の展示替えを行います。</li> </ul>
(5) 企画交流活動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内外に対し、「山梨の自然と人との関わりの歴史」像の浸透に資する効果的な企画交流活動の立案・実行に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育の現場と密接に交流し、博学連携の強化に努めます。</li> <li>県内各地の文化施設・史跡・自然と密接に連携し、多くの利用者を県内各地へと誘導する企画交流活動の立案・実行に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常設展示の印象に関わるアンケート調査（評価方法CまたはB）</li> <li>企画内容や展示手法の満足度に関するアンケート調査（評価方法CまたはB）</li> <li>常設展示における年間の展示資料点数（どれだけ展示替えを行っているのか？）（評価方法A）</li> <li>常設展示の来館者数増加に向けた取り組み（評価方法B）</li> </ul>
(5) 企画交流活動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内外に対し、「山梨の自然と人との関わりの歴史」像の浸透に資する効果的な企画交流活動の立案・実行に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育の現場と密接に交流し、博学連携の強化に努めます。</li> <li>県内各地の文化施設・史跡・自然と密接に連携し、多くの利用者を県内各地へと誘導する企画交流活動の立案・実行に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のニーズに応じて、企画交流活動の内容の見直しや新規の立案に努めます。</li> <li>大学や図書館、研究団体など、新たな施設・団体との連携の強化に努めます。</li> </ul>

山梨県立博物館の使命	使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間における企画交流活動数及びその参加者数（評価方法A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>博学連携に関わる取り組み（評価方法B）</li> <li>出前授業等の件数及び参加者数（評価方法A）</li> <li>貸出用キットの利用件数（評価方法A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画交流活動に関わる取り組み（評価方法B）</li> <li>各種連携事業を実施するにあたりどのような工夫を行っているか？（例えば、大学・図書館との連携やミュージアム甲斐ネットワークなど）（評価方法B）</li> <li>地域インデックスの活用策を企画・実行したか？（評価方法B）</li> </ul>
(6) 施設の整備・管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、人にとっても安全かつ快適な施設・整備の管理に努めます。</li> <li>魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」を知ることが出来る貴重な資料を永く後世に伝えていくために、資料にとって安全かつ快適な施設・設備の管理に努めます。</li> <li>地震・火災等の緊急事態に対して、職員の研修をはじめとした対応を行っているのか？（評価方法B）</li> <li>緊急の傷病者への対応に関して、職員の研修をはじめとした対応を行っているのか？（評価方法B）</li> <li>バリアフリー対策を行っているか？（評価方法B）</li> <li>資料保存について措置を講じているか？（評価方法B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者への施設開放（例えば生涯学習室の貸し出しなど）を積極的に行うことで、県民に親しまれる博物館づくりを推進し、開館6周年目から開館10周年目までに69,750人の利用者数を目指します。</li> <li>利用者に対する施設開放件数及び利用者数（例えば、生涯学習室の貸し出しなど）（評価方法A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のニーズに応じ、未来に向けた新たな博物館のあり方について検討します。</li> <li>国宝・重要文化財を展示する公開承認施設に指定されているか？（評価方法B）</li> <li>展示施設の新規整備やその活用が図られているか？（例えば、体験型展示の充実など）（評価方法B）</li> </ul>
(7) 情報の発信と公開について	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶ」ことについて支援することに努め、レファランスをとおし開館6周年目から開館10周年目までに3,000人が知的好奇心を満足できるように努めます。</li> <li>レファランス対応件数（評価方法A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県立博物館の活動全般について、県内外の人々に対して積極的にPR活動をするように努め、例えばHPをとおした場合は開館6周年目から開館10周年目までに400,000件のアクセス数を目指します。</li> <li>HPアクセス数（評価方法A）</li> <li>HPの更新や利用者ニーズに応じた内容の検討を行っているのか？（評価方法B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを使用した博物館通信の送信や館外におけるPRなど、新たな広報活動の取り組みに努めます。</li> <li>どのような情報をどのような媒体で情報発信しているのか一覧表化がなされているか？（評価方法B）</li> </ul>
(8) 市民参画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPOやボランティアなどとの協力を得た事業活動を実施し、共同事業では開館6周年目から開館10周年目までに4,500人と交流できるように努めます。</li> <li>NPOや協働事業開催件数及び参加者数（評価方法A）</li> <li>協働事業（ボランティア）の登録者数（評価方法A）</li> <li>協働事業（ボランティア）ではどのような活動を実施したのか一覧表化がなされているか？（評価方法B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の視点から博物館の評価を行い、その成果を博物館の成長や運営改善に向けて反映するよう努めます。</li> <li>利用者による博物館評価を実施し、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法BまたはC）</li> </ul>	
(9) 組織・人員について	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。</li> <li>職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。</li> <li>第三者機関（運営委員会、みんなで作る博物館協議会、資料情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。</li> <li>第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。</li> <li>職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B）</li> <li>第三者機関（運営委員会、みんなで作る博物館協議会、資料情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B）</li> </ul>
(10) 外部支援と連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的に質の高い博物館活動に資するよう、外部支援体制の導入に努めるとともに、地域連携を図ります。</li> <li>館の運営のために外部支援体制の導入に努めたか？（評価方法B）</li> <li>山梨県内外における歴史・民俗系博物館等との連携を図っているか？（評価方法B）</li> <li>文化財レスキューなど、県立博物館が地域社会を支援する体制の整備に努めたか？（評価方法B）</li> </ul>		

■平成23年度から平成27年度までの各活動分野における数値評価の目標値

○「総利用者数」とは、当館の施設、提供するサービスを利用した者および当館の事業活動に参加した全ての利用者の統計である。



※ 1 数字…平成23年度（開館6周年年度）から平成27年度（開館10周年年度）までの目標値

※ 2 太字の数字…平成23年度から平成27年度までの5年間における単年度の新規目標値

## 第 2 章 通信簿ツアーの実施

### (1) 通信簿ツアーの内容

#### ■平成26年度における通信簿ツアーの特徴

平成26年8月17日(日)、11月20日(木・県民の日)に、県民参画事業(第II編第8章参照)の一環として「通信簿ツアー」を実施した。これは利用者とともに県立博物館を評価する(県立博物館の「通信簿」を付ける)という利用者参加型の評価方法である(本事業の概要は平成18年度県立博物館年報第I編第2章参照)。

平成26年度の特徴は次のとおりである。

- ・昨年度に引き続き、夏期の実施に加えて、異なる時期により多くの参加者から意見をうかがうため、「県民の日」である平成26年11月20日(木)にも実施した。
- ・質問内容が多すぎるといふ参加者からの声を踏まえ、平成24年度に引き続き、はい・いいえ方式の設問を導入して記載の簡素化を図った。
- ・質問では、館内における温湿度管理の理由(C01)など、なぜ県立博物館がそのような対応をしているのかを表記した上で、ご意見を伺った。
- ・あわせて、はい・いいえ方式による回答の理由などを把握するために記述式の設問も残し、多様な利用者からの声をすい上げる仕組みとした。
- ・2日間合計の参加者数は364名で、この内、解答を寄せていただいたのは252名であった。

#### ■通信簿ツアー評価項目

A 山梨県立博物館(かいじあむ)に到着するまでの、道のりは順調でしたか？

1. 博物館までの道のり、迷わずに来られましたか？
2. 最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですか？

B いよいよ館内に入ります。

1. チケット売り場はすぐにわかりましたか？
2. 受付(総合案内)や案内スタッフの対応はいかがでしたか？
3. かいじあむ通信「交い」や常設展・企画展のパンフレットは使いやすいですか？
4. 入場料が必要など、そうでないところの区別はすぐにわかりましたか？
5. 途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？
6. 館内マップやサイン(案内表示)はわかりやすいですか？
7. エントランス(入り口)にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？気づいたものに○をつけていただけますか？(複数回答可) ご意見もあればお聞かせください。  
次回企画展とイベントの案内・県立博物館紹介の新聞ストラップ・エントランス中庭の説明案内・常設展のおすすめ資料・館内の禁止事項の案内・気がつかなかった。
8. 広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」というご意見や、「こう利用したら？」という提案があったらお書きください。

C 館内は快適ですか？

1. 資料保存のために館内の温湿度を一定にしていますが、館内の温度は快適ですか？
2. 暑さ対策、寒さ対策に案はありますか？
3. 小さなお子さんが楽しめそうなところやサービスはありましたか？ ○をつけていただけますか？(複数回答可) ご意見もあればお聞かせください。  
・積み木広場・キッズライブラリー・鉄道模型・映像コーナー・ない・その他
4. 障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？
5. 外国人の方に対応したサービスは充分だと思えますか？
6. 館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？

D さて、展示室です。(常設展示/鑑賞・学習型展示について)

1. まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真(「山梨の舞台」)。自分のまちが見つかりましたか？
2. 常設展示室内では、2か月ごとに資料の展示替えを行っています。一昨年度の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、パネルに気づきましたか？
3. 常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという方のために、展示室内の地図がパネルやパンフレットに表示されています。展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありませんでしたか？
4. 展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさはちょうどよかったですか？
5. 室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、

お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。

- D 展示は楽しめましたか？（常設展示／体験型展示について）**
6. 衛星写真「山梨の舞台」の奥にあるにぎやかな展示場は、実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12か所の「現場」がありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。
  7. 体験型展示にある「かいじあむ寺子屋」では、体験イベント「遊ぼう!学ぼう!寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用された方、楽しい体験ができましたか？また、「かいじあむ寺子屋」でこんなことができたなら…というご意見がありましたら、お寄せください。
  8. 体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？
  9. 展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？
- D 展示は楽しめましたか？何かを学ぶことができましたか？（企画展示について）**
- 「福岡市博物館所蔵 幽霊・妖怪画大全集」展を開催中です。（8月17日）／「甲斐の黒駒」展を開催中です。（11月20日）
10. 今回の企画展は面白かったですか？よろしければ、どんなところが面白かったのか、感想も聞かせてください。
  11. お子さんでも展示を楽しめるように企画展のワークシートを作成していますが、今回のワークシートはわかりやすかったですか？
  12. 今後、どのような内容の企画展の開催を希望しますが？
- E 調べ物には「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。**
- ◎もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ。
1. 資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。
  2. 古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることが出来るサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？
  3. 本年度は9回、館内での「古文書相談日」が開かれています。知っていましたか？
  4. もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。
  5. 「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることが出来る検索端末（パソコン）を知っていましたか？よろしければ、使い勝手の感想も聞かせてください。
- ◎山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ
6. 博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？
  7. 常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？
- F ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか？**
1. ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫をしています。いかがでしたか？
  2. レジの対応はいかがでしょう？
  3. 買ったもの、買いたいものはありましたか。品揃えはいかがでしょう？
  4. 現在、県立博物館オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ボールペンなどがあります。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？
  5. 軽食・喫茶コーナー「うらら」の雰囲気やサービス、メニューやお味、お値段などはいかがでしたか？
  6. 軽食・喫茶コーナー「うらら」は、本年7月19日（土）から同8月31日（日）までの夏季期間中は、休館日を除く毎日営業しておりますが、通常では土・日・祝日のみの営業です。毎日営業していましたら、利用されますか？  
※6. 軽食・喫茶コーナー「うらら」は、通常では土・日・祝日のみの営業です。毎日営業していましたら、利用されますか？（11月20日のみ）
  7. オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみた方はご感想を。
  8. 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見どころガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？
- G 博物館で行われているイベントや普及プログラムに興味がありますか？**
1. 館長トーク・古文書講座・子ども工房などのイベントプログラムに参加されたことがある方にお聞きします。内容はいかがでしたか？ご意見もあればお聞かせください。
  2. こんなプログラムがあれば参加したい、というものがありますか？
  3. 博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？（県博とNPOで制作した、まちミュージアムガイドブックをショップで販売中です）
- H 博物館で働く人たちと交流できましたか？**
1. 館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？
  2. 展示交流員（女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？面白い話を聞けましたか？
  3. 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。あなたもなってみたいですか？
- I 博物館に行く前に、情報は入手できましたか？**
1. 県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られるなど、役に立ちましたか？また、ホームページではどのような情報を知りたいと思いますか？
  2. 博物館に来る際に、どのような広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可）  
・ホームページ ・かいじあむ通信「交い」・ちらし ・新聞・テレビ ・その他。なし
  3. 博物館では今年から公式フェイスブック（kaiseum.ypm）・ツイッター（kaiseum\_ypm）をはじめました。ご存じでしたか？ご存じの方は、その感想もお聞かせください。
  4. 山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが（<http://www.museum-kai.net/>）、利用したことはありますか？また、知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？



Ｊ 最後に、これもぜひお聞きしたいところです。

1. 館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は？
2. 入館料（常設展、企画展）は適当ですか？（本年3月21日より、高校生以下は無料となりました）
3. 1年間、何回でも博物館を利用することのできる定期観覧券や、美術館・文学館・考古博物館との4館共通パスポート（ミュージアム甲斐in券）があることを知っていましたか？
4. 定期観覧券や4館共通パスポート（ミュージアム甲斐in券）を利用したいと思いますか？
5. 以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見もあればお聞かせください。
6. 博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか？
7. もう一度、この館に来たいですか？
8. 通信簿ツアーは、博物館がもっと利用しやすくなるよう、皆さんのご意見をうかがうために毎年実施しています。質問項目が多くご迷惑をおかけしますが、通信簿ツアーが他の博物館・美術館にも、もっと広まればよいと思いますか？

## (2) 通信簿ツアーの結果

### ■通信簿ツアー評価結果抜粋

	回答者情報	回答数	
	年代		
	小学生	6	
	中学生	8	
	10代	11	
	20代	22	
	30代	37	
	40代	46	
	50代	42	
	60代	34	
	70代	15	
	80代	5	
	90代	0	
	性別		
	男性	97	
	女性	131	
	来館回数		
	初めて（1回）	101	
	2～5回	77	
	6～10回	11	
	11回～	15	
	よく来るので数えきれない		216
	住所		
	県内（甲府）	48	
	県内（峡東…笛吹・山梨・甲州）	25	
	県内（中北…甲斐・南アルプス・韮崎・北杜）	39	
	県内（峡南）	7	
	東部（大月・上野原・都留）	7	
	富士北麓（富士吉田・富士河口湖）	9	
	県内（不明）	35	
	県外（関東）	45	
	県外（不明）	2	
	県外（東北・北海道）	1	

	県外（中部）		
	県外（近畿）		
	県外（中国・四国・九州）		
	県外（海外）		
	交通手段		
	電車	12	
	バス	5	
	自家用車	192	
	タクシー	11	
	バイク	1	
	徒歩		
	来館目的		
	企画展	112	
	常設展	3	
	観光	11	
	自由研究	7	
	見学	6	
	子どもに言われて	5	
	なんとなく	2	
	県民の日で（11月20日のみ）	13	
	イベント	2	
	その他（調べもの、興味、たまたま、初めて知ったので、帰りの電車の時間調整、散歩、夏休みの思い出づくり、涼しいから、遊びに、子どもの経験を増やすため、教育センターでの研修の昼休みを利用して 等）		
	同伴者		
	1人	16	
	家族	152	
	友人	34	
	団体	0	
	その他	5	
回答番号	質問内容・意見	回答数	評価者No
A	山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道のりは順調でしたか？		
A01	博物館までの道のり、迷わずに来られましたか？		
	はい	224	
	いいえ	11	
	【ご意見】		
	交通の便がもう少し良いと良い。		11
	20号を甲府方面から来ましたが、もう少しかんばんを出してほしいです。		42
	分かりやすい、きれいで、駐車場も広く、入りやすかったです。		150
	河口湖畔より来て、道が立派になり40分足らずで着き、大変楽でした。標識をもっと増やした方がよいと思います。		247
A02	最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですか？		
	はい	1	
	いいえ	6	
	利用していない	79	
	【ご意見】		

	バスがわからなくてタクシー利用。		40
	利用したくてもバス停までが遠い。		90
B	いよいよ館内に入ります。		
B01	チケット売り場はすぐにわかりましたか？		
	はい	221	
	いいえ	7	
	【ご意見】		
	声かけがあったので分かりました。		6
	宿泊を確認してもらって嬉しかった。		109
	案内してくれたので良かったです。		150
B02	受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたか？		
	よい	192	
	ふつう	42	
	わるい	1	
	【ご意見】		
	少し早口だったので、聞き取りにくかったが、とても一生懸命説明してくださった。		15
	2回目ですが、前回同様手際が悪い。遅い。		89
	接客がとてもいいので良かったです。		148
	アルバイトなのか説明が少ない		247
	入ってすぐ、笑顔でむかえてくれました。		270
B03	かいじあむ通信「交い」や常設展・企画展のパンフレットは使いやすいですか？		
	はい	172	
	いいえ	14	
	【ご意見】		
	とても見やすく、読んで楽しめる！		79
	パンフレットがわからない。		97
	文字が多かったので、もう少し絵があるとありがたいです。		150
B04	入場料が必要なおとところと、そうでないところの区別はすぐにわかりましたか？		
	はい	157	
	いいえ	50	
	【ご意見】		
	2つのエリアがあるということを知らない。場所の区別をはっきりさせるのなら、床の色を別けるなどしたらどうか。		21
	なんとなく歩いていたのでどこが？と気づきませんでした。		40
	特に説明がないので分かりづらかった。		103
	案内してくれたので、とてもありがたかったです。		150
B05	途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？		
	はい	78	
	いいえ	138	
	【ご意見】		
	スタッフの方に説明を受けた。		33
	(いいえ) チケット売り場で一声かけてもらえたら良かったかも。		40
	館内入口の扉付近に告知してくれると便利！		79
	係の人がおしえてくれた。		138
	すぐには（見ては）分かりませんでしたが、不便には思いませんでした。		132

B06	館内マップやサイン（案内表示）はわかりやすいですか？		
	はい	199	
	いいえ	20	
	<b>【ご意見】</b>		
	意識して見ないと気づかなかった。		83
	順路がわかりづらい。		118
	一部順路迷うところがありました（常設）。		132
	トイレがどこにあるのかわからなかった。		156
B07	エントランス（入り口）にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？気づいたものに○をつけていただけますか？（複数回答可）ご意見もあればお聞かせください。		
	次回企画展とイベントの案内	97	
	館内の禁止事項の案内	41	
	県立博物館紹介の新聞スクラップ	19	
	エントランス中庭（石舞台）の説明案内	32	
	常設展のおすすめ資料	39	
	気がつかなかった	44	
	<b>【ご意見】</b>		
	エントランスが広いのであまり目立たないと思いました。		33
	カメラの使用の有無がない。		247
	見る気がないと気がつかない。		260
B08	広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」というご意見や、「こう利用したら？」という提案があったらお書きください。		
	<b>【ご意見】</b>		
	夏休みなのでミニイベント（ワークショップ）。		5
	地元品（特産物等）の販売ゾーン等があると嬉しい！		79
	小さなコンサートなどいかが。		90
	次の企画のCMのような展示をしてみてもは。		134
	記念撮影ができるような物が常にあるとうれしい。		210
	毎日屋台コーナー（おまつり）。		272
C	館内は快適ですか？		
C01	資料保存のために館内の温湿度を一定にしていますが、館内の温度は快適ですか？		
	はい	212	
	いいえ	6	
	<b>【ご意見】</b>		
	外気との差があり、少し気になりました。		16
	夏場、外気が暑すぎるので館内に入ると心地良い！		79
	ずっといると少し寒かったです。		101
	暑くもなくさむくもなくちょうどよい。		126
	若干寒いとは感じましたが、暑くなくてよかったです。		150
	少しあつい。		233
C02	暑さ対策、寒さ対策に案はありますか？		
	<b>【ご意見】</b>		
	レンタルのはおる物。		95
	今のままで大丈夫です。		131
	グリーン・リーフをする。		250

	冬になると畳の部屋（常設展）にこたつなどがあるとうれしい。		270
C03	小さなお子さんが楽しめそうなところやサービスはありましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可） ご意見もあればお聞かせください。		
	積み木広場	36	
	キッズライブラリー	43	
	鉄道模型	22	
	映像コーナー	30	
	ない	6	
	その他	7	
	・妖怪展		67
	・体験全般		132
	・クイズ		118
	【ご意見】		
	ラリーの問題が少しむずかしかった。言葉のいみがわからず行っていた。		127
	子供が楽しめそうな感じで弟が夢中でした。		148
	子供が好きそうなコーナーで友達の弟が楽しく遊んでいました。良いと思います。		150
	内容がどれも難しいものだったので、子どもがあまり興味をもたず、すぐにあきてしまった。		270
C04	障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？		
	はい	94	
	いいえ	7	
	【ご意見】		
	段差が少ない点が良い。		74
	車いすの方が通りやすいように通路が広がっていて良いと思いました。		150
	車イス、点字（順路、手すり）。		273
C05	外国人の方に対応したサービスは充分だと思えますか？		
	はい	53	
	いいえ	33	
	【ご意見】		
	解説の英訳もほしかったです。海外の妖怪ファンは多いので。		77
	外国語の表示があまり目立たない。		136
	英文をもう少しくわえたほうが良いと思う。		148
C06	館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？		
	はい	153	
	いいえ	24	
	【ご意見】		
	イベント出口にもう少しイスがあつたらいいと思う。		15
	もっと欲しい 特に企画展示室内。		36
	アンケートが書ける場所を増やした方がよい。		61
	もう少しあるとよいと思う 特に常設展。		126
	充分にありくつろげました。		148
	少し歩いたら、アンケートが書けたり、休憩できる所があって、すぐお客さんに気を配れるなと思いました。		150
	アンケート記入時、なくてこまった。		216
	もう少し多くてもいいと思います。		235
D	さて、展示室です。(常設展示／鑑賞・学習型展示について)		

D01	まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真（「山梨の舞台」）。自分のまちが見つかりましたか？		
	はい	98	
	いいえ	47	
	【ご意見】		
	主要な市町村だけでも表示が欲しい。		107
	大きかったのですぐに見つかりました。		148
	文字で目印になるようなものを入れてほしかった。でもすごい。		267
	案内がいて親切に対応してくれた。		270
	撮影日とか説明ボードがあれば対比できる。		273
D02	常設展示室内では、2か月ごとに資料の展示替えを行っています。昨年度の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、パネルに気づきましたか？		
	はい	68	
	いいえ	80	
	【ご意見】		
	展示が変わっている物は楽しめました。		145
D03	常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという方のために、展示室内の地図がパネルやパンフレットに表示されています。展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありましたか？		
	はい	50	
	いいえ	100	
	【ご意見】		
	そのパネルがわかりづらかったです。		40
	順路の番号もありましたが、自由に興味のあるものから見ました。		145
	順路がある方がわかりやすい。全てを見やすい。		205
	厳密すぎず自由な感じで見やすかったです。		270
D04	展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさはちょうどよかったですか？		
	はい	132	
	いいえ	13	
	【ご意見】		
	多少小さいところもあった。		69
	照明が暗くて読めない。解説の所だけでもスポットがほしかった。		71
	ライトが暗くて読みにくかった。ライトアップの工夫がるとよい。		207
	説明の字が小さいときがあり見にくいときがある。(特別展や企画展)		260
D05	室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。		
	はい	118	
	いいえ	14	
	【ご意見】		
	引き出し式とてもよかったが分かりづらい。子ども目線だと高い場所もあり台があれば良いと思った。		69
	いろいろな仕掛けがあり子どもは退屈しないですよ。		126
	引き出しの中が良く、出来ればジオラマの様子の説明がもう少しほしい。		208
	映像がきれいで楽しめました。とても良かったです。		235
D	展示は楽しめましたか？（常設展示／体験型展示について）		
D06	衛星写真「山梨の舞台」の奥にあるにぎやかな展示場は、実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12か所の「現場」がありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。		

	はい	117	
	いいえ	11	
	<b>【ご意見】</b>		
	特設目当てで来館に来た人にも解る様に工夫が必要。		34
D07	体験型展示にある「かいじあむ寺子屋」では、体験イベント「遊ぼう！学ぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用された方、楽しい体験ができましたか？また、「かいじあむ寺子屋」でこんなことができたか…というご意見がありましたら、お寄せください。		
	はい	45	
	いいえ	4	
	利用していない	76	
	<b>【ご意見】</b>		
	工作たのしかったです。		33
	寺子屋の時間、2回ぐらいほしい。		71
	子どもがもう少し大きくなったら、是非参加したい。		280
D08	体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？		
	はい	55	
	いいえ	65	
	<b>【ご意見】</b>		
	全くわからない。		46
	写真がとれてよかったです。(全部ダメでは残念)		267
D09	展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？		
	はい	95	
	いいえ	14	
	<b>【ご意見】</b>		
	3回目の来館です。方言が楽しめる「出会いの現場」が大好きでいつも楽しめていいと思う。特に今年はNHKドラマの影響もあるので他県の人に甲州弁を知ってもらいよい機会だと思う。もっとわかりやすい所にあればいいかもしれない。		126
	パンフレットがよかった。		138
D	展示は楽しめましたか？何かを学ぶことができましたか？（企画展示について） <b>【第1回】</b> 「福岡市博物館所蔵 幽霊・妖怪画大全集」展を開催中です。 <b>【第2回】</b> 「甲斐の黒駒」展を開催中です。		
D10	今回の企画展は面白かったですか？よろしければ、どんなところが面白かったのか、感想も聞かせてください。		
	<b>【第1回】</b>		
	はい	105	
	いいえ	1	
	<b>【第2回】</b>		
	はい	65	
	いいえ	7	
	<b>【ご意見】</b>		
	説明が読んでいたのしかったです。バッジがとてもクオリティもデザインも良く、買えるならほしかったです。		5
	(いいえ) お化屋敷風の入口で入場したが正直興冷めでした。画像や音声を使っただけの迫力効果が有った方が。		34
	幽霊に親身(?)になったコメントがあって良い。		35
	サブタイトルというか、タイトルの上にあるコメントがとても的を得たもので、おもしろかったです。		54
	口語でやわらかく書かれたパネル・解説は入りやすかったです。それぞれの題目の上に書かれたひとことも素晴らしい。子どもが楽しめる工夫、“もんだい”のパネルが大人の目線より下にあるなど、とても素敵だと思います。総選挙のアイデアも楽しかった。		77

	馬のテーマだけでも、これだけいろいろなものがあるということを感じた。		238
	今迄見た企画展の中で一番楽しませていただきました。ありがとうございます。		259
	もっと難しくあきてしまうかと思いましたが、子どもを連れてきても見られてよかったです。		267
	本物の馬の骨がさわれたりして、子どもは喜んでいました。なかなかできない体験でよかったです。		290
	内容が豊かで大変興味深く見学できました。		291
D11	お子さんでも展示を楽しめるように企画展のワークシートを作成していますが、今回のワークシートはわかりやすかったですか？		
	はい	107	
	いいえ	14	
	<b>【ご意見】</b>		
	息子（6才）にも充分わかりやすく楽しめたようです。人数が多い時間帯だったせいか、走っている子どもが多くゆっくり見られませんでした。もう少しスタッフを増やすなどして対応してほしいです。		110
	小学生の子どもにもわかりやすく説明していてよかったです。		126
	大人でも楽しめました。（15問）このようなシートは大人でもいいですね。問1～の順序が見学順路になっていないように感じました。（私の見方がよくないかもしてません）		291
D12	今後、どのような内容の企画展の開催を希望しますか？		
	<b>【ご意見】</b>		
	戦国武将。		13
	石造物。		21
	世界の妖怪展を企画してほしい。		35
	子どもと一緒に楽しめるものがいいです。		103
	戦争のこと。		138
	山梨の山に関する特別展示。		157
	子どもと一緒に楽しめる企画をお願いします。		212
	山梨の化石展。化石発掘体験（福井のきょうりゅう博物館でやっている）山梨のきょうりゅう。		272
E	調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。（もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ）		
E01	資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。		
	はい	40	
	いいえ	80	
	<b>【ご意見】</b>		
	なかなか入りづらい、説明は丁寧。		249
	調べるのに静かで集中できる。		250
E02	古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？		
	はい	34	
	いいえ	30	
	<b>【ご意見】</b>		
	わからなかったです。		132
	知りませんでした。		147
E03	本年度は9回、館内での「古文書相談日」が開かれていますが、知っていましたか？		
	はい	20	
	いいえ	79	
E04	もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。		
	はい	33	



	いいえ	40	
E05	「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることのできる検索端末（パソコン）を知っていましたか？よろしければ、使い勝手の感想も聞かせてください。		
	はい	21	
	いいえ	47	
	【ご意見】		
	よかった。		138
	とても良い。		236
E	調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。（山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ）		
E06	博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？		
	はい	54	
	いいえ	14	
	【ご意見】		
	見ていないです。		48
	必要ないと思う。		251
	笛吹市？？のPRが欲しい（みさかの湯）。		273
E07	常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？		
	はい	60	
	いいえ	7	
F	ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか？		
F01	ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫をしていますが、いかがでしたか？		
	よい	47	
	ふつう	40	
	わるい	1	
	利用しなかった	38	
F02	レジの対応はいかがでしょう？		
	よい	39	
	ふつう	29	
	わるい	2	
	利用しなかった	42	
F03	買ったもの、買いたいものはありましたか。品揃えはいかがでしょう？		
	よい	37	
	ふつう	49	
	わるい	1	
	【ご意見】		
	展示されていたもののポストカードや、クイズバッチもあって良かった気がします。		5
	狐の手ぬぐいがかわかった。		66
F04	現在、県立博物館オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ボールペンなどがあります。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？		
	【ご意見】		
	展示品・所蔵品のレプリカ（道祖神・フィギュアなど）。		21
	スマホケース、エコバッグ。		79
	富士山関連グッズ。		250
	武田の家紋のフォルダー。		272

F05	軽食・喫茶コーナー「うらら」の雰囲気やサービス、メニューやお味、お値段などはいかがでしたか？		
	よい	24	
	ふつう	22	
	わるい	2	
	利用しなかった	61	
	【ご意見】		
	日曜日の12時位、ホットメニューの自販機がほとんど売り切れで残念でした。サンドイッチやケーキなどちょっとつまめる軽食があるとうれしいです。		40
	郷土食「おざら」の味ベストであった。		96
F06	【第1回】 軽食・喫茶コーナー「うらら」は、本年7月19日（土）から同8月31日（日）までの夏季期間中は、休館日を除く毎日営業しておりますが、通常では土・日・祝日のみの営業です。毎日営業していましたら、利用されますか？ 【第2回】 軽食・喫茶コーナー「うらら」は、通常では土・日・祝日のみの営業です。毎日営業していましたら、利用されますか？		
	【第1回】		
	はい	27	
	いいえ	16	
	【第2回】		
	はい	19	
	いいえ	10	
	【ご意見】		
	近くに食べるところも少ないので、できれば毎日の営業をお願いしたい。		240
F07	オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみた方はご感想を。		
	はい	38	
	いいえ	54	
	【ご意見】		
	子供とお弁当を持ってきたもので休憩がてら外で食べることができよかったです。池もあり気持ちよい。		88
	気持ちよくなりました。		277
F08	建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？		
	はい	27	
	いいえ	69	
	【ご意見】		
	駐車場、バス停等に告知有ると便利。		79
	いつか参加したいです。		270
G	博物館で行われているイベントや普及プログラムに興味がありますか？		
G01	館長トーク・古文書講座・子ども工房などのイベントプログラムに参加されたことがある方にお聞きします。内容はいかがでしたか？ ご意見もあればお聞かせください。		
	よい	25	
	ふつう	9	
	わるい		
	参加していない	64	
	【ご意見】		
	館長トークはたいへんおもしろかった。		48
	無形のお祭りを見られた。		250

G02	こんなプログラムがあれば参加したい、というものがありますか？		
	【ご意見】		
	体験。		270
G03	博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？（県博とNPOで制作した、まちミュージアムガイドブックをショップで販売中です。）		
	はい	45	
	いいえ	18	
	【ご意見】		
	開催した方が良い。博物館集合でのバス出発。		272
	参加したいです。		291
H	博物館で働く人たちと交流できましたか？		
H01	館内スタッフの案内や誘導はいかがですか？		
	よい	92	
	ふつう	49	
	わるい	1	
	【ご意見】		
	けっこうよかった。		138
	子どもたちの質問にも良く答えて下さって、良かったです。		233
	展示内容に関する説明は理解しやすかった。		295
H02	展示交流員（女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？面白い話を聞けましたか？		
	よい	52	
	ふつう	45	
	わるい	2	
	【ご意見】		
	どちらにいたのかわかりませんでした。		110
	とてもいいねだった。		209
	よいタイミングで声がけしてもらいました。		267
H03	館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。あなたもなってみたいですか？		
	はい	27	
	いいえ	55	
I	博物館に行く前に、情報は入手できましたか？		
I01	県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？また、ホームページではどのような情報を知りたいと思いますか？		
	はい	69	
	いいえ	6	
	見ていない	59	
	【ご意見】		
	企画展の内容をくわしく知りたい。来館してみてもおもしろかった。		88
I02	博物館に来る際にどのような広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可）		
	ホームページ	52	
	かいじあむ通信「交い」	14	
	ちらし	33	
	新聞	13	
	テレビ	29	

	その他（ ）	11	
	・ホテルで		38
	・ポスター		123
	・子どもが学校でもらったちらし		126
	なし	13	
I03	博物館では今年から公式フェイスブック（kaiseum.ypm）・ツイッター（kaiseum_ypm）をはじめました。ご存じでしたか？ご存じの方は、その感想もお聞かせください。		
	はい	12	
	いいえ	42	
	見ていない	75	
	【ご意見】		
	若い世代にも知ってもらえるようにCMでこのことを言った方がよい。		69
	ラインもはじめてほしいです。		233
I04	山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが（http://www.museum-kai.net/）、利用したことがありますか？知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？		
	はい	16	
	いいえ	22	
	見ていない	72	
J	最後に、これもぜひお聞きしたいところです。		
J01	館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は？		
	よい	84	
	ふつう	79	
	わるい	11	
	【ご意見】		
	意味が分かるまで時間がかかった 最初あむって？てかんじでした。		40
	聞いた事がない。博物館とむすびつかない。		231
J02	入館料（常設展、企画展）は適当ですか？（本年3月21日より、高校生以下は無料となりました）		
	高い	9	
	ふつう	126	
	安い	24	
	【ご意見】		
	常設展は高い、企画は安い。		36
	これだけの内容でしたら安いと思います。		40
	とてもありがたい料金だと思います。		80
	高校生以下無料いいですね。		102
	今日は無料なのではじめて着きました。有料ならこないかも。		231
	無料の日をもっともうけてほしい。		270
J03	1年間、何回でも博物館を利用することのできる定期観覧券や美術館・文学館・考古博物館との4館共通パスポート（ミュージアム甲斐in券）があることを知っていましたか？		
	はい	53	
	いいえ	104	
J04	定期観覧券や4館共通パスポート（ミュージアム甲斐in券）を利用したいと思いますか？		
	はい	46	
	いいえ	83	
J05	以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見があればお聞かせください。		

	よい	44	
	ふつう	46	
	わるい		
	<b>【ご意見】</b>		
	努力しているのがわかります。		48
	レストランが再びオープンしたこと。入館料が安くなった事。		221
	たくさんのスタッフの方がわからない事も対応してくださって良かったです。		233
J06	博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いませんか？		
	はい	89	
	いいえ	14	
	<b>【ご意見】</b>		
	見学したことで観光したい気持ちになった		240
J07	もう一度、この館に来たいですか？		
	はい	138	
	いいえ	9	
	<b>【ご意見】</b>		
	企画展の内容による。		238
J08	通信簿ツアーは、博物館がもっと利用しやすくなるよう、皆さんのご意見をうかがうために毎年実施しています。質問項目が多くご迷惑をおかけしますが、通信簿ツアーが他の博物館・美術館にも、もっと広まればよいと思いませんか？		
	はい	2	
	いいえ		
	<b>【ご意見】</b>		
	とても良いと思います。時間がなくて全部見れなくてくわしく記入できなくてすみません。		40
	項目を減らし行くとよいと思う。		207
	博物館がこんなに工夫いっぱい場所になっていて、びっくりした。又来たいです。		267
J09	その他、ご意見がございましたらご記入ください。		
	<b>【ご意見】</b>		
	座って記入できる場所がほしいです。		11
	常設展のほうにはトイレが少ないのが残念です。		233
	県民の日にはじめて来て、にぎわっていた。小学生や家族づれで楽しそうで良い。		250
	今回、県民の日でタダだから来てみたが、県民も県外の人も全てタダでショックだった。県民をバカにしている施設だと思う。無駄使いのなものでもない。年間の維持費等どれ程赤字を出しているのか、毎年県民に解りやすく公開してもらいたい。この施設で県民の税金を労費しているのが我慢出来ない。		251
	鎧を着て写真撮影をすることができて、子どもが大興奮でした。楽しい時間をありがとうございました。		204
	子どもがウォークラリーを楽しんでいました。簡単なイベント的なものをたくさん企画してほしいです。十二単の試着もとても良かったです。		205
	この冊子の予算がもったいない。もう少し簡易な紙でよい。		229

※「評価者No.」は通信簿の提出者それぞれに機械的に付与した番号であり、同一番号は同一人物の回答によるものであることを示す。

※「ご意見」欄には、主な意見のみを抜粋して掲載した。

## ■評価結果の分析

通信簿ツアー（以下「ツアー」）は、平成18年度に実施して以来、平成26年度（以下「本年度」）で9回目を迎えた。本事業の実施によって寄せられた利用者からの声に対しては、その都度、可能な限り対応をし、より親しみやすい博物館づくりを継続的に実施してきた。以下、昨年度言及した項目を中心に、今年度の結果について概観する。

まず、「受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたでしょうか？」（B02）という設問に対して、「よい」回答率が81.7%、「ふつう」回答率が17.9%を占めた。平成25年度は「よい」回答率が74.2%、「ふつう」回答率が25.0%、平成24年度には「よい」回答率が83.8%、「ふつう」回答率が16.2%を占めており、平成25年度の年報では「よい」回答率が低下傾向にあることに注意をしたが、平成26年度には若干ではあるが「よい」回答率が増加した。

同様、「館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？」（H01）という設問でも、「よい」回答率が64.8%、「ふつう」回答率が34.5%となった。平成25年度は「よい」回答率が53.3%、「ふつう」回答率が45.3%、平成24年度の「よい」回答率が70.9%、「ふつう」回答率が29.1%であり、（B02）の結果と同様、平成25年度には低下の傾向にあったものが、若干回復する結果となった。

これらの結果は、日頃のスタッフの努力が評価されたものとみておきたい。スタッフによる利用者への接遇は、博物館における利用者サービスの根幹であるが、スタッフは毎年一定の人数が入れ替わっている状況にあり、そのことがサービスの維持・向上に悪影響を及ぼさないよう、今後も注意して対応する必要がある。

次に、展示については、「室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？」（D05）という設問では、「はい」回答率が89.4%、「いいえ」回答率が10.6%となったほか、「今回の企画展は面白かったですか？」（D10）という設問では、第1回で「はい」回答率が99.1%、「いいえ」回答率が0.9%、第2回調査では「はい」回答率が90.3%、「いいえ」回答率が9.7%となった。第1回・第2回調査で「はい」回答率が98.4%、「いいえ」回答率が1.6%、また第3回調査では「はい」回答率が100.0%となった。平成25年度には、D05で「はい」回答率が88.8%、「いいえ」回答率が11.2%、D10で「はい」回答率が98.4%、「いいえ」回答率が1.6%であったことから、これまでと同様に常設展・企画展とも内容や工夫に対する評価が高かった状況がうかがわれる。

この一方、「途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？」（B05）という設問では、「はい」回答率が36.1%、「いいえ」回答率が63.9%であって、平成25年度の「はい」回答率が36.4%、「いいえ」回答率が63.6%と同様の結果であった。

また、常設展で2か月ごとにテーマを変えながら実施している展示替えについて、より多くの来館者に気づいていただけるよう、平成25年度から、展示室の入口に加えてエントランスロビーにも展示替えを案内するパネルを設置したが、「常設展示室内では、2か月ごとに資料の展示替えを行っています。昨年度の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、パネルに気づきましたか？」（D02）という設問に対して、「はい」回答率が45.9%、「いいえ」回答率が54.1%となり、平成25年度の「はい」回答率が46.1%、「いいえ」回答率が53.9%とほとんど変化がない結果を得た。

さらに、資料閲覧室の利用について、「資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？」（E01）という設問では、「はい」回答率が33.3%、「いいえ」回答率が66.7%となり、平成25年度の「はい」回答率30.4%、「いいえ」回答率69.6%と同様に低下した状態が続いている（平成24年度の「はい」回答率は48.6%、「いいえ」回答率は51.4%）。「古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることが出来るサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？」（E02）については、「はい」回答率53.1%、「いいえ」回答率46.9%で、平成25年度の「はい」回答率47.5%、「いいえ」回答率52.5%に比べて若干改善され、「本年度は10回、館内での「古文書相談日」が開かれています。知っていましたか？」（E03）という設問では、「はい」回答率20.2%、「いいえ」回答率79.8%「はい」と、平成25年度（回答率15.2%、「いいえ」回答率84.8%）を僅かに上回ったが、いずれも「いいえ」の割合がまだ高く、利用者に十分に認知されたとは言い難い。今後も利用者の視線に立ったインフォメーションの改善等をさらに進める必要がある。

以上、平成26年度の通信簿ツアーでは、平成25年度に提示した課題に対して、僅かながら改善されたものもあるが、十分でない点も残されている。平成27年度に迎える開館10周年年度、さらにそれ以降の当博物館活動の向上のためにも、残された課題に対応する必要がある。

## 第Ⅱ編 事業・諸活動

### 第1章 運営・ミュージアムサービス

#### (1) 運営・ミュージアムサービスの方針

県立博物館は、

- ・「調査研究」(第Ⅱ編)第2章参照 以下、章のみ)
- ・「資料の収集・保管・活用」(第3章)
- ・「展示」(第4章)
- ・「企画・交流事業、県民参画」(第5章・第8章)

を柱とした事業・活動をとおして、県立博物館の使命の実現を目指している。22頁に掲げる「県立博物館事業体系図」のとおり、それぞれの事業・活動は密接に関連し合いながら、館の活動総体を高めていく。

県立博物館が提供するこれら諸サービスは、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に学べ、何度来ても楽しめる博物館となることを基本方針とする。

そのためには常に、利用者が満足できる魅力あふれる事業・活動を企画・実行すること、快適に利用できる施設として整備すること(第6章)、あわせて、情報化社会に対応した情報システムの充実・強化を図ること(第7章)が必要である

また、博物館の各種事業は、専門的かつ高度な知識や技術が必要となることから、これらの知識を着実に蓄積することのできる創造性の高い組織作りを行う。同時に、ネットワークを生かし、外部支援も導入しながら開かれた博物館運営を行い、県民や利用者のニーズの変化に応えられるよう努めていく(第9章・第10章)。

#### (2) 平成26年度利用者状況一覧

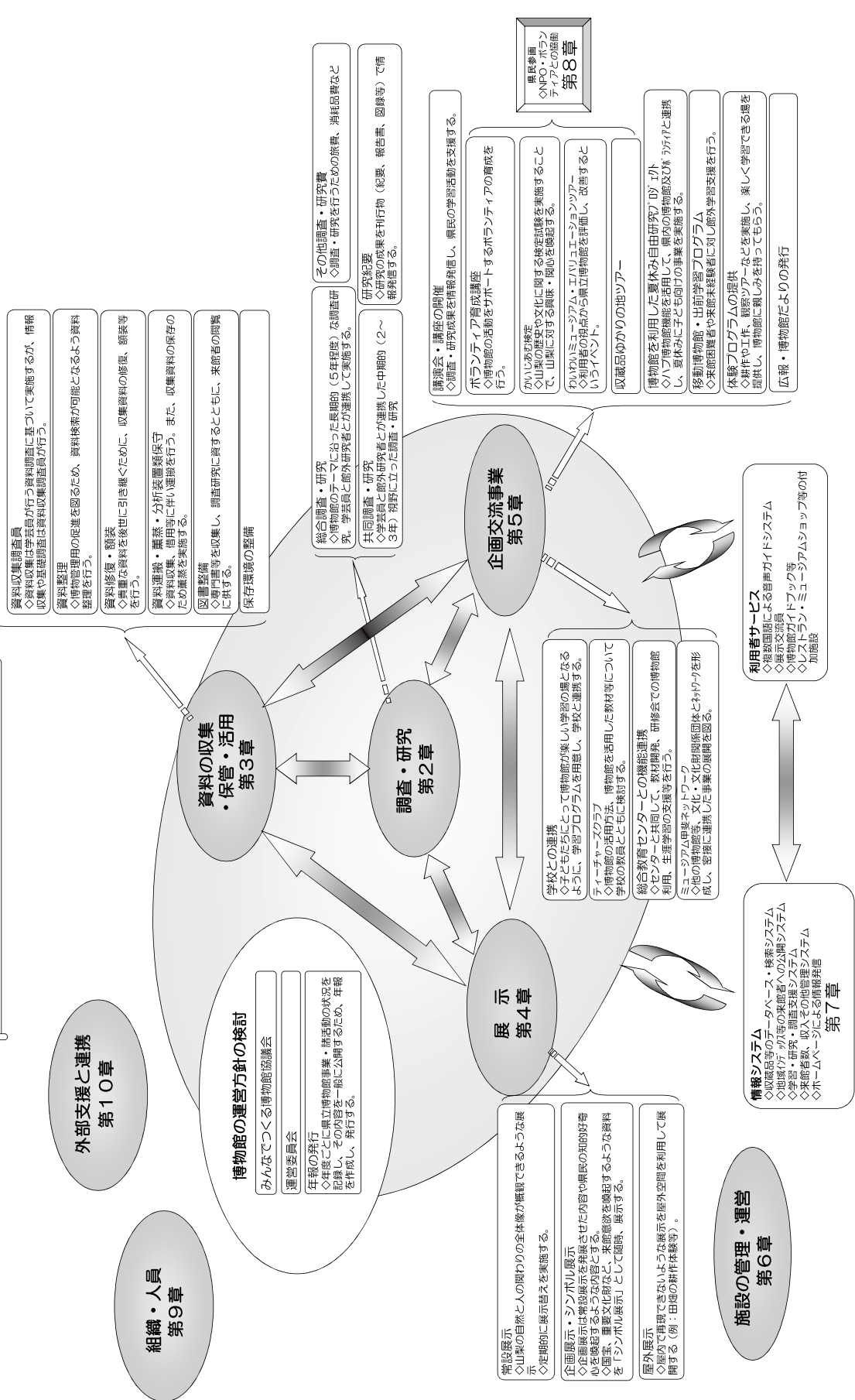
県立博物館の事業・活動は、調査・研究、資料の収集・保管・活用・展示、企画交流事業、施設の整備・管理、情報の発信と公開、県民参画など多岐にわたり、その成果をミュージアムサービスとして県民に還元しているところである。

これらミュージアムサービスについて、数値実績として表現できるものについて一覧化したものが23～24頁の「平成26年度 県立博物館利用者状況」である。県立博物館では、提供する諸サービスの総計を「総利用者数」として捉え、今後、総利用者数の増加を目指し、多くの人々に満足してもらえるミュージアムサービスを提供していく。

- ※1 博物館の利用者とは、博物館の施設や提供する諸サービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。なお、一部の項目については、重複して統計に表れる性質がある。
- ※2 一覧に示す利用者数は平成26年度分(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の実績である。なお( )内の数値は平成17年度分から平成26年度分まで、また、《 》の数値は平成23年度分から平成26年度までの実績数値を加えたものである。
- ※3 県民参画事業のうち、「交流拠点形成事業」及び「わいわいミュージアム」は平成18年度で終了した。代わりに平成19年度からは、「かいじあむ検定」、「通信簿ツアー」が新規に実施された(第8章)。このため、平成17～26年度までの実績を示すにあたり、「かいじあむ検定」の場合は平成18年度までの「交流拠点形成事業」の実績を、「通信簿ツアー」の場合は平成18年度までの「わいわいミュージアム」の実績でそれぞれ集計した。また、「収蔵品ゆかりの地ツアー」は、平成23年度で終了した。

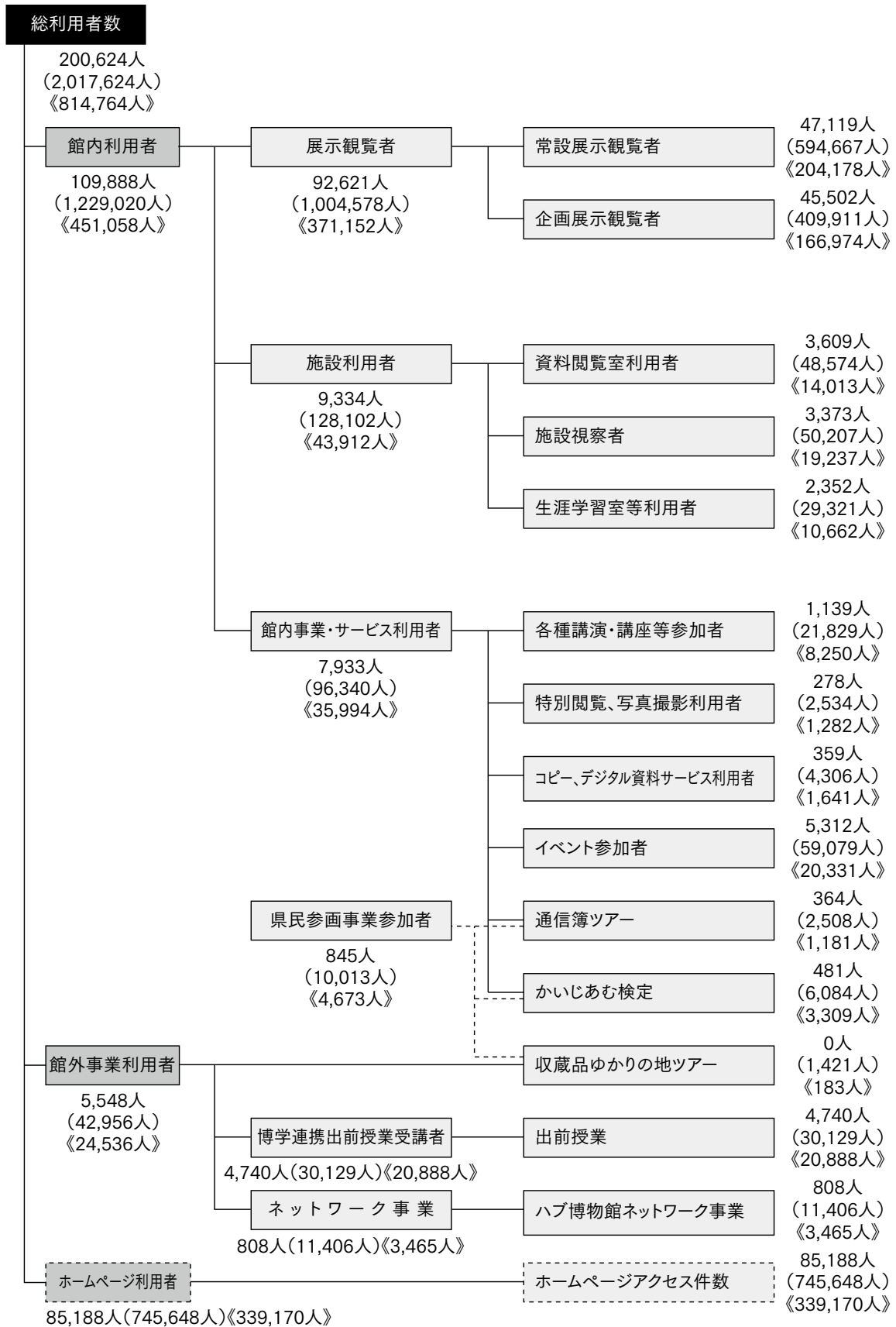
基本テーマ：「山梨の自然と人」

県立博物館事業体系図





■平成26年度 県立博物館利用者状況



※ ( ) 内の数値は平成17年度分から平成26年度分までの実績数値の総計である。

※ 《 》 内の数値は平成23年度分から平成26年度分までの実績数値の総計である。

■開館年度（平成17年度）から平成26年度までの年度別統計

	館内利用者 (a + b + c)													館外利用者							
	展示利用者 (a)			施設利用者 (b)			館内事業・サービス利用者 (c)							県民参画事業 取藏品ゆかり の地ツアー	博士学連携 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク事業 (夏休み自由研究 プロジェクト)	ホム ー 用 者				
	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	常設展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 利用者	生涯学習室 等利用者	講座・特別 講演会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等 資料-CT利用	イベント 参加者	エ/レ/エ/ン/シ ツ/ア/一/検	かい/じ/お/む 一/検	定									
													常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	常設展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 利用者	生涯学習室 等利用者	講座・特別 講演会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等 資料-CT利用	イベント 参加者
総利用者	143,415	114,412	98,578	66,274	32,304	10,889	6,085	1,190	3,614	4,945	1,321	92	209	2,911	180	232	433	151	0	28,570	
17年度	221,107	149,254	124,182	92,277	31,905	16,043	7,957	3,674	4,412	9,029	2,604	263	479	5,213	345	125	1,451	156	1,100	70,402	
18年度	203,261	126,055	105,596	66,291	39,305	13,908	7,306	3,486	3,116	6,551	1,515	219	496	3,861	240	220	4,833	1,317	3,350	72,373	
19年度	169,893	97,551	73,419	49,634	23,785	12,461	4,754	4,262	3,445	11,671	1,649	265	549	8,613	143	452	2,781	1,076	1,525	69,561	
20年度	233,815	145,172	119,288	59,508	59,780	13,034	4,399	6,640	1,995	12,850	3,553	330	488	7,029	231	1,219	5,194	3,871	1,049	83,449	
21年度	231,369	145,518	112,363	56,505	55,858	17,855	4,060	11,718	2,077	15,300	2,937	83	444	11,121	188	527	3,728	141	917	82,123	
22年度	200,843	112,026	90,090	49,858	40,232	12,558	3,354	6,800	2,404	9,378	2,473	276	402	4,943	166	1,118	4,658	183	754	84,159	
23年度	200,181	107,246	86,695	49,341	37,354	11,120	2,983	4,769	3,368	9,431	3,003	306	427	4,633	183	879	7,110	6,077	1,033	85,825	
24年度	213,116	121,898	101,746	57,860	43,886	10,900	4,067	4,295	2,538	9,252	1,635	422	453	5,443	468	831	7,220	6,350	870	83,998	
25年度	200,624	109,888	92,621	47,119	45,502	9,334	3,609	3,373	2,352	7,933	1,139	278	359	5,312	364	481	5,548	4,740	808	85,188	
26年度	2,017,624	1,229,020	1,004,578	594,667	409,911	128,102	48,574	50,207	29,321	96,340	21,829	2,534	4,306	59,079	2,508	6,084	42,956	1,421	11,406	745,648	
計																					

■26年度 県立博物館利用者状況（月別集計）

	館内利用者 (a + b + c)													館外利用者							
	展示利用者 (a)			施設利用者 (b)			館内事業・サービス利用者 (c)							県民参画事業 取藏品ゆかり の地ツアー	博士学連携 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク事業 (夏休み自由研究 プロジェクト)	ホム ー 用 者				
	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	常設展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 利用者	生涯学習室 等利用者	講座・特別 講演会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等 資料-CT利用	イベント 参加者	エ/レ/エ/ン/シ ツ/ア/一/検	かい/じ/お/む 一/検	定									
													常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	常設展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 利用者	生涯学習室 等利用者	講座・特別 講演会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等 資料-CT利用	イベント 参加者
総利用者	15,459	8,192	7,212	3,431	3,781	677	365	309	3	303	180	32	33	58	0	0	138	0	0	7,129	
4月	22,489	13,144	11,057	5,380	5,677	1,128	519	443	166	959	89	27	37	806	0	0	713	0	0	8,632	
5月	11,655	4,985	3,952	3,952	0	835	253	183	399	198	56	28	32	82	0	0	476	0	0	6,194	
6月	23,357	12,700	11,368	5,145	6,223	1,108	467	439	202	224	141	19	38	26	0	0	1,071	0	263	9,586	
7月	49,506	35,057	31,144	11,595	19,549	1,793	856	886	51	2,120	46	32	36	1,656	200	150	86	0	86	14,363	
8月	13,396	7,350	6,062	3,104	2,958	597	219	216	162	691	35	13	24	619	0	0	97	0	97	5,949	
9月	15,009	7,747	6,555	4,220	2,335	717	178	233	306	475	84	21	29	81	0	260	1,385	0	1,385	5,877	
10月	16,495	10,081	7,912	3,826	4,086	926	242	422	262	1,243	231	24	38	715	164	71	286	0	286	6,128	
11月	4,644	1,327	904	788	116	340	74	13	253	83	51	13	14	5	0	0	74	0	74	3,243	
12月	9,038	2,980	1,559	1,559	0	295	123	45	127	1,126	83	22	33	988	0	0	149	0	149	5,909	
1月	8,603	2,581	1,965	1,965	0	354	135	98	121	262	100	24	23	115	0	0	660	0	660	5,362	
2月	10,973	3,744	2,931	2,154	777	564	178	86	300	249	43	23	22	161	0	0	413	0	413	6,816	
3月	200,624	109,888	92,621	47,119	45,502	9,334	3,609	3,373	2,352	7,933	1,139	278	359	5,312	364	481	5,548	4,740	808	85,188	
計																					

## 第2章 調査・研究

平成26年度における県立博物館の調査・研究では、外部資金による調査研究として、日本学術振興会科学研究費助成事業（科研費）による調査研究は、前年度より1件が継続し（「木食行における作仏の宗教的意義に関する研究―木喰行道・白道の初期作例を通じて〔若手研究B〕」（平成25～27年度）、2件が新たに採択された（「自然災害の記録化と伝承・信仰に関する研究〔基盤研究C〕」、「戦国大名家臣の関係史料収集と近世的展開に関する基礎的研究〔若手研究B〕」）。

県費による調査・研究としては、総合調査・研究「日韓内陸地域における生業の歴史に関する研究」（最終年度）、共同調査・研究「等々力万福寺と初期浄土真宗の布教について」（最終年度）、「大和郡山市所在柳沢家関係史料に関する研究」（平成26年度まで継続）を実施した。このうち柳沢家関係史料に関する研究の成果は、報告書『柳沢吉保の由緒と肖像』（山梨県立博物館 調査・研究報告11）として刊行された。なお、総合調査・研究については日韓における博物館資料の比較研究をテーマに、また、万福寺と浄土真宗については法然上人絵伝（当館所蔵）の調査研究を中心に、これまでの成果を引き継ぎつつ、次年度以降も調査をおこなっていく予定である。

各博物館職員がそれぞれの専門分野に応じおこなった個別調査・研究の結果については『山梨県立博物館研究紀要』第9集のほか、関連する学術雑誌などに発表された。

加えて、山梨県が実施している山梨県富士山総合学術調査について、平成24年度から事務局を博物館に移して第2次調査（平成27年度まで継続）を行い、多くの博物館職員が調査員として参加した。

### (1) 外部資金による調査・研究

#### ①科学研究費補助金 基盤研究（C）「自然災害の記録化と伝承・信仰に関する研究」

（課題番号 26370813）

##### ■調査・研究の目的

大規模な災害が相次ぐ今日の社会において、歴史学等の分野では、過去の歴史的な災害の状況や影響について考察が進み、大きな成果を得ている。この一方、災害に関する史料が作成・記録され、今日までどのようにして受け継がれてきたのか、また災害が地域の伝承や信仰の中にどのような影響を及ぼしたのかという課題については、これまで十分に研究されてこなかった。そこで、本研究は、富士山の噴火や山麓の土石流災害、また河川・湖沼の水害が相次いで発生した、古代・中世～近世の甲斐国を対象にして、災害に関する史料の内容に留まらず、その作成・記録化の経緯とともに、今日に至るまでの史料の伝来過程について考察する。また、災害の状況を記した文献史料や銘文に限定せず、地域の伝承や信仰をとおして、災害が後世にどのように語り継がれてきたのかを探る。

##### ■研究体制

研究代表者 西川広平

研究協力者 関間俊明（韮崎市教育委員会）、山下孝司（同）、  
齋藤秀樹（南アルプス市教育委員会）、田中大輔（同）、保阪太一（同）、  
畑 大介（帝京大学文化財研究所）、堀内 真（山梨県立博物館）、  
丸尾依子（同）、村石真澄（山梨県埋蔵文化財センター）

##### ■活動記録

- ・平成26年8月4日（月）～5日（火） 資料調査（国立公文書館、東京都立中央図書館）
- ・平成26年9月9日（火） 資料調査（静岡県立中央図書館歴史文化情報センター）
- ・平成26年9月19日（金） 資料調査（国立国会図書館）
- ・平成26年8月～9月 資料整理、データ入力（山梨県立博物館）
- ・平成27年1月25日（日）・28日（水）～29日（木） 資料調査（東京都立中央図書館）
- ・平成27年3月 資料整理、データ入力（山梨県立博物館）

##### ■活動内容と成果

本研究は、平成26年度から同29年度にかけて実施する調査・研究である。平成26年度は、初年度とし

て下記にあげた調査を行った。

- ① 富士山宝永噴火に関する古文書・記録類の調査
- ② 雪代（雪崩）災害に関する史料の所在確認

特に、国立公文書館所蔵内閣文庫に収蔵されている「天保雑記」には、江戸幕府に報告された天保5年（1834）の富士山西麓・北麓で発生した雪代の被害状況が記されていることを確認した。この内容を地域に残る古文書等と比較することによって、災害状況がどのように江戸に伝達されたのかを知ることができると判断される。

また、静岡県立中央図書館歴史文化情報センターでは、宝永4年（1707）の富士山宝永噴火の状況を描いた複数の絵図の画像データとともに、それぞれの絵図の所蔵先の噴火関係史料の内容を確認した。

さらに関東地方及び山梨・静岡両県の自治体史に収録されている古文書や古記録の内容を確認・整理する作業を実施した。これらの調査を行うことにより、今後、災害に関する記録の種類や残存状況を把握できると考える。

- ②科学研究費補助金 若手研究B「木食行における作仏の宗教的意義に関する研究—木喰行道・白道の初期作例を通じて」（課題番号 25770054）

■調査・研究の目的

甲斐出身の江戸時代後期の木食僧、行道とその弟子白道は、木食行を修しながら全国を廻国し、各地に仏像を彫り残したことで知られる、作仏聖である。彼らの活動から、木食行における作仏が有する宗教的意義について考察する。

■研究体制

研究代表者 近藤暁子（学芸員）

■活動記録

- ・平成26年9月24日（水）～25日（木）  
資料調査（青森県海傳寺）、打合せ（弘前大学）、資料見学（青森県西福寺）
- ・平成26年12月12日（金）～13日（土）  
資料見学（滋賀県MIHO MUSEUM）

■活動内容と成果

木喰行道が造立した可能性の高い海傳寺如来像について調査を行った。赤外線撮影により背面の墨書銘確認され、木喰の作であることが判明した。これにより、東北地方において初めての作品が確認されることとなった。また、本像が伝来する海傳寺のある青森県上北郡六戸あたりに木喰が立ち寄ったのは、残された史料上の記録から、北海道に渡る以前の可能性が高い。したがって本像の存在により従来言われていたように北海道から作仏を始めたのではなく、それ以前から行っていた可能性が高くなった。今後はこの成果を踏まえて、行道および白道の初期作例についてさらに、研究を進めていく。

- ③科学研究費助成基金助成金 若手研究B「戦国大名家臣の関係史料収集と近世的展開に関する基礎的研究」（課題番号26770237）

■調査・研究の目的

近年、新史料の存在が相次いで確認されている戦国大名家臣の家伝文書について、甲斐武田氏の家臣を主な素材として、新史料の掘り起こしを図る。また収集した史料の検討をとおして、家臣と大名との関係や、彼らの近世における動向を把握するとともに、旧戦国大名家臣の家伝文書がどのような位置づけであったかを明らかにすることを目的とする。

■研究体制

研究代表者 海老沼真治（学芸員）

■活動記録

- ・平成26年9月6日（土）・7日（日）  
戦国史研究会福井例会 シンポジウム参加（福井大学ほか）

- ・平成26年10月3日（金）・4日（土）  
文献調査・関係展示の視察（長野県立歴史館・真田宝物館）
- ・平成26年12月5日（金）  
資料調査（東京大学史料編纂所）
- ・平成26年12月6日（土）  
文献調査（国立国会図書館）、日本古文書学会 研究会「中世・近世文書料紙研究の現状について」参加（東京大学）

#### ■活動内容と成果

本研究は、平成20年度から23年度まで行った個別調査・研究「武田氏家臣関係資料に関する基礎的研究」の成果をふまえて、平成26年度より新たに開始した研究である。

今年度は、本研究に関する研究会に参加し、情報収集を行うとともに、関係文献の調査・収集を重点的に行った。

また県立博物館で所蔵する「市河家文書」の近世（米沢藩時代）資料の調査を行い、戦国時代までに蓄積された家伝文書群が、近世以降にどのように取り扱われていたかの一事例として考察した。その成果は『山梨県立博物館研究紀要』第9集において報告した。

## (2) 県費による調査・研究

### ①総合調査・研究「日韓内陸地域における生業の歴史に関する研究」

#### ■調査・研究の目的

日韓内陸地域における生業の特質とその成立過程を比較文化的観点から明らかにする。今年度は韓国・国立清州博物館との学術研究交流が2期目に入り、新たに研究者交流に関する協約を締結したことから、テーマを考古学的遺構・遺物や仏教美術など、より広範な日韓文化要素の比較に設定して、共同調査をおこなった。また、特に子ども向けのハンズオン展示など新たな展示手法に関する相互の情報共有なども開始した。

#### ■県立博物館担当職員

森原明廣（学芸課長）、植月 学（学芸員）、近藤暁子（学芸員）

#### ■活動記録

- ・平成26年7月7日（月）～13日（日） 韓国・国立清州博物館研究員の招聘、共同調査
- ・平成26年11月10日（月）～16日（日） 県立博物館職員 韓国調査（国立清州博物館員との共同調査）
- ・山梨県内出土動物遺体の分析による生業（家畜の飼育、食生活など）の復元

#### ■活動内容と成果

清州博物館研究員の招聘調査では山梨内に残る仏教美術（特に金工品）の所在調査などを行うとともに国内の主要な博物館施設における展示手法の現地調査なども併せて実施した。また、当館学芸員による韓国調査では担当職員の研究領域に関連した調査として、忠清北道周辺古墳群や仏教美術の現地調査を行うとともに、博物館施設における展示手法の実例調査を実施した。

### ②共同調査・研究「万福寺と山梨の浄土真宗」

#### ■県立博物館担当職員

近藤暁子（学芸員）、海老沼真治（学芸員）

#### ■共同調査・研究員

井澤英理子（山梨県立美術館 学芸員）

#### ■活動記録

- ・平成26年7月26日（土）  
県立博物館において万福寺法然上人絵伝状態等の視察。

#### ■活動内容と成果

本年度は、本格修理を前提とした作品調査を実施した。

③共同調査・研究「大和郡山市所在 柳沢家関係史料に関する研究」

■県立博物館担当職員

西川広平、近藤暁子（学芸員）

■活動記録

- ・平成26年1月～3月 調査・研究報告書編集
- ・平成26年3月27日（木）山梨県立博物館調査・研究報告11『柳沢吉保の由緒と肖像―「大和郡山市所在 柳沢家関係資料に関する研究」報告書―』刊行

■活動内容と成果

宝永元年（1704）から享保9年（1724）にかけての20年間、甲斐国を柳沢吉保・吉里父子が統治した時代に、甲府城と城下町の整備や検地の実施、新甲金の鑄造、用水路の築造など、近世甲斐国の基盤がつくられた。ところが、柳沢家の甲府から大和郡山への転封にともなう資料の移動などにより、当時の状況は必ずしも明らかとなっていない。

本研究では、平成23年度に県立博物館で開催した企画展「柳沢吉保と甲府城」に際して発見された、柳沢家の旧家臣に伝わった豊田家史料や吉保の菩提寺永慶寺所蔵の資料などの調査をとおして、柳沢時代の甲斐国の様子を考察することを目的とする。

平成26年度は、同24年度から実施してきた本調査・研究の最終年度として、調査・研究報告書の執筆・刊行を行った。この内容は以下のとおりである。

- 調査・研究の経緯と方針
- 第一部 柳沢吉保の肖像について
  - 第一章 画像の調査と考察
  - 第二章 彫像の調査と考察
- 第二部 吉保の由緒について
  - 第三章 柳沢家系図の調査と考察
  - 第四章 吉保による武田家遺制の継承
- 第三部 永慶寺について
  - 第五章 永慶寺什物の調査
  - 第六章 永慶寺の創建と郡山移転
- 付 録 資料編

「豊田家史料」の内 調査対象文書目録、主な古文書の翻刻

本調査・研究をとおして、吉保の肖像や由緒等について、初めて体系的な考察が実施され、その成果を発表することができたと考える。今後、この成果が甲府藩柳沢家、さらには当該時期の甲斐国の歴史文化に関する研究の進展に寄与することを期待する。

(3) 個別調査・研究

①職員の調査・研究成果

番号	調査・研究テーマ	概要	担当職員
	浮世絵師・溪斎英泉に関する研究	江戸時代後期の浮世絵師、溪斎英泉について、錦絵美人画を中心に考察を行う。(太田記念美術館 第31回(2014年)「浮世絵研究助成」の交付を受けての研究)	松田美沙子

## ②調査・研究活動

年 月 日	内 容	担当職員
平成26年4月14日(月)	上野原市狐原Ⅰ遺跡出土動物遺体調査	植月 学
平成26年4月25日(金)	甲斐の黒駒展 出品資料調査(行田市博物館、さきたま史跡の博物館)	植月 学
平成26年5月1日(木)～2日(金)	甲斐の黒駒展 出品資料調査(前橋市、太田市、高崎市、群馬県埋文)	植月 学
平成26年5月9日(金)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	中野 賢治 松田美沙子
平成26年5月12日(月)	京都府古美術商 富士曼荼羅図調査	近藤 暁子 松田美沙子
平成26年5月15日(木)	南アルプス市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 松田美沙子ほか
平成26年5月23日(金)	甲斐の黒駒展 出品資料調査(飛鳥資料館、榎原考古学研究所附属博物館)	植月 学
平成26年5月28日(水)	甲斐の黒駒展 出品資料調査(犬山城白帝文庫)	植月 学
平成26年5月9日(金)	甲斐の黒駒展 出品資料調査(飯田市)	植月 学
平成26年6月12日(木)	木曾馬調査(紅葉台木曾馬牧場)	植月 学
平成26年6月20日(金)	甲斐の黒駒展 出品資料調査(馬の博物館)	植月 学
平成26年7月8日(火)～10日(木)	県内寺院仏像調査(韓国国立清州博物館員との共同調査)	近藤 暁子 森原 明廣 植月 学
平成26年7月16日(水)	東京都古美術商 絵画作品調査	松田美沙子
平成26年7月30日(水)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	松田美沙子
平成26年8月17日(日)	河口湖浅間神社 資料調査	植月 学 堀内 眞 近藤 暁子
平成26年8月19日(火)	東京国立博物館 富士参詣曼荼羅図調査	近藤 暁子 松田美沙子ほか
平成26年8月21日(木)	山梨市個人宅 資料調査(山梨県立図書館と共同調査)	中野 賢治
平成26年8月27日(水)	長野県塩崎遺跡出土馬骨調査	植月 学
平成26年8月27日(水)	甲府市個人宅 資料調査	中野 賢治
平成26年9月3日(水)	笛吹市個人宅 資料調査	中野 賢治
平成26年9月4日(木)	甲府市個人宅 資料調査	中野 賢治
平成26年9月4日(木)	甲州市恵林寺 資料調査	近藤 暁子 松田美沙子
平成26年9月12日(金)	南アルプス市穂見神社所蔵資料調査(県学術文化財課調査)	海老沼真治
平成26年9月24日(水)～26(金)	青森県海傳寺、弘前大学、西福寺 資料調査	近藤 暁子
平成26年10月3日(金)	甲府市個人宅 資料調査	宮澤富美恵 中野 賢治
平成26年11月12日(水)	笛吹市美和神社および個人蔵馬具調査	植月 学
平成26年11月25日(火)	山梨近代人物館資料調査(東京都内)	小畑 茂雄
平成26年11月27日(木)	山梨近代人物館資料調査(甲府市個人宅)	小畑 茂雄
平成26年12月5日(金)～6日(土)	武田氏関係資料調査(東京大学史料編纂所・国立国会図書館)	海老沼真治
平成27年1月8日(木)	富士山展出品資料調査(小山町教育委員会)	近藤 暁子
平成27年1月9日(金)	福井県立恐竜博物館 恐竜化石調査	森原 明廣 植月 学
平成27年1月16日(金)	武田氏関係資料調査(京都市古美術商)	海老沼真治
平成27年2月19日(木)	富士山展 出品資料調査(西念寺)	中野 賢治
平成27年2月13日(金)	瑞浪市化石博物館所蔵 県内産貝化石など調査	植月 学
平成27年2月25日(水)	富士山展 出品資料調査(富士山本宮浅間大社 静岡県立美術館と共同調査)	堀内 眞 中野 賢治
平成27年2月26日(木)	都留市谷村城出土動物遺体調査(山梨県埋蔵文化財センター)	植月 学
平成27年3月11日(水)	シンボル展出品候補資料調査(笛吹市遠妙寺)	海老沼真治
平成27年3月19日(木)	シンボル展出品候補資料調査(山梨県立図書館)	海老沼真治

(4) 調査・研究成果の公表

①博物館主催シンポジウム・講演会における職員の発表

第Ⅱ編第5章(1)を参照

②博物館職員の調査・研究実績

■論文・調査報告など

氏名	名称	掲載誌名	学会(発行者)	発行年月日
植月 学	古代東国における牛肉食の動物考古学的検討	『山梨考古学論集Ⅶ』	山梨県考古学協会	平成26年5月10日
植月 学	中継遺跡第6次調査1号住居址出土の動物遺体	『下総考古学』第23号	下総考古学研究会	平成26年5月17日
植月 学	出土馬遺体研究の現状—東日本を中心に	『BIOSTORY』第21号	誠文堂新光社	平成26年6月1日
植月 学	内陸における海産物流通—甲州の魚食文化—	『季刊考古学』第128号	雄山閣	平成26年8月1日
植月 学	低地における貝塚形成の多様性からみた中里貝塚	『ハマ貝塚と縄文社会—国史跡中里貝塚の実像を探る—』	雄山閣	平成26年8月25日
植月 学	骨塚の形成から見た大型獣狩猟と縄文文化	『別冊季刊考古学』第21号	雄山閣	平成26年11月25日
植月 学	大室古墳群186号墳から出土した馬歯	『信濃大室積石塚古墳群の研究Ⅳ』	明治大学考古学研究室	平成27年3月予定
植月 学	余山貝塚の生業活動	『高島多米治と下郷コレクション—余山編—』	大阪歴史博物館	平成27年3月予定
丸尾 依子	山梨県における道祖神祭りの持続と変容	『日韓比較民俗研究の新視点』	国立歴史民俗博物館	平成26年12月3日
西川 広平	『山梨県地方史研究の動向』	『信濃』66巻6号	信濃史学会	平成26年6月18日
西川 広平	富嶽三十六景と富士山信仰	特別展『富士山—江戸・東京と練馬の富士—』展図録	練馬区立石神井公園ふるさと文化館	平成27年1月24日
西川 広平	大久保長安と変革の時代	郷土資料館研究紀要『八王子の歴史と文化』第27号	八王子市郷土資料館	平成27年3月予定
西川 広平	書評「坂田聡・吉岡拓著『民衆と天皇』」	『中央史学』第38号	中央史学会	平成27年3月予定
西川 広平	世界遺産富士山「巡礼路の特定」に関する作業報告	『山梨県立博物館研究紀要』第9集	山梨県立博物館	平成27年3月予定
西川 広平 近藤 暁子	山梨県立博物館共同調査・研究11『大和郡山市所在 柳沢家関係史料に関する研究』報告書	—	山梨県立博物館	
近藤 暁子	東北地方で初めて発見された木喰仏について	『微笑みに込められた祈り 円空・木喰展』図録		平成27年2月7日
近藤 暁子	柳沢吉保の肖像について彫像の調査と考察	『山梨県立博物館共同調査・研究「大和郡山市所在 柳沢家関係史料に関する研究」報告書』	山梨県立博物館	平成27年3月予定
海老沼真治	武田・徳川氏の今川領国侵攻過程—身延文庫「科註拾塵抄」奥書の検討から—	『武田氏研究』第51号	武田氏研究会	平成26年12月1日
海老沼真治	新収集資料紹介「武田勝頼書状」「徳川家奉行人連署状」	『山梨県立博物館研究紀要』第9集	山梨県立博物館	平成27年3月予定
海老沼真治	市河家文書「古状共写」について	『山梨県立博物館研究紀要』第9集	山梨県立博物館	平成27年3月予定
中野 賢治	謡曲《鶴飼》と「鶴飼伝説」—近世石和遠妙寺縁起の形成と展開—	『山梨県立博物館研究紀要』第9集	山梨県立博物館	平成27年3月予定
中野 賢治	近世後期の潟湖と浦の生業—中須自治会所蔵文書の分析から— 附 中須自治会所蔵文書目録	古代文化センター研究論集第14集『日本海沿岸の潟湖における景観と生業の変遷の研究』	島根県古代文化センター	平成27年3月予定
松田美沙子	浮世絵師・溪斎英泉 錦絵美人画に関する一考察—歌川国貞との比較を中心に—	『美術史』第177号	美術史学会	平成26年10月31日
松田美沙子	新津家伝来肖像画について—一月岡芳年作品を中心に—	『山梨県立博物館研究紀要』第9集	山梨県立博物館	平成27年3月予定



■講演・シンポジウムなど

氏名	名称	シンポジウム名・学会名	場所	開催年月日
森原 明廣	世界遺産富士山の文化的価値について	山梨県社会教育の会総会記念講演会	石和・ホテル古柏園	平成26年6月7日(土)
森原 明廣	甲斐鏡子塚古墳の歴史的意義について	考古研究会研究集会「山梨県における古墳時代前期首長墓の系譜について」	帝京大学山梨文化財研究所	平成26年10月25日(土)
森原 明廣	富士山―世界文化遺産登録への歩み―	甲府東高等学校創立38周年記念講演会	山梨県立甲府東高等学校	平成26年10月27日(月)
森原 明廣	世界遺産富士山の文化的価値とその保全について	富士河口湖町文化祭記念講演会	富士河口湖町さくやホール	平成26年11月4日(火)
森原 明廣	富士山の信仰と歴史文化―世界遺産としての価値と今後の課題―	春日居郷土館富士山の日記念講演会	笛吹市立春日居郷土館	平成27年2月21日(土)
植月 学	甲府の食文化～食は地域を元気にする～	山梨県立大学講義「山梨の政策課題」	山梨県立大学	平成26年5月30日(金)
植月 学	古代馬の検出事例と「甲斐の黒駒」	第1回福光園寺歴史シンポジウム	福光園寺	平成26年6月15日(日)
植月 学	山梨の食文化 地域の魅力を食で再発見！	山梨観光カレッジ	山梨学院大学	平成26年6月30日(月)
植月 学	武田信玄と食	山梨文化学園 第81期「歴史文化教室」	山梨文化会館	平成26年7月12日(土)
植月 学 他	The origin and dispersal of horses in Japan revealed through molar shape analysis	12th ICAZ International Conference	Centro de Congresos & Exposiciones, San Rafael, Argentina	平成26年9月23日(火)
植月 学 他	臼歯形状からみた日本在来馬の起源	日本動物考古学会第2回研究大会	若狭三方縄文博物館	平成26年11月30日(日)
植月 学	考古学からみた「甲斐の馬」	甲府城下町を語る会	びゅあ総合	平成27年1月18日(土)
丸尾 依子	学芸員の仕事と博物館を取り巻く状況	成城大学学芸員課程	成城大学	平成26年4月1日(水)
丸尾 依子	やまなしの道祖神祭り―古くて新しい伝統行事の姿―	大学コンソーシアム山梨	健康科学大学	平成26年6月5日(金)
丸尾 依子	幽霊・妖怪にくわしくなる講座	総合的な学習の時間	石和南小学校	平成26年6月3日(木)
丸尾 依子	やまなしの道祖神祭り―古くて新しい祭りの姿―	大学コンソーシアム山梨	山梨英和大学	平成26年10月9日(木)
丸尾 依子	昔のくらし―養蚕について知ろう―	社会科「昔の道具を調べよう」	御坂東小学校	平成26年11月12日(水)
丸尾 依子	過疎集落の民俗芸能を継承する―山梨県甲州市塩山「一之瀬高橋の春駒」の事例から―	第9回無形民俗文化財研究協議会	東京文化財研究所	平成26年12月8日(月)
丸尾 依子	わかりやすいどんど焼き 藪玉を作って学ぶ	d SCHOOL	D&DEPARTMENT YAMANASHI	平成26年12月20日(土)
丸尾 依子	甲州市の道祖神	甲州市民講座	甲州市民文化会館	平成27年1月8日(木)
丸尾 依子	昔のくらし―養蚕について知ろう―	社会科「昔の道具とくらし」	羽黒小学校	平成27年2月4日(水)
丸尾 依子	民俗芸能解説（笹子追分人形芝居、一之瀬高橋の春駒、黒平の能三番、下福沢の七福神）	伝統芸能の祭典	コラーニー文化ホール（小ホール）	平成27年2月15日(日)
丸尾 依子	昔のくらし―養蚕について知ろう―	社会科「昔の道具とくらし」	井尻小学校	平成27年2月18日(水)
丸尾 依子	昔のくらし―養蚕について知ろう―	社会科「さぐってみよう昔のくらし」	一宮西小学校	平成27年2月25日(水)
丸尾 依子	昔のくらし―養蚕について知ろう―	社会科「さぐってみよう昔のくらし」	山梨大学教育人間科学部附属小学校	平成27年3月4日(水)
丸尾 依子	下福沢の七福神―若者と村の祭り―	山梨学講座「やまなしの祭りと伝統芸能」	生涯学習推進センター	平成27年3月18日(水)
丸尾 依子	一之瀬高橋の春駒―過疎集落の民俗芸能とその再興―	山梨学講座「やまなしの祭りと伝統芸能」	生涯学習推進センター	平成27年3月20日(金)
小畑 茂雄	明治45年3月～4月 東宮（大正天皇）山梨県行啓について	甲府城下町を語る会	甲府市総合市民会館	平成26年4月27日(日)
西川 広平	中近世移行期の山地をめぐる村の由緒	中央史学会	中央大学	平成26年7月5日(土)
西川 広平	世界遺産「富士山」の価値について	「富士山と環境保全」講座	山梨県生涯学習推進センター	平成26年9月6日(土)
西川 広平	富士山の自然と人との関わり方の歴史	山梨県富士山世界遺産ガイド第1回養成講座	山梨県立富士ビジターセンター	平成26年12月15日(月)
西川 広平	富嶽三十六景と富士山信仰	特別展「富士山―江戸・東京と親馬の富士―」	練馬区立石神井公園ふるさと文化館	平成27年3月7日(土)
海老沼真治	山本菅助の実像を探る	第8回甲府歴史学講座	甲府市役所 6階研修室	平成26年5月31日(土)
海老沼真治	御館の乱・甲越同盟と武田氏の飯山支配	飯山城築城450年記念 飯山城シンポジウム	飯山市民会館	平成26年10月4日(土)
海老沼真治	川をめぐる生業と歴史	山梨学講座「水王国やまなしの歴史」	山梨県生涯学習推進センター	平成26年12月17日(水)
海老沼真治	古代・中世「御坂路」の展開	大野山福光園寺 第2回歴史シンポジウム「古代甲斐と官道―東海道「甲斐路」をめぐる―」	大野山福光園寺	平成26年2月7日(土)
松田美沙子	絵画作品に描かれた富士山	総合的な学習の時間	河口小学校	平成26年6月23日(月)
松田美沙子	浮世絵の歴史	キャリア教育推進支援事業	韮崎高等学校	平成26年10月29日(水)
近藤 暁子	甲斐の木喰―その足跡と作風―	やまなし観光カレッジ	都留文科大学	平成26年5月8日(木)

■ 県立博物館館内研究会

日 時	報 告 者	内 容
平成26年6月5日(木)	中野賢治	尼子勝久と山中鹿介 ―尼子家再興戦争をめぐる―
平成26年7月28日(月)	松田美沙子	浮世絵師溪斎英泉の錦絵美人画 ―歌川国貞との比較を中心に―

③ 刊行物

名 称	発 刊 日	体 裁
『山梨県立博物館研究紀要』第9集	平成27年3月25日	A4版、70頁
『山梨県立博物館調査・研究報告11 柳沢吉保の由緒と肖像』	平成27年3月25日	A4版、73頁

(5) 富士山世界文化遺産学術調査・研究

■ 調査・研究の目的

富士山の世界文化遺産登録に向けた第1次学術調査研究を平成20年度から23年度にわたって実施し、富士山総合学術調査研究報告書を刊行した。第2次調査は、県立博物館に事務局を移し、平成24年度から27年度にかけて、世界文化遺産の登録後も継続・実施する。

■ 富士山総合学術調査研究委員会委員

- 石田 千尋(文学部会・山梨英和大学教授)
- 上杉 陽(自然環境部会・都留文科大学名誉教授)
- 菊池 邦彦(歴史考古民俗部会・東京都立産業技術高等専門学校教授)
- 清雲 俊元(歴史考古民俗部会・富士山世界文化遺産協議会委員長)
- 萩原 三雄(歴史考古民俗部会・帝京大学文化財研究所所長)
- 濱田 隆(有形文化財部会・元山梨県立美術館館長)
- 福田アジオ(歴史考古民俗部会・山梨県文化財保護審議会委員)

■ 県立博物館担当職員

- 森原 明廣(学芸課長、歴史考古民俗部会考古班)
- 植月 学(学芸員、歴史考古民俗部会考古班)
- 海老沼真治(学芸員、歴史考古民俗部会文書班)
- 西川 広平(学芸員、歴史考古民俗部会文書班)
- 宮澤富美恵(職員、歴史考古民俗部会文書班)
- 丸尾 依子(学芸員、歴史考古民俗部会民俗班)
- 近藤 暁子(学芸員、有形文化財部会)
- 堀内 眞(職員、事務局)

■ 県教育委員会学術文化財課

- 中山 誠二(文化財指導監、歴史考古民俗部会考古班)

■ 主な活動記録

【委員会】

- ・平成26年6月20日(金)

【講演会・公開発表会】

- ・平成26年11月30日(日) 富士山総合学術調査講演会「信仰の山 富士山―山梨・静岡両県の発掘調査から探る―(風土記の丘研修センター) ※山梨県埋蔵文化財センターとの共催
- ・平成27年2月22日(日) 「富士山の古代を探る―考古学・美術史・文学を素材として―(県立博物館)

【各部会の開催】

- ・平成26年6月28日（土） 歴史考古民俗部会（文書班）会議（県立博物館）
- ・平成26年8月29日（金） 文学部会会議（県立文学館）
- ・平成26年12月13日（土） 文学部会会議（山梨英和大学）
- ・平成26年12月24日（水） 歴史考古民俗部会（考古・宗教考古班）会議（帝京大学文化財研究所）
- ・平成27年2月5日（木） 歴史考古民俗部会（考古・宗教考古班）会議（帝京大学文化財研究所）
- ・平成27年3月25日（水） 歴史考古民俗部会（民俗班）会議（富士河口湖町中央公民館）

## 第3章 資料の収集・保管・活用

### (1) 資料収集の方針

#### ①資料収集の方針

山梨県立博物館における資料収集は、博物館の基本テーマである「山梨の自然と人」に関わるものを中心とする（山梨県立博物館の資料収集及び資料・情報の活用に関する要綱）。具体的には、以下の性格を有する資料を収集の対象とする。

- ①絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で山梨県にとって歴史上または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料。
- ②衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具、その他の物件で県民の生活推移の理解のために欠くことのできないもの。
- ③言葉、音楽、民間伝承、工芸技術等の無形のもので山梨県の文化の理解に欠くことのできないもの。
- ④動物、植物及び地質鉱物で山梨県にとって前の項目と深い関わりのあるもの。

収集の対象とする資料のうち、その収集が困難なものについては、当該資料に係る模型、模造、模写、複製若しくは当該資料に関する図書、文献、調査資料その他必要な資料を収集することとしている。

収集にあたっては、上記要綱のほか「山梨県立博物館の資料収集に関する要領」に従って収集を進めている。

#### ②資料・情報委員会

資料の収集の適否等について審議し、収集した資料、情報の活用について協議する「資料・情報委員会」を設置、開催している。

委員会は、7名の委員により構成されており、歴史、考古、民俗、美術工芸、情報工学等に関する高度な専門的知見を有する者の中から、山梨県立博物館長が選任している。

#### ■資料・情報委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

##### 資料・情報委員会委員

氏名	職名	専門分野
飯田 文彌	山梨郷土研究会常任理事	近世史・郷土史
小島 孝夫	成城大学教授	民俗学
笹本 正治	信州大学副学長	中世史
鈴木 卓治	国立歴史民俗博物館准教授	情報工学
鈴木麻里子	山梨県文化財保護審議委員	美術史
谷口 一夫	山梨県考古学協会名誉会長	考古学
濱田 隆	山梨県立美術館元館長	美術史

#### ■平成26年度の資料情報委員会開催状況

- ・平成26年11月26日（水） 第18回委員会を開催  
11件の収集候補資料を審議した。
- ・平成27年2月6日（金） 第19回委員会を開催  
5件の収集候補資料を審議した。

### (2) 資料の収集

平成26年度に収集した資料は、次表の通りである。

#### ■購入

	資料名	特徴	制作期	員数
1	ふじまんだらぢ 富士曼茶羅図（春木南溟 筆） <small>はるきなんめい</small>	春木南溟による富士曼茶羅図。版本作品には度々見られる、北口本宮富士浅間神社からの光景を描いているが、本図のように絹本に描かれたものは珍しい。日輪・月輪が描かれ、礼拝画としての側面を持つ一方で、参詣図としての性質をも併せ持つ。	江戸時代（19世紀）	1幅

2	さんごくだいちごんのぞ 三國第一山之圖 うたがわさだひや (歌川貞秀 筆)	歌川貞秀(玉蘭斎貞秀)の手による、大判錦絵縦3枚続の作品。静岡側からの富士山像ではあるものの、身延山が描かれている他、登山時の服装など、珍しい図様が描かれている点が興味深く、富士信仰を考える上で貴重な作品と言える。	江戸時代 弘化4年(1847) ~嘉永5年(1852)	3枚続 1点
3	よじしんこうかんけいしりょういっしき 富士信仰関係資料一式	富士信仰関連の刷物9枚。木版に手彩色で色が付けられているものが多い。木花開耶姫命の御影や富士山牛玉、御縁年の絵札、富士山神系図など、富士信仰を知る上で有益な刷物一式である。	江戸時代後半 ~明治時代	9点
4	たけだかつよりかんじょう 武田勝頼感状	武田勝頼が小野澤五郎兵衛に対し、寄親の松田上総介(笠原政晴)が北条氏から武田氏に寝返って伊豆韮山城を攻めた際の戦功を賞した古文書。	天正9年(1581)	1通
5	こうちゆうゆうき 甲中遊記	文化13年(1816)に將軍徳川家斉に献呈された渋江長伯の「官遊紀勝」と酷似した記述を含む資料。これが「官遊紀勝」の原型であれば地誌編纂過程の研究に一石を投じる新発見となる。写本であったとしても、同書の初の異本発見となる。いずれにせよ資料として非常に高い価値を有する。	19世紀前半 (文化・文政期)	5冊

■寄贈

	資料名	特徴	制作期	員数
1	やまなしこうつうでんしゃかんけいしりょう 山梨交通電車関係資料	山梨交通の電車線(通称ボロ電)を中心とした写真・時刻表・切符類。	昭和戦前 ~30年代	45点
2	こいけけいしんごうしりょう 小池家所蔵資料	小池藤五郎(文学博士、元東洋大学・立正大学教授、1895~1982)が所蔵していた、近世の甲州流軍学・越後流軍学に関する資料。	江戸時代	4点
3	よじなみ 藤波コレクション および店舗関連資料	甲府市中央の(有)藤波度量衡においてコレクションされたばかりと、同店において使用された暖簾、法被。	江戸時代~昭和	31点
4	きょうどがんとせいでん 郷土玩具製造 および水晶加工品関連資料	佐藤製作所において製作された郷土玩具かなかんぶつの製作にまつわる資料群と、水晶製の玉眼・白毫製作関連の資料群。	明治時代~平成	14点
5	こうふいしんごうしりょう 甲府魚町道祖神祠・神体 および祭祀用具	甲府市中央3丁目(魚町一丁目)に祀られていた道祖神の祠と神体、および祭祀用具。祠は木造で江戸時代の手法を伝える。神体は複数の丸石である。	江戸時代以降 (祠・神体) 昭和~平成 (祭祀用具)	54点
6	きくしませりょう 菊嶋家資料	甲府市の菊嶋家に伝来する、版本類。江戸期に書かれた往来物や俳諧関係の資料、明治期に刊行された百科事典類から成る。	江戸時代 ~明治時代	49点
7	ひろせともたらうけしりょう 廣瀬友太郎家資料	甲斐国の種痘医として知られる廣瀬元恭の子孫に伝えられた資料。地主経営や近代の藤田村学区総理としての書簡類が中心。緒方洪庵からの書簡や医学書が目玉される。	江戸時代 ~大正時代	678点
8	はやかわけしりょう 早川家資料	石和宿の早川家(屋号は澤田屋)の経営資料を中心とする文書群。特に近世末期から昭和戦前期にかけての地主や金融、酒造業者などとしての経営の様子がうかがえる。近隣とやりとりした書簡や「遠妙寺一件」という袋に入った書類群など、石和地域の歴史を探る上で貴重な資料である。	江戸時代 ~昭和時代	約3,000 点

■寄託

	資料名	特徴	制作期	員数
1	くまのまんだら 熊野曼荼羅	古くから盛んであった熊野信仰に基づく垂迹画。朱鳥年中(686)に紀州熊野社領より勧請されたとの由緒をもつ、熊野神社(笛吹市八代)に伝来する。熊野三所権現と十二所権現を、力強い線描で描き、彩色も濃密に施される。	鎌倉時代(14世紀)	1幅
2	ぶどうづびょうぶ 葡萄図屏風(天龍道人 筆)	一扇ごとに絵を貼り込んだ、押絵貼屏風の形態をとる。作者の天龍道人は、鷹や葡萄をとりわけ得意としたことで有名だが、本作にも、漢詩が添えられた葡萄が、水墨の濃淡によって見事にあらわされている。	文化2年(1805)	1隻
3	はりまげびょうぶ 貼交屏風	紙本墨書、紙本墨画淡彩で描かれた書簡や絵画、扇面等が、25面貼り込まれている屏風。	江戸時代	1隻

(3) 資料の整理・目録(データ)化

平成26年度は、新規収集した資料の整理に加え、既存資料のデータ修正1,500点および未整理資料のデータ作成1,500点を行った。また、収集資料を目録(データ)化する作業を進め、登録データの公開作業も随時進めている。

### ■資料の整理

新規に収集した未整理の資料等について、目録作成、保管容器への収納、ナンバリングを行う作業である。平成26年度は、引き続き職員による作業を進めているほか、9～11月、1～3月の2回整理作業員を雇用し、既存資料・新規収集資料の整理を実施した。

### ■収蔵資料のマイクロ化・デジタル化

県立図書館から移管した資料のうち、利用頻度が高い「甲州文庫」については、利便性を高めるため、平成16～17年度事業としてマイクロフィルムによる撮影、デジタル画像の作成を行い、全体の約9割が完了した。残りの資料については、さらに18～19年度の2か年でマイクロ化・デジタル化を実施した。

本事業によって、甲州文庫資料のうち、古文書・図書・新聞雑誌類については、ほぼすべての資料のデジタル画像を公開した。

撮影点数：23,019点（510,518コマ）

### ■図書資料のデータ登録

収集した図書・雑誌類のデータ登録を、職員により随時行っている。平成27年3月18日現在の登録件数は42,338点となっている。

## (4) 資料の修復・管理

### ①資料の修復

#### ■修復資料

#### 1. 「甲州道中身延詣図巻」、卷子、紙本著色、江戸時代（19世紀）

27.9×1961.2cm

#### ■資料の重要性

・資料前半は道中記。後半部分は甲州道中から身延山に至るまでの所々の情景を描いたもの。街道の情景は次の16箇所である。

日野原→阿田川→垂舟亭→四瀬→芳野→野田尻→犬目山→鳥沢→神守→猿橋→笹子嶺  
→観音阪→裏不二→八嶽→鯉沢→身延山

・当時の甲斐国の街道の諸場面を伝える貴重な資料で、修復後は常設展示、企画展示での活用が予定されている。

#### ■修復者

・株式会社 墨仁堂 静岡県静岡市葵区大岩1丁目4-4（修復作業所：同左）

#### ■修復の内容

・現状として、本紙に多数の虫損や折れがあり、紙の継ぎが外れている箇所がある。また、表紙はなく、仮の紙が巻頭に巻きつけられていた。

・このため、資料の解体修理を行い、併せてクリーニング、剥落止め、本紙への補紙を行った。本紙については、膠水溶液により本紙及び絵具の剥落止めを施し、精製水を用いたクリーニングを行った。

・旧裏打紙はすべて除去し、薄美濃紙による肌裏打ちおよび楮紙を用いた総裏打ちを行った。なお、今後の折れを防ぐ折れ伏せを美濃紙にて行った。

・表紙裂、見返し紙を新調して表紙を制作したほか、軸木・軸首・紐・八双等を新調して卷子装に仕立て、桐太巻添軸付屋郎箱を新調した。

### ②資料の保存環境管理

博物館では、資料を後世に伝えるために高いレベルで環境管理を行っている。これは、資料の物理的、化学的、生物的な劣化を防ぐためである。以下に、管理項目とその内容について示す。

#### ■温湿度管理

山梨県立博物館では文化財の収蔵・展示のため、精度の高い温度・湿度管理を行っている。収蔵庫は24時間空調を行い、展示室については深夜電力による蓄熱時間を除く間（8時～22時）、空調を行っている。

これらの管理は中央監視室にて監視し、毛髪式自記記録計及びデータロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

展示ケースについても、エアタイトケースと呼ばれるケースについては調湿剤を使用して湿度のコントロールを行うとともに、毛髪式自記記録計、データロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

■空気質管理

空気質については、化学吸着フィルターと呼ばれるフィルターを収蔵庫、展示室の空調設備に設置し、外気及び循環気に含まれる有害ガスの除去を行っている。

■照明

館内の照明のうち収蔵庫及び展示室内の照明には紫外線が極力発生しないものを用いている。特に紫外線が多く発生する蛍光灯は、美術・博物館用と呼ばれる紫外線吸収膜付の高演色形の蛍光灯を使用している。また、他の照明では各種ハロゲンランプを用いているほか、一部はLEDスポットライトを導入している。

また、照度は資料の材質や状態に合わせて管理を行っており、浮世絵や染織品のような非常に脆弱なものは80ルクス以下、土器や金属器等は150ルクス程度の照明を行っている。

■生物被害管理

一時収蔵庫での燻蒸は、資料収集の関係上実施しなかった。資料個別に対する燻蒸については適宜燻蒸庫で行った。

(5) 資料の活用

山梨県立博物館では、収集した貴重な資料を後世に残し、将来を見通した利用を保障することを資料取り扱いの基本と考えている。保存に十分配した上で、資料を公開し、県民、博物館利用者の学習や調査研究等に活用するために、資料、情報の提供を行っている。

利用者の利便性を図るため、平成20年6月1日より開始した即日閲覧は、利用者に好評であり、56件207点を提供した。また、従来からの事前申請による原資料閲覧が、古文書等を中心として32件263点あった。

撮影は展示図録への掲載、調査研究などの目的で32件263点あり、書籍等への掲載、テレビ番組での使用などの資料写真の貸出は、153件522点となっている。

また、県内外の博物館等での展示利用のために、13件147点の館外貸出を行った。

■平成26年度歴史資料等利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
歴史資料等 即日閲覧	件数	5件	6件	7件	2件	8件	3件	3件	6件	1件	5件	4件	6件	56件
	点数	6点	22点	26点	6点	39点	13点	6点	31点	1点	15点	19点	23点	207点
歴史資料等閲覧	件数	4件	3件	3件	3件	3件	2件	2件	3件	2件	2件	1件	4件	32件
	点数	45点	25点	16点	31点	17点	2点	28点	11点	3点	9点	10点	66点	263点
歴史資料等撮影	件数	4件	3件	3件	3件	3件	2件	2件	3件	2件	2件	1件	4件	32件
	点数	45点	25点	16点	31点	17点	2点	28点	11点	3点	9点	10点	66点	263点
未登録歴史資料	照会	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	複写	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点
歴史資料等使用 (フィルム使用等)	件数	18件	15件	15件	11件	18件	6件	13件	12件	8件	13件	15件	9件	153件
	点数	38点	24点	25点	107点	38点	18点	23点	27点	54点	68点	78点	22点	522点
歴史資料等貸出	件数	1件	0件	0件	4件	1件	3件	1件	0件	0件	0件	3件	0件	13件
	点数	9点	0点	0点	89点	1点	35点	2点	0点	0点	0点	11点	0点	147点

## 第4章 展 示

### (1) 常設展示

平成26年度の常設展示は、年間6回の展示替えを行ない、資料の保存に対応するとともに、展示期間ごとにテーマを設定して、来館者に親しみやすい展示内容とすることを図った。また、秋期企画展（「甲斐の黒駒」）に連動したテーマを設定することにより、展示全体に一体感をもたせ、来館者の循環を促すよう図った。

#### ■展示期間とテーマ

- ①平成26年2月26日（水）から平成26年4月21日（月）まで  
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公」
- ②平成26年4月23日（水）から平成26年6月23日（月）まで  
展示テーマ「山梨の金と貨幣」
- ③平成26年6月25日（水）から平成26年8月25日（月）まで  
展示テーマ「富士は日本一の山」
- ④平成26年8月27日（水）から平成26年10月13日（月）まで  
展示テーマ「資料で巡る山梨の旅」
- ⑤平成26年10月15日（水）から平成26年12月15日（月）まで  
展示テーマ「山梨の馬」
- ⑥平成26年12月17日（水）から平成27年2月23日（月）まで  
展示テーマ「お正月は、博物館で初詣」
- ⑦平成27年2月25日（水）から平成27年4月20日（月）まで  
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公！」

- ・時代については、複製品は原資料の製作年代を記した。
- ・所蔵者については、複製品は（ ）内に原資料所蔵者を記した。
- ・指定については、◎は国宝、◎は国指定重要文化財、○は県指定文化財、◇は市町村指定文化財とした。
- ・絵画・古文書等、脆弱な資料の展示期間が複数にわたる場合は、その都度頁替え、巻替などを行なっている。

#### 【出品資料一覧】

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
自然の森の中で				
桂野遺跡渦巻文土器	縄文中期	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
原町田遺跡出土縄文土器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
縄文土器片、石器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲斐の誕生				
甲斐国分寺瓦（鬼瓦）（複製）	奈良時代	山梨県立考古博物館 （原資料 笛吹市教育委員会）		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分寺瓦（軒丸瓦）	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分尼寺出土墨書土器	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡大野郷」（複製）	奈良時代	山梨県立博物館（原資料 佐久市教育委員会）		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡表門」	奈良時代	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
寺本庵寺 瓦	白鳳時代	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
天狗沢瓦窯跡 瓦	白鳳時代	甲斐市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡①（複製）	奈良時代	山梨県立博物館（原資料 奈良文化財研究所）		①②③④⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡②（複製）	奈良時代	山梨県立博物館（原資料 奈良文化財研究所）		①②③④⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡③（複製）	奈良時代	山梨県立博物館（原資料 奈良文化財研究所）		①②③④⑥⑦
平城京出土木簡 習書・戯画木簡（複製）	奈良時代	山梨県立博物館（原資料 奈良文化財研究所）		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡①（複製）	天平宝字6年(762)	山梨県立博物館（原資料 奈良文化財研究所）	◎	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡②（複製）	天平宝字6年(762)	山梨県立博物館（原資料 奈良文化財研究所）	◎	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡養物銭荷札木簡（複製）	天平宝字8年(764)	山梨県立博物館（原資料 奈良文化財研究所）		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国印（推定復元）	奈良時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦



資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
正倉院文書「甲斐国司解」(複製)	天平宝字5年(761)	山梨県立博物館(原資料 正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
東畑遺跡金銅仏	奈良時代	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
甲斐の黒駒				
大塚古墳出土横板銀留短甲(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 市川三郷町教育委員会)	○	①②③④⑤⑥⑦
狐原遺跡 焼印	平安時代	上野原市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
御崎古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
塩部遺跡 馬上顎齒	古墳時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑥⑦
伝豊富村 衝角付冑(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 眉庇付冑(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
平林2号墳 馬具	古墳時代	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑥⑦
平林2号墳太刀、鉄鍬一括	古墳時代	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 通行証明木簡(過所木簡)(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「駿河国正税帳」(複製)	天平10年(738)	山梨県立博物館(原資料 正倉院宝物)		①②③④⑥⑦
日本書紀	享和3年(1803)刊	個人		⑤
甲斐叢記	嘉永4年(1851)刊	山梨県立博物館		⑤
続日本紀	明暦3年(1657)刊	山梨県立博物館		⑤
水に取り組む				
雨乞いの仏像		清水寺		①②③④⑤⑥⑦
石尊祭の藁束	平成14年(2002)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
測量器(複製)	江戸時代	山梨県立博物館(原資料 個人)		①②③④⑤⑥⑦
宮沢中村遺跡網代護岸	鎌倉時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
御幸祭川除の石	平成15年(2003)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
武田家朱印状(桑原家資料)(複製)	天正3年(1575)	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
釜無川氾濫の図(複製)		長遠寺		①②③④⑤⑥⑦
小物成山へ水神勧請願一札(甲州文庫)	文化4年(1807)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
新版出水くどき(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
木製人形(甲府市塩部遺跡出土)	平安時代	山梨県立考古博物館		①②
形代 人形(南アルプス市大師東丹保遺跡出土)	鎌倉時代	山梨県立考古博物館		③④⑤⑥⑦
武田家朱印状(保坂家文書)	永禄6年(1563)	個人		①
駿遠州川々御普請絵図(平岡家文書)	文化12年(1815)	山梨県立博物館		①
普請目論見鑑	江戸時代	山梨県立博物館		②③
下条南割村絵図(千野家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		②③
郡内領絵図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		③
和歌・俳句等書上(斎藤家資料)	延享5年(1748)	山梨県立博物館		④
有野村堤切普請人足差出村々高書上(甲州文庫)	承応3年(1654)	山梨県立博物館		④
有野村堤絵図(千野家文書)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		④
徳島堰敷地図(古文書雑輯)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑥
徳島兵左衛門二百遠忌曼荼羅本尊	(明治17年・1884)	山梨県立博物館		⑥
甲斐国三郡川筋帳(若尾資料)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑥
武田家朱印状(保坂家文書)	天正3年(1575)	個人		⑦
信玄堤絵図(保坂家文書)	文政7年(1824)	個人		⑦
在方御普請仕形大概(甲州文庫)	宝暦4年(1754)	山梨県立博物館		⑦
戦国からのメッセージ				
甲乱記(甲州文庫)	正保3年(1646)	山梨県立博物館		①⑥
甲陽軍鑑	万治2年(1659)	山梨県立博物館		②
富士講経巻(村上派4世藤原月旺御見抜書写本)	天和3年(1683)	山梨県立博物館		③
小山田信茂朱印状写(若尾資料)	天正5年(1577)	山梨県立博物館		④
武田家朱印状	元亀4年(1573)	山梨県立博物館		⑤
武田勝頼書状(桜林家資料)	天正2年(1574)	山梨県立博物館		⑤
甲陽軍鑑(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
信長記(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
長篠合戦場図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
上杉景勝判物(市河家文書)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館	○	⑥
理慶尼の記(甲州文庫)	天保8年(1837)	山梨県立博物館		⑦
織田信長禁制(三井家資料)	天正10年(1582)	山梨県立博物館		⑦
妙法寺記	江戸時代	山梨県立博物館		①②
勝山古記	江戸時代	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
筒粥神事の道具	平成17年(2005)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
平成25年度筒粥占標(小室浅間神社)	平成25年(2013)	山梨県立博物館		①
平成26年度筒粥占標(小室浅間神社)	平成26年(2014)	山梨県立博物館		②③④⑤⑥
平成27年度筒粥占標(小室浅間神社)	平成27年(2015)	山梨県立博物館		⑦

第Ⅱ編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
山に生きる				
林業の道具を象った小正月のツクリモノ	現代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲州金（一分金 甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
大鋸	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
枡・焼き鍬	明治以降	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
焼畑衣装（再現品）	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
新規紙漉稼願書控（甲州文庫）	文久2年（1862）	山梨県立博物館		①②③④⑤
甲斐叢記	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		①②③⑥⑦
徳川家康朱印状（田辺家資料）	文禄2年（1593）	山梨県立博物館	○	①
穴山信友判物（佐野家資料）	弘治3年（1557）	個人		①
佐渡金銀山絵巻	江戸時代	山梨県立博物館		②
穴山信君判物（森家資料）	天正4年（1576）	個人		②
甲陽軍鑑（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
河内領佐野山小屋図面（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		③④⑤
飛州大野郡岩井村役人より所々番所役人宛柚職茂右衛門甲州へ出稼ぎに付き通行の願書（関本家文書）	慶応2年（1866）	山梨県立博物館		④⑤
並山日記（若尾資料）	嘉永3年（1850）	山梨県立博物館		④⑤
田辺伊織先祖書（田辺家資料）	寛政3年（1791）	山梨県立博物館	○	⑤⑥
河内領佐野山小屋普請入札の注文（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
市川大門村御運上紙入札に付触書（甲州文庫）	延宝7年（1679）	山梨県立博物館		⑥⑦
武田家朱印状（田辺家資料）	永禄3年（1560）	山梨県立博物館	○	⑦
里にくらす				
煙草包装紙	明治22年（1889）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
煙草庖丁	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
煙草箱	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
千野村絵図（複製）	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
軍馬帽	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬ブラシ		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬ブラシ		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
日本歳時記	貞享5年（1688）	個人		①②③④⑤⑥⑦
カナカンブツ（おかぶと）（上野晴朗氏収集資料）	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑦
大和耕作絵抄	大正4年（1915） 原本は元禄年間	個人		①②③⑤⑦
馬草鞋		山梨県立博物館		①②③④
甲府買物独案内（甲州文庫）	嘉永7年（1854）	山梨県立博物館		①②③⑦
甲府買物独案内（甲州文庫）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		①②③⑦
祓いの人形（上野晴朗氏収集資料）	現代	山梨県立博物館		①②③
流し雛（上野晴朗氏収集資料）	現代	山梨県立博物館		①②③
立雛（上野晴朗氏収集資料）	不明	山梨県立博物館		①⑦
押絵雛（山梨県教育委員会収集資料）	明治時代～昭和時代	山梨県立博物館		①⑦
キの神神札	現代	山梨県立博物館		①⑦
鎮目村山梨岡神社キ神来由記（甲州文庫）	慶応2年（1866）	山梨県立博物館		①⑦
甲州市塩山「一之瀬高橋の春駒」の水祝儀の祝儀品	平成22年（2010）	個人		①
裏見寒話 巻五（甲州文庫）	宝暦2年（1752）	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
雛問屋差鍵一件訴状并内証証文（甲州文庫）	嘉永5年（1852）	山梨県立博物館		②③
初節句祝儀（市川家文書）	明治33年（1901）	山梨県立博物館		②③
出産見舞受納帳并節句見舞受納帳（大木家資料）	嘉永5年（1852）	山梨県立博物館		②③
出産見舞の控（大木家資料）	明治28年（1895）	山梨県立博物館		②③
『甲州道中記』写本（若尾資料）	大正時代 （原本は江戸時代）	山梨県立博物館		②③
甲府ゑびす講煙火大会番組	昭和7年（1932）	山梨県立博物館		④⑤
蛭子講入用覚（大木家文書）	安政6年（1859）	山梨県立博物館		④⑤
金草鞋十二編身延山道中記（甲州文庫）	文政2年（1819）	山梨県立博物館		④⑥
往来手形（上野晴朗氏収集資料）	明治時代	山梨県立博物館		④
秋葉三尺坊札（五味家文書）	明治時代	山梨県立博物館		④
秋葉神社火災防護御札（太田家文書）	明治時代	山梨県立博物館		④
大嶽山那賀都神社神札（大木家文書）	明治時代	山梨県立博物館		④
大嶽山大権現神札（大木家文書）	明治時代	山梨県立博物館		④
身延参詣甲州道中膝栗毛（甲州文庫）	安政4年（1857）	山梨県立博物館		④
種紙および種紙袋	昭和	山梨県立博物館		⑤
桑爪（和田家資料 県教育委員会保管資料）	昭和	山梨県立博物館		⑤

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
桑抜き機（和田家資料）		山梨県立博物館		⑤
内田宏氏撮影写真	昭和	山梨県立博物館		⑤
呪いに使用した馬の草鞋 （甲州市遠山北牛奥の甲戸・十二所地区制作）	昭和	山梨県立博物館		⑤
韓国扶餘出土 陽物形木簡（複製）	538年～576年	当館蔵（原資料 韓国国立扶餘博物館）		⑥⑦
「道祖神祭礼再開願」（武藤家文書）	天保11年（1840）	山梨県立博物館		⑥
ヒブセ（おやなぎ）	平成17年（2005）	山梨県立博物館		⑥
『風俗画報』（頼生文庫）	明治24年（1891）	山梨県立博物館		⑥
ハイボコサン	平成17年（2005）	山梨県立博物館		⑥
奈良田の小正月のツクリモノ	昭和	山梨県立博物館		⑥
山の神の弓矢	現代	山梨県立博物館		⑥
峡中紀行（甲州文庫）	明治30年（1897） 原本は宝永3年（1706）	山梨県立博物館		⑦
城下町の賑わい				
稲荷曲輪出土瓦	江戸時代（17世紀）			①②③④⑤⑥⑦
甲府城跡出土鯪瓦（復元品）	江戸時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
高札	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府上水木樋		甲府市水道資料館		①②③④⑤⑥⑦
輪宝	江戸時代（17世紀）	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
人質曲輪出土桐文様瓦	室町時代（16世紀）	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
本丸出土花菱紋瓦	江戸時代	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
簪（広瀬家資料）		個人		①②③④⑤⑥⑦
大木呉服店の写真（大木家文書）		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
松平美濃守様御家中覚（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
御家中御役人付（甲州文庫）	享保4年（1717）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
芝居番付（甲州文庫）	文化8年（1811）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府町年寄役之記（甲州文庫）	寛延元年（1767）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲斐廻手振（若尾資料）	大正5年（1916）写	山梨県立博物館		①
甲府市横近習町大木呉服店より勤左衛門宛初売出し広告のはがき（関本家文書）	明治41年（1908）	山梨県立博物館		①
初売出し案内はがき（大木家文書）	大正元年（1912）	山梨県立博物館		①
年始之祝詞二付書状（三枝家資料）	江戸時代	山梨県立博物館		①
道祖神祭礼旧式愚例改方に付願書（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		①
武田勝頼以下追遠之碑建立広告（「峡中広告集」より）（甲州文庫）	明治14年（1881）	山梨県立博物館		①
舞鶴城稲荷大神祭観桜会煙火番組（甲州文庫）	大正10年（1921）	山梨県立博物館		①
金銀図録（頼生文庫）	文化7年（1810）	山梨県立博物館		②
甲州金古今押形（拓本）（大木家文書）	近代か	山梨県立博物館		②
甲金相場書上（甲州文庫）	天明2年（1782）	山梨県立博物館		②
甲金由来書（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		②
古甲金吹替につき触書（甲州文庫）	宝永4年（1707）	山梨県立博物館		②
甲金録（甲州文庫）	文政8年（1825）	山梨県立博物館		②
江戸幕府奉行人連署状写（若尾資料）	慶長13年（1608）か	山梨県立博物館		②
富士山道しるべ 前編（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		③④
富士日記（甲州文庫）	文政6年（1823）	山梨県立博物館		③
大山廻富士詣（甲州文庫）	文政5年（1822）	山梨県立博物館		③
富士大山懐中道之記（甲州文庫）	安政2年（1855）	山梨県立博物館		③
富士登山人改帳（本庄家文書）	天保9年（1838）	山梨県立博物館		③
富士登山導者人別改帳（本庄家文書）	天保13年（1842）	山梨県立博物館		③
山王真形	文政5年（1822）	山梨県立博物館		③
道中安全・万事心付日記帳（伊勢参宮道中日記）（関本家文書）	天保13年（1842）	山梨県立博物館		④
御関所印鑑貼付帖（甲州文庫）	不明	山梨県立博物館		④
善光寺参詣の途次病死につき埋葬方願書（甲州文庫）	寛政11年（1799）	山梨県立博物館		④
道中日記（伊勢参宮道中日記）（関本家文書）	文政7年（1824）	山梨県立博物館		④
甲斐名所寿古六（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		④
身延行記	江戸時代	山梨県立博物館		④
身延山図絵（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		④
甲州身延山図（甲州文庫）	弘化4年（1847）以降	山梨県立博物館		④
馬療調法記（古文書雑輯（2））	18世紀	山梨県立博物館		⑤
覚（馬毛付書上）（甲州文庫）	貞享5年（1688）	山梨県立博物館		⑤
町中馬相改毛附之帳（甲州文庫）	貞享5年（1688）	山梨県立博物館		⑤
覚（町中馬毛付書上の町触）（甲州文庫）	貞享5年（1688）	山梨県立博物館		⑤

第Ⅱ編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
世利駒譜人ニ町方者罷立候儀 (甲州文庫)	元禄6年 (1693)	山梨県立博物館		⑤
大曲馬広告 (甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
年賀状、付けたり代官廃止他につき (檜峰神社武藤家文書)	慶応4年 (1868)	山梨県立博物館		⑥
正月年礼之儀に付御達 (篠原家文書)	明治初期	山梨県立博物館		⑥
年賀状 (三枝家文書)	江戸前期	山梨県立博物館		⑥
竜王村宛正月御かざり竹証文 (竜王村文書)	安永5年 (1777)	山梨県立博物館		⑥
甲府八日町正月初売之景 原画 (甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
甲府買物独案内 (甲州文庫)	嘉永7年 (1854)	山梨県立博物館		⑥
武田晴信信玄像模本 (甲州文庫)	明治5年 (1872)	山梨県立博物館		⑦
差上申一札之事 (万福寺・恵林寺内済につき) (甲州文庫)	明和7年 (1770)	山梨県立博物館		⑦
信玄公二百五十年遠忌口上 (甲州文庫)	文化15年 (1818)	山梨県立博物館		⑦
信玄公三百年遠忌化縁簿 (甲州文庫)	明治4年 (1871)	山梨県立博物館		⑦
武田信玄墓碑囲石垣取建之儀伺書 (太田家文書)	天保9年 (1838)	山梨県立博物館		⑦
機山公御廟玉垣略図 (甲州文庫)	天保9年 (1838) 頃	山梨県立博物館		⑦
為取替議定書之事 (岩窪村信玄廟所維持経費負担などにつき) (竜王村文書)	天保11年 (1840)	山梨県立博物館		⑦
岩窪御廟所議定為取替証文 (甲州文庫)	天保13年 (1842)	山梨県立博物館		⑦
甲陽武祖信玄公流武翼覚書集 (甲州文庫)	嘉永6年 (1853)	山梨県立博物館		⑦
絵本信玄一代記 (甲州文庫)	寛政2年 (1790)	山梨県立博物館		⑦
景憲雑談記 (甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
変貌する景観				
絹糸 (蘭糸検査事務所資料)	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山蘭の糸 (蘭糸検査事務所資料)	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府勸業試験場出土フイン瓶	明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
生糸掛紙 (甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲州生糸商標 (甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山梨蚕種家案内 (古屋家資料)	明治39年 (1906)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
大日本物産図会 甲斐国葡萄培養図 (複製)	明治10年 (1877)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲州葡萄掛紙貼付帳 (甲州文庫)	—	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
写真絵はがき類 温泉 (甲州文庫)	明治時代以降	山梨県立博物館		①②③
山梨県病院温泉試験其成分効能併記 (大木家文書)	明治時代以降	山梨県立博物館		①②③
海州滝温泉絵図と開業広告 (甲州文庫)	明治17年 (1884)	山梨県立博物館		①②③
生糸改会社規則 (大木家文書)	明治6年 (1873)	山梨県立博物館		①②
生糸改会社規則 (甲州文庫)	明治6年 (1873)	山梨県立博物館		①②
山梨県勸業場製糸米国博覧会出品記録 (甲州文庫)	明治8年 (1875)	山梨県立博物館		①②
生糸包紙 (甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		①
秋!紅葉の富士五湖へ (甲州文庫)	大正~昭和	山梨県立博物館		③⑤⑥⑦
富士山麓景勝開発計画書 (甲州文庫)	大正~昭和	山梨県立博物館		③⑤⑥⑦
史蹟名勝天然記念物調査報告 第4集 天然記念物之部	昭和4年 (1929)	山梨県立博物館		③
富士裾野めぐり 付富士川下り甲州御岳 (甲州文庫)	大正14年 (1925)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
奈良田温泉ほか湯治入湯諸入用控 (関本家文書)	慶応元年 (1865)	山梨県立博物館		④⑤
甲斐名湯案内誌 (甲州文庫)	明治28年 (1895)	山梨県立博物館		④⑤
頂上ひとりあんない (甲州文庫)	明治13年 (1880)	山梨県立博物館		④
袖珍山梨案内誌 (甲州文庫)	明治34年 (1901)	山梨県立博物館		④
下部鉱泉場名所絵葉書 (関本家文書)	大正時代以降	山梨県立博物館		④
甲斐名所寿古六 (甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥⑦
信仰の足跡				
役行者像 (複製)	平安 (12世紀)	山梨県立博物館 (原資料 円楽寺)	○	①②③④⑤⑥⑦
甲斐勝沼柏尾経塚出土経筒 (複製)	康和5年 (1103)	山梨県立博物館 (原資料 東京国立博物館)	◎	①②③④⑤⑥⑦
金峰山出土品 (釘、古銭、鏡、薙鎌)	平安~明治	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
地藏菩薩立像	乾元2年 (1303)	個人		①②③④⑤⑥⑦
富士山五合五勾経ヶ岳出土経巻 (複製)	平安時代	山梨県立博物館 (原資料 個人)		①②③④⑤⑥⑦ *④(~10/16)は2点のうち1点のみ
愛染明王坐像 (複製)	平安時代 (12世紀)	山梨県立博物館 (原資料 放光寺)	◎	①②③④⑤⑥⑦
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図 (甲州文庫) ①	江戸時代	山梨県立博物館		①⑦
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図 (甲州文庫) ②	江戸時代	山梨県立博物館		②
韋駄天立像	室町時代	個人		②③④⑤⑥⑦
蔵王権現立像	平安時代	山梨県立博物館	○	③④⑤⑥
富士山牛玉	江戸時代	山梨県立博物館		③
隔搔録 (富岳紀聞)	江戸時代	山梨県立博物館		④(~10/16)
甲斐を駆ける武士たち				
関東下知状 (複製)	応長元年 (1311)	山梨県立博物館 (原資料 大善寺)	○	①②③④⑤⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
長寛勘文写本（複製）	江戸時代	山梨県立博物館（原資料 熊野神社）	◇	①②③④⑤⑥⑦
銅製経筒および付属品（複製）	建久8年（1197）	山梨県立博物館（原資料 個人）	○	①②③④⑤⑥⑦
諏訪神号旗（複製）	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館（原資料 恵林寺）	○	①②③④⑤⑥⑦
孫子の旗（複製）	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館（原資料 恵林寺）	○	①②③④⑤⑥⑦
小桜韋威鎧 兜・大袖付（楯無鎧）復元品	平安・鎌倉時代	山梨県立博物館（原資料 菅田天神社）	●	①②③⑥⑦
武田晴信像（複製）	室町時代	山梨県立博物館（原資料 持明院）		①②③⑦
山本勘助像	江戸時代	山梨県立博物館		①
武田晴信書状（市河家文書）	弘治3年（1557）	山梨県立博物館	○	①
信玄公御屋形図	江戸時代	山梨県立博物館		①
絵本信玄一代記（甲州文庫）	寛政2年（1790）	山梨県立博物館		①
武田信玄陣立書	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館		①
「おかふと」の木型（甲州文庫）	江戸時代～明治時代	山梨県立博物館		②③
武田晴信書状	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館		②
穴山不白（信君）判物（南松院資料）	天正9年（1581）	南松院	○	②
碁石金・蛭藻金（福寺遺跡出土）	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館		②
埋蔵渡来銭貨（福寺遺跡出土）	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館		②
小笠原流四季挾物之事	寛永3年（1626）	山梨県立博物館		③④⑦
小笠原流故実伝書	天和2年（1682）	山梨県立博物館		③④
曾我物語（大木家文書）	江戸時代	山梨県立博物館		③⑤
武田勝頼書状	天正8年（1580）	山梨県立博物館		③
信州和田塩尻峠合戦図（甲州文庫）	江戸時代（19世紀）	山梨県立博物館		③
吾妻鏡	寛永3年（1626）	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
源平合戦図屏風	江戸時代（17世紀）	山梨県立博物館		④
庭訓往来	江戸時代	山梨県立博物館		⑤⑥
曾我物語図屏風	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
祝いのお膳（復元）	—	山梨県立博物館		⑥
『甲陽軍鑑』巻十六「御献立之次第」	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
武田流当家献立要伝書（甲州文庫）	天明元年（1781）	山梨県立博物館		⑥
武田家朱印状	天正4年（1576）	山梨県立博物館		⑦
甲州古城勝頼以前図	江戸時代	個人		⑦
武田信玄書状	室町時代（16世紀）	山梨県立博物館		⑦
武門便幼	宝暦7年（1757）	山梨県立博物館		⑦
川を彩る高瀬舟				
鯉沢河岸跡 ガラス瓶	明治～大正	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
足半草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土遺物	江戸～明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土動物遺体	江戸～明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土泥面子	明治時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
富士川舟運関係会社印鑑類	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
道がっなぐ出会い				
渥美短頸壺	平安時代（12世紀）	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
新巻常滑大甕	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
駒橋出土埋蔵銭	室町時代	個人		①②③④⑤⑥⑦
青磁碗	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
瀬戸焼	鎌倉時代	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
染付皿	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
染付碗	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
躰躰ヶ崎館跡出土陶磁器	室町時代	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
灰釉皿	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
東原 常滑甕	鎌倉時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
無紋碗	室町時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
木喰作 弘法大師坐像	寛政13年（享和元年・1801）	山梨県立博物館		①②③④
猿橋模型	昭和59年（1984）	山梨県立博物館		①⑥
三月節供雛人形（大木家資料）	明治時代～昭和時代初期	山梨県立博物館		①⑦
おかふと（上野晴朗氏収集資料）	明治時代	山梨県立博物館		②③
騎馬軍人人形 丸屋大木平蔵製（大木家資料）	明治28年（1895）	山梨県立博物館		②⑤
五月節供人形（大木家資料）	明治時代～昭和時代初期	山梨県立博物館		②
右左口人形（右左口の人形芝居のかしらほか用具一式）	江戸時代～明治時代	甲府市宿区蔵（寄託）		③④
石櫃（右左口区有文書及び関連資料一括）	江戸時代	宿区蔵（寄託）	○	③④
甲州道中分間延絵図（竜王村文書その他）	不明	山梨県立博物館		④

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
羽柴秀勝黒印状（右左口区有文書及び関連資料一括）	天正18年（1590）	甲府市宿区	○	④
木食白道作 恵比寿大黒天像	江戸時代（17世紀）	個人		⑤⑥⑦
鞍	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
荒止馬（新柴）観音菩薩像	明治以降	個人		⑤
内田宏氏撮影写真	昭和	山梨県立博物館		⑤
九一色諸商売役免許鑑札（甲州文庫）	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
諸商売役御免許鑑札書替に付願書（甲州文庫）	享保20年（1735）	山梨県立博物館		⑤
甲府中馬会社焼印（甲州文庫）	明治時代	山梨県立博物館		⑤
甲府魚町道祖神祠および神体	江戸時代	甲府魚一自治会		⑥⑦
『峡中新聞』第四号（大木家資料）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		⑥⑦
富士見十三州輿地全図	天保13年（1842）	山梨県立博物館		⑥
木喰上人作 木彫佛 甲種（柳宗悦著）	大正14年（1915）	山梨県立博物館		⑦
木喰上人作 木彫佛 乙種（柳宗悦著）	大正14年（1915）	山梨県立博物館		⑦
江戸文化の往来				
甲斐国志写本	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
朝日小沢村絵図（森嶋家文書）	文化3年（1806）	都留市	◇	①
下大野村絵図（森嶋家文書）	文化3年（1806）	都留市	◇	②
新屋村絵図（森嶋家文書）	文化3年（1806）	都留市	◇	③
上大野村絵図（森嶋家文書）	文化3年（1806）	都留市	◇	④
下吉田村絵図（森嶋家文書）	文化3年（1806）	都留市	◇	⑤
小篠村絵図（森嶋家文書）	文化3年（1806）	都留市	◇	⑥
芦垣村絵図（森嶋家文書）	文化3年（1806）	都留市	◇	⑦
歌川広重筆 甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧（複製）	天保12年（1841）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑦
甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧	天保12年（1841）頃	山梨県立博物館	○	⑥
源季俊筆 雛図（大木コレクション）	江戸時代（19世紀）	山梨県立博物館		①
矢野橋村筆 桃花峯図（大木コレクション）	大正10年（1921）	山梨県立博物館		①
野口小蘗筆 梅花卉図屏風（大木コレクション）	明治8年（1875）	山梨県立博物館		①
野口小蘗筆 百合花図（大木コレクション）	明治時代	山梨県立博物館		①
野口小蘗筆 茉莉花図（大木コレクション）	明治時代	山梨県立博物館		①
野口小蘗筆 玉堂富貴図（大木コレクション）	近代	山梨県立博物館		①
源氏物語貼付屏風（大木コレクション）	江戸時代後期	山梨県立博物館		②
三坂嶺眺望芙蓉図	嘉永5年（1852）	山梨県立博物館		③
鴻ノ台図屏風（大木家資料）	江戸時代後期	山梨県立博物館		③
鴻ノ台図屏風 画稿（大木家資料）	江戸時代後期	山梨県立博物館		③
雑魚貼交屏風	江戸時代後期	山梨県立博物館		④
諸国名所図会 甲斐身延路嶽澤不二川	文久2年（1862）	山梨県立博物館		④（～9/15）
諸国名所百景 甲州矢立杉	安政6年（1859）	山梨県立博物館		④（9/20～）
永禄四年九月川中嶋大合戦	嘉永6年（1853）	山梨県立博物館		⑤（～11/17）
武田三代記信州川中嶋大合戦	天保14～弘化4年（1843～1847）	山梨県立博物館		⑤（～11/17）
甲越両将川中嶋大戦 全	安政6年（1859）	山梨県立博物館		⑤（～11/17）
川中嶋合戦図	江戸時代後期	山梨県立博物館		⑤（～11/17）
信州川中嶋 武田勢甘粕近江守と戦ふ図	安政2年（1855）	山梨県立博物館		⑤（11/19～）
川中嶋大合戦	安政2年（1855）	山梨県立博物館		⑤（11/19～）
武田上杉川中嶋大合戦図	安政4年（1857）	山梨県立博物館		⑤（11/19～）
歌舞伎役者 川中嶋合戦	明治時代	山梨県立博物館		⑤（11/19～）
富士三十六景 信州諏訪之湖	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		⑦（～3/23）
富士三十六景 武蔵越がや在	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		⑦（～3/23）
富士三十六景 上総鹿楚山	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		⑦（～3/23）
富士三十六景 武蔵小金井	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		⑦（3/25～）
富士三十六景 東都隅田堤	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		⑦（3/25～）
富士三十六景 東都飛鳥山	安政5～6年（1858～9）	山梨県立博物館		⑦（3/25～）
桃鳩図	江戸時代（17～18世紀）	山梨県立博物館		⑦
春景山水図	寛政12年（1800）	山梨県立博物館		⑦
雛図	江戸時代（19世紀）	山梨県立博物館		⑦
桃源郷図	大正2年（1913）	山梨県立博物館		⑦
桃花峯図	大正10年（1921）	山梨県立博物館		⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
転換期に向き合う				
天保騒動の一揆進行の絵図（複製）		個人		①②③④⑤⑥⑦
勝沼駅近藤勇騎勇之図（複製）	慶応4年（1868）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
近世侠客有名鏡（複製）	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
大小切制度据置方歎願書（甲州文庫）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		①
東京日日新聞 第170号 大小切騒動（甲州文庫）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		①
大小切廃止反対運動の禁止に付布達（甲州文庫）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		①
一ツとせいぶし 甲斐の評ばん大小切（甲州文庫）	慶応4年（1868）	山梨県立博物館		①
天保騒動記（甲州文庫）	天保8年（1837）	山梨県立博物館		②
天保騒動瓦版（甲州文庫）	天保8年（1837）	山梨県立博物館		②
郡内騒動の一揆の進行絵図（国府村辻家文書）	天保7年（1836）	山梨県立博物館		②
富士信導記（古文書雑輯（2））	明治10年（1877）	山梨県立博物館		③
富士山内名所改名願書（佐野広乃関係文書）	明治8年（1875）	山梨県立博物館		③
食行身禄書卷（一字不説之巻）	弘化2年（1845）	山梨県立博物館		③
諸国名所之内甲州猿橋遠景（甲州文庫）	明治13年（1880）	山梨県立博物館		④
山梨県御巡幸沿道略図（甲州文庫）	明治15年（1882）	山梨県立博物館		④
明治天皇聖蹟保存顕彰ニ就テ（頼生文庫）	昭和12年（1937）	山梨県立博物館		④
乍恐以書付御訴奉申候（荷物紛失につき）（甲州文庫）	明治2年（1869）	山梨県立博物館		⑤
出稼馬士仕法書（甲州文庫）	明治3年（1870）	山梨県立博物館		⑤
中馬会社開業ニ付御布告奉願候書付（甲州文庫）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		⑤
甲府郵便取扱所御開御布達并規則（甲州文庫）	明治4年（1871）	山梨県立博物館		⑥
年賀はがき（大木家文書）	明治20年（1887）	山梨県立博物館		⑥
年賀はがき（大木家文書）	明治21年（1888）	山梨県立博物館		⑥
年賀はがき（大木家文書）	明治21年（1888）	山梨県立博物館		⑥
年賀状（関本家文書）	昭和23年（1948）	山梨県立博物館		⑥
一ツとせいぶし 甲斐の評ばん大小切（甲州文庫）	慶応4年（1868）	山梨県立博物館		⑦
通達写（大小切税法廃止につき）（長谷川家文書）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		⑦
書状（大小切騒動風聞などにつき）（太田家文書）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		⑦
書状（大小切騒動様子伺いのため人足など派遣につき）（太田家文書）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		⑦
郡中御呼出読聞写（五味家文書）	明治5年（1872）	山梨県立博物館		⑦
巨富を動かす				
昭和時代のベンチ	昭和	個人		①②③④⑤⑥⑦
若尾逸平銅像ミニチュア	大正2年（1913）	個人		①②③④⑤⑥⑦
おもちゃ籠	大正4年（1915）	山梨県立博物館		①⑥
甲府繁盛寿語呂久（甲州文庫）①	明治35年（1902）	山梨県立博物館		①⑥
若尾逸平扇面	明治時代	山梨県立博物館		①⑦
『若尾逸平』（若尾資料）	大正3年（1914）	山梨県立博物館		①
機山公社殿建設規則（甲州文庫）	明治14年（1881）	山梨県立博物館		①
武田神社奉建会趣意書（甲州文庫）	大正4年（1915）	山梨県立博物館		①
勘左衛門宛武田神社奉建会評議員委嘱状及同会の趣意書（関本家文書）	大正6年（1917）	山梨県立博物館		①
武田神社写真帖（甲州文庫）	昭和13年（1938）	山梨県立博物館		①
小林一三著「練糸痕」（甲州文庫）	昭和9年（1934）	山梨県立博物館		②③⑦
宮武外骨宛小林一三書簡（古文書雑輯（2））	昭和3年（1928）	山梨県立博物館		②③
練糸痕につき宮武外骨宛小林一三書簡（古文書雑輯（2））	昭和9年（1934）	山梨県立博物館		②③
甲府繁盛寿語呂久（甲州文庫）②	明治36年（1903）	山梨県立博物館		②③
興益会社設立願（甲州文庫）	明治7年（1874）	山梨県立博物館		②
第十国立銀行定款（大木家文書）	明治10年（1877）	山梨県立博物館		②
貴族院多額納税者議員互選名簿（甲州文庫）	明治27年（1894）	山梨県立博物館		②
富士身延鉄道全通記念風呂敷	昭和3年（1928）	個人		③
富士身延鉄道沿線名所図絵（甲州文庫）	昭和3年（1928）	山梨県立博物館		③
富士山麓開発に関する意見（甲州文庫）	大正6年（1917）	山梨県立博物館		③
甲府駅発車時間表（三井家文書）	昭和4年（1929）	山梨県立博物館		④⑤
中央東線鉄道線路概況（甲州文庫）	明治36年（1903）	山梨県立博物館		④⑤
甲武中央篠井線旅行案内（甲州文庫）	明治38年（1905）	山梨県立博物館		④⑤
旅行の友 創刊号（甲州文庫）	昭和6年（1931）	山梨県立博物館		④⑤
神名川横浜新開港図	万延元年（1860）	山梨県立博物館		④
甲州産物書上帳（篠原家文書）	安政6年（1859）	山梨県立博物館		④
明治元年道中諸入用控帳（篠原家文書）	明治元年（1868）	山梨県立博物館		④
委任状（東京馬車鉄道株式会社株式の売り渡し）	明治27年（1894）	山梨県立博物館		⑤
山梨馬車鉄道乗車賃金表（甲州文庫）	明治31年（1898）	山梨県立博物館		⑤
鉄道馬車時間表（大木家文書）	明治33年（1900）	山梨県立博物館		⑤

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
若尾家の年賀状（横浜若尾幾造から甲府若尾民造宛）（甲州文庫）	大正4年（1915）	山梨県立博物館		⑥
お年賀の御礼状（甲州文庫）	大正8年（1919）	山梨県立博物館		⑥
新年会の招待状（甲州文庫）	大正5年（1916）	山梨県立博物館		⑥
蒸気車往復繁栄之図（甲州文庫）	明治22年（1889）	山梨県立博物館		⑦
山梨県教育会附属図書館新築記念（甲州文庫）	昭和5年（1930）	山梨県立博物館		⑦
富士身延鉄道株式会社電鉄全通記念	昭和3年（1928）	個人		⑦
東京地下鉄道案内パンフレット	昭和9年（1934）	個人		⑦
中央線停車場之図（甲州文庫）	明治36年（1903）	山梨県立博物館		⑦
共生する社会【地方病とのたたかい】				
地方病克服に向けて使用された実物道具類	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病予防溝渠プレート	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
俺は地方病博士だ	大正6年（1917）	山梨県立博物館		①②③
スチブナール	昭和	山梨県立博物館		①②③
死体解剖御願（写し）	明治30年（1897）	山梨県立博物館		①②③
共生する社会【明治40年の大水害】				
水害時に使用した舟	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
明治四十年八月山梨県下水害地巡視日記（古文書雑輯（2））	明治40年（1907）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山梨県水害史（甲州文庫）	大正2年（1913）	山梨県立博物館		①②③④⑤
北海道移住者調（若尾資料）	明治～大正時代	山梨県立博物館		①②③
北海道移住民資料（若尾資料）	大正8年（1919）	山梨県立博物館		①②③
山梨県ノ森林整治（甲州文庫）	明治36年（1903）	山梨県立博物館		①②③
水害写真集（甲州文庫）	明治時代	山梨県立博物館		①
明治40年8月山梨県大水害復旧工事写真	明治時代	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
山梨県山林救済意見（甲州文庫）	明治35年（1902）	山梨県立博物館		④⑤
山梨県農会の大水害善後策（篠原家文書）	明治40年（1907）	山梨県立博物館		④
北海道殖民地撰定報文附属図 後志利別（甲州文庫）	明治24年（1891）	山梨県立博物館		④
山梨県水害団体移住写真	明治時代	北海道大学		⑤⑥⑦
『観光』北海道移住特集号	昭和18年（1943）	個人		⑤⑥⑦
恩賜林の沿革（甲州文庫）	昭和4年（1929）	山梨県立博物館		⑥
塚本山に関する書簡（大木家文書）	大正2年（1913）	山梨県立博物館		⑥⑦
共生する社会【山梨と戦争】				
E46集束焼夷弾（模型）	—	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
軍靴	昭和16年（1941）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府四十九連隊施設鬼瓦	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
警防団ヘルメット	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
警防団ビューグル	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
米機の撒いたピラ（甲州文庫）	昭和20年（1945）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
警戒警報・空襲警報 発令下当番日記	昭和	山梨県立博物館		①②③
貯蓄報国の途（市川家資料）	昭和13年（1938）	山梨県立博物館		①②③
金属供出関係書類（大木家文書）	昭和14年（1939）	山梨県立博物館		①②③
新紺屋防護団第五分団 団務記録簿	昭和	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
支那事変いろはかるた	昭和	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
私の家の平面図と防空計画（樋口家資料）	昭和	山梨県立博物館		④⑤
大向国民学校防空計画（樋口家資料）	昭和	山梨県立博物館		⑥⑦

## (2) 企画展・シンボル展等

### ■開催企画展・シンボル展一覧

	展覧会名	会期
① 企画展	i 特別展「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」	平成26年3月21日（金・祝）から5月19日（月）まで
	ii 福岡市博物館所蔵 幽霊・妖怪画大全集	平成26年7月19日（土）から9月8日（月）まで
	iii 甲斐の黒駒	平成26年10月11日（土）から12月1日（月）まで
	iv 微笑みに込められた祈り 円空・木喰展	平成27年3月28日（土）から5月18日（月）まで
② シンボル展	i 広重の不二三十六景	平成26年6月7日（土）から7月7日（月）まで
	ii さわれる富嶽三十六景	平成27年2月7日（土）から3月9日（月）まで

※平成27年3月28日（土）から同年5月18日（月）まで実施した「微笑みに込められた祈り 円空・木喰展」については平成27年度年報で詳述する。



## ①企画展

## i 手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから

【会 期】平成26年3月21日（金・祝）～5月19日（月）

会期日数60日間、展示日数54日間

【主 催】山梨県立博物館、NHK甲府放送局、NHKプロモーション

【後 援】外務省、経済産業省、朝日新聞甲府総局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局

【特別協力】手塚プロダクション、石森プロ

【機材協力】NECディスプレイソリューションズ

【協 力】山梨交通株式会社

【会 場】企画展示室

【入場者数】12,264人

【担 当】学芸員 海老沼真治、学芸課長 森原明廣

## 【概 要】

日本を代表する文化のひとつとして世界からも注目されるマンガ。その礎を築いた手塚治虫・石ノ森章太郎について、二人の歩みや作品に込められたメッセージを、「鉄腕アトム」「ブラック・ジャック」や「サイボーグ009」「仮面ライダー」など代表作品の原画やさまざまな関連資料を通して紹介し、「マンガのちから」の源流を探る展示とした

## 【関連イベント】

## ■記念講演会「一マンガの神様と王様—素顔の手塚治虫と石ノ森章太郎」

- ・講 師：丸山昭氏（元講談社編集者、甲府市出身）
- ・日 時：平成26年4月27日（日）午後1時30分～3時
- ・場 所：生涯学習室

## ■アニメ上映会

- ・日 時：平成26年3月30日（日）、5月11日（日）午後1時30分～3時
- ・場 所：生涯学習室

## ■かいじあむ子ども工房「マンガ家になろう！」

- ・日 時：平成26年3月23日（日）、4月6日（土）、5月10日（土）  
午前10時～午後3時
- ・場 所：ロビー

## ■学芸員によるギャラリー・トーク

- ・平成26年3月23日（日）、4月6日（日）、20日（日）、5月4日（日）、18日（日）  
午後3時から1時間程度

## ■東日本大震災応援企画～1万人のモザイクアートを石巻へ～

- ・会期中毎日実施（会場内に写真撮影・投稿コーナーを設置）



展示会ちらし



展示風景

【出品資料一覧】

番号	作品名	作者	連載・掲載時期または年代	頁数	サイズ (概寸：タテmm×ヨコmm)	所蔵・作品管理者
プロローグ「ここからはじまり」						
1	「ピンピン生(セイ) チャン」肉筆本	手塚治虫	1937年	1冊	130×90	手塚プロダクション
2	「火星人来る!!」肉筆本	手塚治虫	1939年頃	1冊	90×130	手塚プロダクション
3	石/森 幼少期のらくがき	石/森章太郎	制作年不明	1枚	245×305	石/森章太郎ふるさと記念館
4	石/森 少年期のらくがき	石/森章太郎	制作年不明	1枚	380×270	石/森章太郎ふるさと記念館
5	石/森 まんが本表紙の模写(クイズ本)	石/森章太郎	制作年不明	1冊	210×150	石/森章太郎ふるさと記念館
6	「嘘それなのに」直筆原稿	手塚治虫	1945年または1946年	1冊	330×243	手塚プロダクション
第1部「二人の出会い マンガ誕生」						
7	「おやぢ教育」		「アサヒグラフ」1923年～		365×260	個人蔵
8	紙芝居「コザルノキョクゲイ」		1941年	1組	271×385	個人蔵
9	赤本漫画『冒険まんが ジャングル王子』宝島の巻		年代不詳	1冊	155×105	個人蔵
10	貸本漫画『赤銅鈴之助』第14巻		1957年	1冊	183×135	個人蔵
11	単行本『新宝島』	原作・構成/酒井七馬、 作画/手塚治虫	1947年	1冊	183×130	松本零士氏蔵
12	単行本『ロストワールド』	手塚治虫	1982年	1冊	182×130	個人蔵
13	『ロストワールド』原稿	手塚治虫	1948年	2枚	257×181	手塚プロダクション
14	単行本『メトロポリス』	手塚治虫	1979年	1冊	182×130	個人蔵
15	『メトロポリス』直筆原稿	手塚治虫	1949年	2枚	273×198	手塚プロダクション
16-1	『メトロポリス』未使用原稿	手塚治虫	年代不詳	9枚	184×132、177×127、 200×130	松本零士氏蔵
16-2	『有尾人』未使用原稿	手塚治虫	年代不詳	4枚	208×151、208×155、 208×159、208×154	松本零士氏蔵
16-3	『浮漂島』未使用原稿	手塚治虫	年代不詳	1枚	174×125	松本零士氏蔵
16-4	『一千年後の世界』未使用原稿	手塚治虫	年代不詳	1冊	179×133	松本零士氏蔵
17	単行本『来るべき世界』	手塚治虫	1977年	1冊	182×130	個人蔵
18	『来るべき世界』原稿	手塚治虫	1951年	2枚	271×190	手塚プロダクション
19	『漫画少年』創刊号		1947年	1冊	257×180	寺田孝雄氏蔵
20	『新宝島』直筆原稿	原作・構成/酒井七馬、 作画/手塚治虫	1986年	4枚	257×364	手塚プロダクション
21-1	『墨汁一滴』		1954-60年	6冊	2号：140×214、 6号：265×190、 7号：265×185、 8号：255×193、 9号：325×255、 10号：325×255	石森プロ
21-2	『墨汁一滴』手塚の作品批評	手塚治虫	1954年	3枚		石森プロ
21-3	『墨汁一滴』石/森直筆イラスト	石/森章太郎	1954年	1枚		石森プロ
21-4	『墨汁一滴』東日本漫画研究会二周年に寄せた手塚のコメント	手塚治虫	1954年	1枚		石森プロ
22	『われない椰子の実』未発表原稿	石/森章太郎	1954年	6枚	260×185	寺田孝雄氏蔵
23	『二級天使』直筆原稿	石/森章太郎	連載時期：『漫画少年』 1955年1月号～10月号	1枚	380×270	石/森章太郎ふるさと記念館
24	石/森が描いた「鉄腕アトム」電光人間の巻 直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『少年』1952年4 月号～1968年3月号 他	4枚	197×134、134×134、134 ×197、134×197	手塚プロダクション
25	『トキワ荘物語』直筆原稿	手塚治虫	月刊コミック・マガジン 『COM』1970年9月号掲載	3枚	327×236	手塚プロダクション
26	『ぼくの部屋にはベートーベンのデス・マスクがあった』原稿(複製)	石/森章太郎	『サウンドレコパル』1981 年3月号掲載	1枚		石森プロ
27	『ジャングル大帝』直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『漫画少年』 1950年11月号～1954年4 月号 他	4枚	364×257	手塚プロダクション
28	『快傑ハリマオ』直筆原稿	原作：山田克郎 画：石/ 森章太郎	連載時期：『少年マガジン』 1960年16号～1961年10月号	1枚	379×268	石森プロ
29	トキワ荘メンバーが描いた「ぼくのそんごくう」直筆原稿		連載時期：『冒険王』1952 年2月号～1959年3月号	6枚	350×250、338×243、 351×235、353×236、 359×256、346×254	手塚プロダクション
30	『龍神沼』直筆原稿	石/森章太郎	『少女クラブ』1961年夏休 み増刊号掲載	1枚		石森プロ
31	ムービーフィルム	石/森章太郎	年代不詳	2枚	178×253、175×250	石森プロ
32	『東京1/3周』8ミリフィルム		1958年頃	1点	130×130	石/森章太郎ふるさと記念館
33	8ミリカメラ		年代不詳		205×270	石/森章太郎ふるさと記念館
第2部「爆発するマンガ 時代への挑戦」						
34	『週刊少年サンデー』創刊号		1959年	1冊	257×189	個人蔵
35	『週刊少年マガジン』創刊号		1959年	1冊	257×183	個人蔵
36	『鉄腕アトム』直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『少年』1952年4 月号～1968年3月号 他	1枚	326×263	手塚プロダクション
37	『鉄腕アトム』直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『少年』1952年4 月号～1968年3月号 他	4枚	364×257	手塚プロダクション
38	『アトム大使』構想ノート	手塚治虫	年代不詳	1冊	209×147	手塚プロダクション
39	『鉄腕アトム』キャラクター玩具		1964年	1点	222×100×50	個人蔵
40	『ジャングル大帝』直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『漫画少年』 1950年11月号～1954年4 月号 他	1枚	344×256	手塚プロダクション

41	「ジャングル大帝」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『漫画少年』1950年11月号～1954年4月号 他	4枚	364×257	手塚プロダクション
42	「ジャングル大帝」構想ノート	手塚治虫	年代不詳	1冊	212×150	手塚プロダクション
43	「リボンの騎士」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『なかよし』1963年1月号～1966年10月号	1枚	346×251	手塚プロダクション
44	「リボンの騎士」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『なかよし』1963年1月号～1966年10月号	4枚	364×257	手塚プロダクション
45	「サイボーグ009」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『週刊少年マガジン』1966年27号30号～1967年13月号	1枚	515×380	石森プロ
46	「サイボーグ009」ヘレナとアポロン 直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『週刊少年マガジン』1966年27号30号～1967年13月号	4枚	389×273、361×249、348×272、348×272	石森プロ
特別出品	「サイボーグ009」設定資料 神々との戦い	石ノ森章太郎		1冊		石森プロ
特別出品	「サイボーグ009」設定資料 神話対戦 オリュンボスの神々編	石ノ森章太郎		1枚		石森プロ
特別出品	「サイボーグ009」設定資料 神々との戦い009 困苦ルージョン ゴッズ・ウォー	石ノ森章太郎		1冊		石森プロ
47	「マグマ大使」直筆原稿（カラー）	手塚治虫	連載時期：『少年画報』1965年5月号～1967年8月号	1枚	464×343	手塚プロダクション
48	「マグマ大使」直筆原稿（本文）	手塚治虫	連載時期：『少年画報』1965年5月号～1967年8月号	4枚	364×257、316×220、316×220、316×220	手塚プロダクション
49	月刊漫画『ガロ』創刊号		1964年	1冊	257×173	個人蔵
50	月刊コミック・マガジン『COM』創刊号		1967年	1冊	259×185	個人蔵
51	「章太郎のファンタジー・ワールド ジュン」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『COM』1967年1月号～1969年2月号	1枚	395×275	石森プロ
52	「章太郎のファンタジー・ワールド ジュン」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『COM』1967年1月号～1969年2月号	4枚	365×270	石森プロ
53	「火の鳥」黎明編 直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『COM』1967年1月号～1971年10月号 他	1枚	393×308	手塚プロダクション
54	「火の鳥」黎明編 直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『COM』1967年1月号～1971年10月号 他	4枚	364×257	手塚プロダクション
55	「火の鳥」乱世編 設定資料	手塚治虫	年代不詳	1枚	257×364	手塚プロダクション
56	「どろろ」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『週刊少年サンデー』1967年8月27日号～1968年7月22日号	1枚	419×308	手塚プロダクション
57	「どろろ」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『週刊少年サンデー』1967年8月27日号～1968年7月22日号	4枚	364×257	手塚プロダクション
58	「佐武と市捕物控」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『ビッグコミック』1968年4月～1972年4月10日号	1枚	355×255	石森プロ
59	「佐武と市捕物控」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『ビッグコミック』1968年4月～1972年4月10日号	4枚	390×270、390×270、390×248、390×248	石森プロ
60	「佐武と市捕物控」設定資料	石ノ森章太郎	年代不詳	5枚	298×210、298×210、259×190	石森プロ
61	「ザ・クレーター」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『少年チャンピオン』1969年8月10日号～1970年4月1日号	4枚	364×257	手塚プロダクション
62	「やけっぱちのマリア」直筆原稿	手塚治虫	『週刊少年チャンピオン』1970年4月15日号～1970年11月16日号	4枚	364×257	手塚プロダクション
63	「スカルマン」直筆原稿	石ノ森章太郎	『週刊少年マガジン』1970年3号掲載	1枚	355×255	石森プロ
64	「仮面ライダー」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『ぼくらマガジン』1971年16号～23号	1枚	300×405	石森プロ
65	「仮面ライダー」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『ぼくらマガジン』1971年16号～23号	4枚	390×270	石森プロ
66	「仮面ライダー」設定資料（仮タイトル案）	石ノ森章太郎	年代不詳	2枚	395×272	石森プロ
67-1	「仮面ライダー」設定資料（台本）	石ノ森章太郎	年代不詳	1冊	260×180	石森プロ
67-2	「仮面ライダー」設定資料（台本）	石ノ森章太郎	年代不詳	1冊	245×175	石森プロ
特別出品	「仮面ライダー」設定資料（メモ）	石ノ森章太郎		1枚		石森プロ
特別出品	「仮面ライダー」設定資料（メモ+裏面コピー）	石ノ森章太郎		2枚		石森プロ
68	「仮面ライダー」キャラクター玩具		1971年	1点	95×710×40	個人蔵
69	「人造人間キカイダー」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『週刊少年サンデー』1972年30号～1974年13号	1枚	405×270、405×275	石森プロ
70	「人造人間キカイダー」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『週刊少年サンデー』1972年30号～1974年13号	4枚	395×273、395×273、395×273、395×234	石森プロ
71	「人造人間キカイダー」設定資料	石ノ森章太郎	年代不詳	1枚	297×210	石森プロ
72	「がんばれロボコン」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『週刊少年サンデー』1974年42号～1975年16号	2枚	393×234	石森プロ
73	「がんばれロボコン」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『週刊少年サンデー』1974年42号～1975年16号	4枚	395×270	石森プロ
74	「秘密戦隊ゴレンジャー」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『小学五年生』1975年4月号～1976年2月号	1枚	383×270	石森プロ

第Ⅱ編 事業・諸活動

75	「秘密戦隊ゴレンジャー」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：「小学五年生」1975年4月号～1976年2月号	4枚	393×270	石森プロ
76	「秘密戦隊ゴレンジャー」設定資料	石ノ森章太郎	年代不詳	1枚	420×320	石森プロ
77	「ブラック・ジャック」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「週刊少年チャンピオン」1973年11月19日号～1983年10月14日号	1枚	382×278	手塚プロダクション
78	「ブラック・ジャック」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「週刊少年チャンピオン」1973年11月19日号～1983年10月14日号	4枚	364×257	手塚プロダクション
79	「陽だまりの樹」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「ビッグコミック」1981年4月25日号～1986年12月25日号	1枚	364×257	手塚プロダクション
80	「陽だまりの樹」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「ビッグコミック」1981年4月25日号～1986年12月25日号	4枚	364×257	手塚プロダクション
81	「プライム・ローズ」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「週刊少年チャンピオン」1982年7月9日号～1983年6月3日号	4枚	364×257	手塚プロダクション
82	ビデオソフトパッケージ					手塚プロダクション
83	ファミリーコンピュータ		1983年	1式	263×353×88（箱寸）	個人蔵
84	火の鳥 鳳凰編 我王の冒険		1987年	1点	95×137×21	個人蔵
85	鉄腕アトム		1988年	1点	137×95×21	個人蔵
86	仮面ライダー 倶楽部		1988年	1点	88×125×21	個人蔵
87	仮面ライダー SD グランショッカーの野望		1994年	1点	98×138×21	個人蔵
88	「ブッダ」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「希望の友」1972年9月号～1983年12月号	1枚	379×272	手塚プロダクション
89	「ブッダ」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「希望の友」1972年9月号～1983年12月号	4枚	364×257	手塚プロダクション
90	「アドルフに告ぐ」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「週刊文春」1983年1月6日号～1985年5月30日号	1枚	383×269	手塚プロダクション
91	「アドルフに告ぐ」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「週刊文春」1983年1月6日号～1985年5月30日号	4枚	364×257	手塚プロダクション
92	「HOTEL」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：「ビッグコミック」1984年9月25日号～1988年8月10日号	1枚	393×272	石森プロ
93	「HOTEL」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：「ビッグコミック」1984年9月25日号～1988年8月10日号	4枚	393×272	石森プロ
94	「マンガ日本経済入門」直筆原稿	石ノ森章太郎	1986年11月25日発行	4枚	394×273	石森プロ
95	「マンガ日本の歴史」直筆原稿	石ノ森章太郎	1989年11月8日～1993年10月20日発行	1枚	720×515	石ノ森章太郎ふるさと記念館
96	「マンガ日本の歴史」直筆原稿	石ノ森章太郎	1989年11月8日～1993年10月20日発行	4枚	395×272	石森プロ
97	週刊少年ジャンプ		1995年	1冊	257×180	明治大学 現代マンガ図書館（内記コレクション）
98	石ノ森 手塚への追悼イラスト	石ノ森章太郎	1989年	1枚	195×270	石森プロ
99	石ノ森章太郎「萬画宣言」草稿		1989年	1枚	300×240	石森プロ

第3部 「ちから」の本質対決

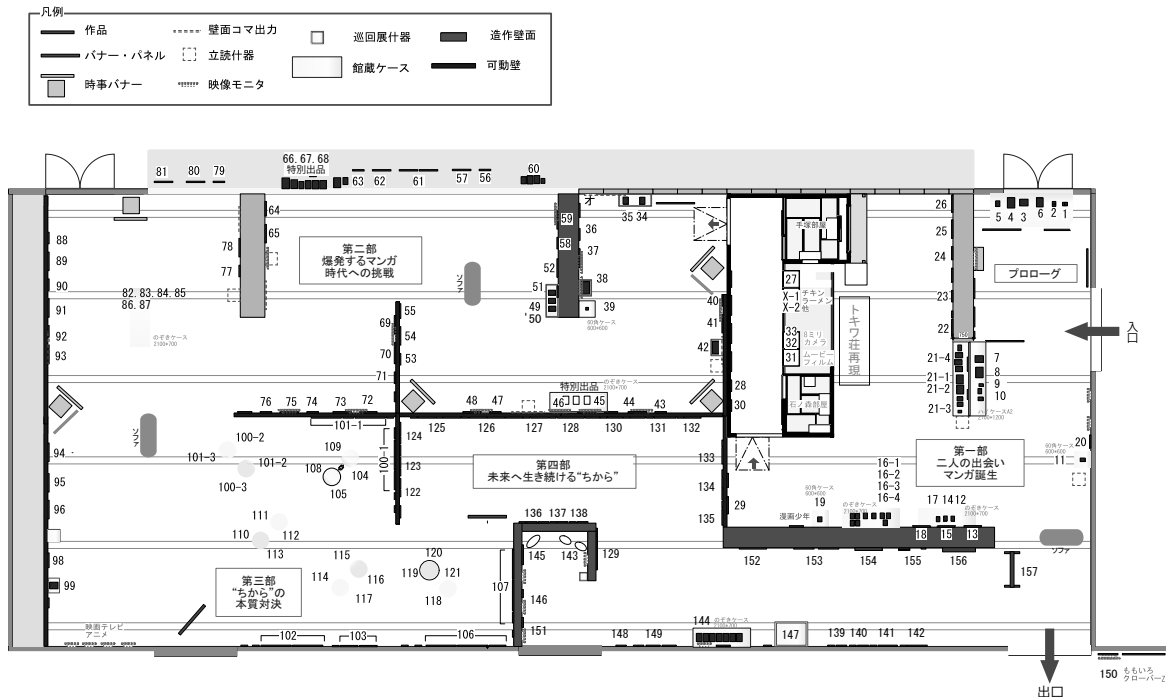
100-1	「火の鳥 黎明編」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「COM」1967年1月号～1971年10月号 他	19枚	364×257	手塚プロダクション
100-2	「双子の騎士」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「なかよし」1958年1月号～1958年6月号	4枚	364×257	手塚プロダクション
100-3	「ワンダースリー」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「週刊少年サンデー」1965年5月30日号～1966年5月8日号	4枚	364×257	手塚プロダクション
101-1	「サイボーグ009」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：「週刊少年マガジン」1966年27号30号～1967年13号	24枚	348×218	石森プロ
101-2	「小川のメダカ」直筆原稿	石ノ森章太郎	「漫画アクション」1981年10月1日号掲載	4枚	393×272	石森プロ
101-3	「八百八町表裏 化粧師」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：「ビッグコミック」1983年6月10日号～1984年9月10日号	4枚	393×273	石森プロ
102	「ブラック・ジャック」二度死んだ少年 直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「週刊少年チャンピオン」1973年11月19日号～1983年10月14日号	23枚	364×257	手塚プロダクション
103	「さるとびエッチャン」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：「少女フレンド」1971年32号～1972年9号	8枚	395×272	石森プロ
104	「きりひと賛歌」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「ビッグコミック」1970年4月10日号～1971年12月25日号	4枚	364×257	手塚プロダクション
105	「人造人間キカイダー」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：「週刊少年サンデー」1972年30号～1974年13号	4枚	393×272	石森プロ
106	「鉄腕アトム」人工太陽球の巻 直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「少年」1952年4月号～1968年3月号 他	25枚	364×257	手塚プロダクション
107	「009ノ1」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：「漫画アクション」1967年1号～1970年9号	24枚	385×268	石森プロ
108	「ユニコ」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：「小学一年生」1980年4月号～1984年1月号	4枚	383×270	手塚プロダクション

109	「星の子チョビン」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『少女フレンド』1974年14号～27号	4枚	395×273	石森プロ
110	「0マン」直筆原稿（本文）	手塚治虫	連載時期：『週刊少年サンデー』1959年9月13日号～1960年12月11日号	4枚	364×257	手塚プロダクション
111	「サイボーグ009」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『週刊少年マガジン』1966年27号30号～1967年13号	4枚	358×242、395×272、350×272、352×244	石森プロ
112	「ライオンブックス モモンガのムサ」直筆原稿	手塚治虫	『週刊少年ジャンプ』1971年11月22日号掲載	4枚	364×257	手塚プロダクション
113	「三つの珠」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『少女クラブ』1958年4月号～1959年3月号	4枚	384×272	石森プロ
114	「三つ目がとおる」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『週刊少年マガジン』1974年7月7日号～1978年3月19日号	4枚	364×257	手塚プロダクション
115	「青いマン華鏡」直筆原稿	石ノ森章太郎	『別冊少年ジャンプ』1973年6月号掲載	4枚	395×274	石森プロ
116	「やけっぱちのマリア」直筆原稿（本文）	手塚治虫	連載時期：『週刊少年チャンピオン』1970年4月15日号～1970年11月16日号	4枚	364×257	手塚プロダクション
117	「章太郎のファンタジー・ワールド ジュン」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『COM』1967年1月号～1969年2月号	4枚	395×274	石森プロ
118	「パンパイヤ」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『週刊少年サンデー』1966年6月12日号～1967年5月7日号	4枚	364×257	手塚プロダクション
119	「佐武と市捕物控」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『ビッグコミック』1968年4月～1972年4月10日号	4枚	385×270	石森プロ
120	「ふしぎな少年」直筆原稿	手塚治虫	連載時期：『少年クラブ』1961年5月号～1962年12月号	4枚	364×257	手塚プロダクション
121	「章太郎のファンタジー・ワールド ジュン」直筆原稿	石ノ森章太郎	連載時期：『COM』1967年1月号～1969年2月号	4枚	393×273	石森プロ

第4部「未来へ生き続ける“ちから”」現代作家によるオマージュ作品集

番号	作家名
122	羽海野チカ
123	小畑 健
124	呉 由姫
125	さいとう・たかを
126	島本 和彦
127	ちばてつや
128	次原 隆二
129	天神 英貴
130	永井 豪
131	原 ゆたか
132	藤子不二雄 <sup>④</sup>
133	細野 不二彦
134	松本零士
135	水本しげる
136	やなせたかし
137	ヤマザキマリ
138	和月 伸宏
139	アレサンドロ・バルブッチ
140	ケン・ニームラ
141	フィリップ・カルドナフフランス・トルタ
142	フィリップ・タン
143	加藤ミリヤ
144	神山健治
145	コシノジュンコ
146	佐野元春
147	高橋智隆
148	名越康文
149	南瀬明宏
150	ももいろクローバーZ
151	山下達郎
152	梅沢 和木
153	風間サチコ
154	谷口真人
155	中村ケンゴ
156	福土朋子
157	ヤノベケンジ

【展示平面図】



ii 福岡市博物館所蔵 幽霊・妖怪画大全集

【会 期】平成26年7月19日（土）から同年9月8日（月）まで  
会期日数52日間、展示日数46日間

【主 催】山梨県立博物館、UTYテレビ山梨、NHKサービスセンター

【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局（予定）

【特別協賛】(株)早野組、山梨トヨタ・山梨トヨペット・トヨタカローラ山梨・ネットトヨタ山梨・ネットトヨタ甲斐

【企 画】毎日新聞社

【会 場】企画展示室

【入場者数】29,889人

【担 当】学芸員 丸尾依子、中野賢治

【概 要】

福岡市博物館が所蔵する幽霊・妖怪の絵画160点を展示し、様々な「幽霊・妖怪」の世界と日本人独特の自然観や死生観を紹介した。また、同時開催シンボル展として、山梨県内に伝承される幽霊や妖怪についても実物資料とパネルで紹介した。

【関連イベント】

■ご祈祷

- ・日 時：平成26年7月19日（土）午前11時～11時30分
- ・場 所：企画展ロビー

■講演会「幽霊・妖怪画の世界」&スペシャル・ギャラリートーク



展示会ちらし

- ・日 時：平成26年7月19日（土）午後1時30分～午後3時
- ・場 所：生涯学習室
- ・講 師：中村喜一郎氏（福岡市美術館運営部長）

■人形芝居上演「吉窪美人鏡」

- ・日 時：平成26年8月3日（日）午後1時30分～午後3時
- ・場 所：甲斐路空間特設ステージ
- ・上演者：笹子追分人形保存会

■学芸員によるギャラリートーク

- ・日 時：平成26年7月26日（土）、8月17日（日）、9月6日（土）  
午後3時～午後4時
- ・場 所：企画展示室

■怪談「豊志賀」

- ・日 時：平成26年8月9日（土）午後5時30分～午後7時
- ・場 所：博物館ロビー
- ・演 者：五街道雲助師匠

■イブニングギャラリートーク

- ・日 時：平成26年8月10日（日）、8月23日（土）午後5時～午後6時
- ・場 所：企画展示室

■甲府の町の妖怪発見ツアー（二部制）

- ・日 時：平成26年8月24日（日）午後1時30分～午後2時30分（第一部）、  
午後4時～午後6時（第二部）
- ・場 所：企画展示室（第一部）、甲府市内（第二部）
- ・共 催：NPO法人つなぐ

■古文書講座「お化けに関する古文書を読む」

- ・日 時：平成26年7月26日（土）午後1時30分～午後3時
- ・場 所：生涯学習室

■子ども工房「紙コップでおばけをつくろう」

- ・日 時：平成26年8月9日（土）午前10時30分～午後3時
- ・場 所：博物館ロビー

■ジバニャンと記念撮影&握手会

- ・日 時：平成26年9月6日（土）午前10時～、正午～、午後2時～、午後4時～
- ・場 所：企画展ロビー

■Y K I 4 8 総選挙

- ・期 間：平成26年7月19日（土）～8月18日（月）（投票期間）、  
平成26年8月20日（水）～9月8日（月）（結果発表）



展示風景

【出品資料一覧】

大項目	小項目	作品名	作者	制作年	材質	前期 (7/19~8/18)	後期 (8/20~9/8)	
プロローグ 笑う骸骨	1	波状白骨座禅図	伝 円山応挙	安永3年(1774)	紙本墨画淡彩	●	●	
	2	髑相図	原在中	安永3年(1774)	紙本墨画	●	●	
	3	九相図	長沢蘆雪	江戸中期	絹本着色	●	●	
	4	九相図	作者不詳	明治時代	絹本着色	●	●	
	5	相馬の古内裏	歌川国芳	弘化期(1844-47)	大判錦絵	●	●	
	6	和漢百物語 大宅太郎光園	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵	●	●	
	7	平清盛怪異を見る図	歌川広重	天保14年-弘化4年(1843-47)	大判錦絵	●	●	
	8	骸骨の舞踏図	鄂州全忠	大正9年(1920)	紙本墨画	●	●	
	9	清親放痴 東京谷中天王地	小林清親	明治時代	大判錦絵	●	●	
第1章 幽霊画の世界 1-1 肉筆幽霊画	10	幽霊図	伝 円山応挙	江戸時代中期	絹本着色	●	●	
	11	幽霊図	駒井源騎	江戸時代中期	紙本墨画淡彩	●	●	
	12	幽霊図	伝 円山応挙	江戸時代中期	紙本墨画淡彩	●	●	
	13	墓場の幽霊図	吉田元陳	江戸時代中期	紙本着色	●	●	
	14	幽霊図	円山応岱	江戸時代後期	紙本墨画淡彩	●	●	
	15	墓場の幽霊図	祇園井特	江戸時代後期	紙本墨画淡彩	●	●	
	16	お菊幽霊図	祇園井特	江戸時代後期	紙本墨画淡彩	●	●	
	17	幽霊図	歌田蘆堂	江戸時代後期	紙本墨画淡彩	●	●	
	18	幽霊図	作者不詳	江戸時代後期	絹本墨画淡彩	●	●	
	19	小町幽霊図	森徹山	江戸時代後期	絹本着色	●	●	
	20	幽霊図	南遠斎玉常	江戸時代後期	絹本着色	●	●	
	21	殿中幽霊図	矢野夜潮	江戸時代後期	紙本着色	●	●	
	22	幽霊図	淡斎英泉	江戸時代後期	紙本着色	●	●	
	23	幽霊図	谷文晁	江戸時代後期	紙本墨画淡彩	●	●	
	24	幽霊図	河鍋晩斎	慶応3年(1867)	紙本墨画淡彩	●	●	
	25	幽霊図	河鍋晩斎	明治3年(1870)	紙本墨画淡彩	●	●	
	26	幽霊図	菊池容斎	江戸時代末期-明治時代	紙本墨画淡彩	●	●	
	27	幽霊図	落合幾	明治時代	絹本墨画淡彩	●	●	
	28	お菊の亡霊図	小林永濯	明治時代	紙本墨画淡彩	●	●	
	29	四季幽霊図	小林清親	明治時代	紙本着色	●	●	
	30	幽霊図	鈴木松年	明治2年(1869)	紙本墨画淡彩	●	●	
	31	幽霊図	鈴木松年	明治時代-大正時代	絹本墨画淡彩	●	●	
	32	幽霊図	久保田米僊	明治時代	絹本墨画淡彩	●	●	
	33	子育幽霊図	安田米斎	明治時代	紙本墨画淡彩	●	●	
	34	幽霊図	田中鉄斎	明治42年(1909)	絹本着色	●	●	
	35	幽霊図	右田年英	明治時代-大正時代	紙本墨画淡彩	●	●	
	36	幽霊図	橋本閑雪	大正時代-昭和時代	紙本墨画	●	●	
	37	幽霊図	廣田桑田	昭和時代	紙本墨画淡彩	●	●	
	38	幽霊図	晩観	昭和時代	絹本墨画淡彩	●	●	
	39	佐倉宗吾の亡霊図	河村長観	昭和時代	絹本墨画淡彩	●	●	
	40	幽霊図	作者不詳	昭和時代	絹本墨画淡彩	●	●	
	41	幽霊図「おもい」	野村清六	昭和時代	紙本着色	●	●	
	42	朝露・夕霧(下絵)	吉川観方	昭和23年(1948)	紙本墨画淡彩	●	●	
	43	朝露・夕霧	吉川観方	昭和23年(1948)	紙本着色	●	●	
	1-2 歌舞伎の幽霊画	44	東海道四谷怪談	歌川国安	文政8年(1825)	大判錦絵	●	●
		45	百物語 お岩	春江斎北英	文政-天保期(1818-37)頃	大判錦絵	●	●
		46	お岩提灯 東海道四谷怪談	歌川国芳	弘化4-嘉永5年(1847-52)頃	大判錦絵	●	●
		47	お岩提灯 東海道四谷怪談	歌川国貞	天保2年(1831)	大判錦絵	●	●
		48	お岩提灯 東海道四谷怪談	歌川国貞	弘化4-嘉永5年(1847-52)頃	大判錦絵	●	●
49		戸板返し 東海道四谷怪談	歌川国芳	弘化4-嘉永5年(1847-52)頃	大判錦絵	●	●	
50		戸板返し 東海道四谷怪談	歌川芳艶	弘化4-嘉永5年(1847-52)頃	大判錦絵	●	●	
51		戸板返し 東海道四谷怪談	丸丈斎国広	文化-天保期(1804-43)	大判錦絵	●	●	
52		お菊亡霊 実成金菊月	歌川国貞	嘉永3年(1850)	大判錦絵	●	●	
53		お菊亡霊 血屋舗化粧姿視	豊原国周	文久3年(1863)	大判錦絵	●	●	
54		累の亡霊 曲輪末伊達大寄	歌川国貞	天保7年(1836)か	大判錦絵	●	●	
55		木曾街道六十九次之内 輪沼	歌川国芳	嘉永5年(1852)	大判錦絵	●	●	
56		当吾の亡霊 東山桜莊子	歌川国芳	嘉永4年(1851)	大判錦絵	●	●	
57		当吾の亡霊 東山桜莊子	歌川国芳	嘉永4年(1851)	大判錦絵	●	●	
58		当吾の亡霊 東山桜莊子	歌川国芳	嘉永4年(1851)	大判錦絵	●	●	
59		木曾街道六十九次之内 細久手	歌川国芳	嘉永5年(1852)	大判錦絵	●	●	
60		怪談小幡小平治	歌川国貞	嘉永6年(1853)	大判錦絵	●	●	
61	怪談小幡小平治	歌川国貞	嘉永6年(1853)	大判錦絵	●	●		
62	乳母秋篠の亡霊 白鯉譚	歌川国貞	嘉永6年(1853)	大判錦絵	●	●		
	63	今様巖瀬氏 三十五 鳥山秋作照忠	落合芳幾	元治元年(1864)	大判錦絵	●	●	
	64	見立三十六歌撰之内 清玄	歌川国貞	嘉永5年(1852)	大判錦絵	●	●	
	65	見立三十六歌撰之内 安宅ノ亡霊	歌川国貞	嘉永5年(1852)	大判錦絵	●	●	
	66	めのと五十嵐の亡霊 御伽譚博多新織	歌川国貞	嘉永5年(1852)	大判錦絵	●	●	
	67	岩藤の亡霊 加賀見山再岩藤	守川周重	明治時代	大判錦絵	●	●	
	68	高山檢校の亡霊 花野燧猫魅禍	歌川国貞	嘉永6年(1853)	大判錦絵	●	●	
	69	鎌田又八と菊野の亡霊 名高手毬謡実録	歌川国貞	安政2年(1855)	大判錦絵	●	●	
	70	おろちと才次郎 因幡小僧雨夜斬	豊原国周	明治20年(1887)	大判錦絵	●	●	



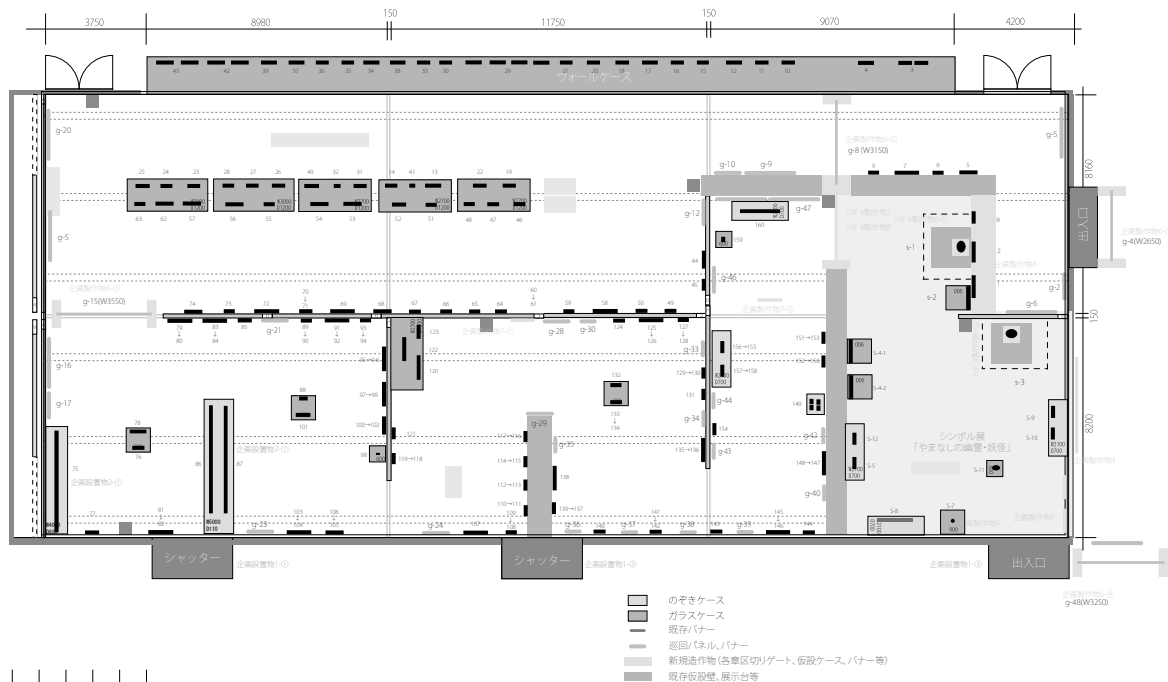
第2章 妖怪画の世界	2-1 百鬼夜行と妖怪図巻	71	才次郎の亡霊 因幡小僧雨夜漸	豊原国周	明治20年(1887)	大判錦絵		●
		72	怪談牡丹灯笼	豊原国周	明治25年(1892)	大判錦絵	●	
		73	百もの語 牡丹灯笼	落合芳幾	明治時代	中判錦絵		●
		74	小夜衣の亡霊 木間星霜畏鹿笛	歌川周重	明治13年(1880)か	大判錦絵		●
		75	百鬼夜行絵巻	尾形守房	享亨5年-宝永4年(1688-1707)	紙本着色	○	○
		76	付喪神図	伊藤若冲	江戸中期	紙本墨画	●	●
		77	付喪神図	河鍋曉斎	江戸末期-明治時代	紙本墨画	●	
		78	妖怪図	水野香圃	明治時代	絹本着色		●
		79	本庁振袖之始 素戔嗚尊怪降伏之図	葛飾北輝	文化年間(1804-18)頃	大判錦絵		●
		80	画本西遊記 百鬼夜行之図	春松堂玉国	文政6年-天保5年(1823-34)頃	大判錦絵	●	
		81	源頼光館土蜘蛛妖怪図	歌川国芳	天保14年(1843)	大判錦絵		●
		82	神農諸病退治図	歌川芳虎	弘化4年-嘉永5年(1847-52)	大判錦絵	●	
		83	百鬼夜行図	秀斎	江戸時代末期	大判錦絵		●
		2-2 鬼	84	狂畜百狂とふけ百万遍	河鍋曉斎	元治元年(1864)	大判錦絵	●
85	灯火百鬼夜行列戯画		作者不詳	大正-昭和時代	大判墨摺		●	
86	百怪図巻		佐藤嵩之	元文2年(1737)	紙本着色	○	○	
87	怪奇談絵詞		作者不詳	江戸末期-明治時代	紙本着色	○	○	
88	大津絵 鬼の念仏		作者不詳	江戸時代後期	紙本墨摺半彩	●	●	
89	皇国二十四孝 信濃国の孝子善之丞		月岡芳年	明治14年(1881)	大判錦絵	●		
90	和漢百物語 雷震		月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵		●	
91	和漢百物語 貞信公		月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵	●		
92	修紫田舎源氏		月岡芳年	明治17年(1884)	大判錦絵		●	
93	新形三十六怪撰 平惟茂戸隠山に悪鬼を退治す図		月岡芳年	明治23年(1890)	大判錦絵	●		
94	和漢百物語 酒吞童子		月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵	●		
95	大江山福寿酒盛		歌川国芳	嘉永6年(1853)	大判錦絵		●	
96	四天王大江山入之図		三大歌川国政	弘化4年-嘉永5年(1847-52)	大判錦絵	●		
97	大江山酒吞退治		歌川芳艶	江戸時代末期	大判錦絵		●	
2-3 天狗	98	大江山酒吞童子	作者不詳	江戸時代末期-明治時代	木版墨摺	●	●	
	99	辰橋鬼女退治	揚州周延	明治22年(1889)	大判錦絵	●		
	100	芳年漫画 綱と茨木	月岡芳年	明治18年(1885)	大判錦絵	●	●	
	101	綱館鬼のかいな図	芝鶴	昭和時代	絹本着色	●	●	
	102	和漢百物語 渡辺源治綱	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵	●		
	103	義仲四天王天狗退治	二大勝川春章	天保年間(1830-1844)頃	大判錦絵	●		
	104	牛若丸と天狗	歌川国芳	弘化4年-嘉永5年(1847-52)	大判錦絵		●	
	105	和漢百物語 伊賀司	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵	●		
	106	名譽十八番 天狗舞	右田年英	明治時代-大正時代	大判判錦絵		●	
	107	摂州大物浦平家ノ怨霊顯るゝ図	歌川国芳	江戸時代末期	大判錦絵	●	●	
	108	東海道五十三對 宮乃羅 反魂塚	歌川国貞	天保14年-弘化4年(1843-47)	大判錦絵		●	
	109	東海道五十三對 袋井 桜ヶ池の由来	歌川国貞	天保14年-弘化4年(1843-47)	大判錦絵	●		
	110	東京日日新聞 第百一号 産婦の霊	落合芳幾	明治7年(1874)	大判錦絵	●		
	111	郵便報知新聞 第五八九号 死んだ男	月岡芳年	明治8年(1875)	大判錦絵		●	
2-4 人間	112	西郷隆盛靈巽奏書	月岡芳年	明治11年(1878)	大判錦絵	●		
	113	和漢百物語 下部筆助	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵		●	
	114	和漢百物語 主馬介卜部季武	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵	●		
	115	和漢百物語 登喜大四郎	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵		●	
	116	和漢百物語 入雲龍公孫勝	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵	●		
	117	和漢百物語 清姫	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵		●	
	118	おつろろくろ首 重扇寿松若	好画堂多美国	江戸時代後期	大判錦絵	●		
	119	足長手長 行き人形 浅草奥山	歌川国芳	安政2年(1855)	大判錦絵		●	
	120	当ル奉納願お賀久面	歌川国芳	弘化5年-嘉永2年(1848-49)	大判錦絵	●	●	
	121	みかけハこはるがとんだいい人だ	歌川国芳	弘化4年-嘉永5年(1847-52)	大判錦絵	●	●	
	122	妖怪図	円山応齋	江戸時代後期	絹本着色	●	●	
	123	豆腐小僧	重光	嘉永年間(1848-53)頃	紙本着色	●	●	
	124	五十三次之内 猫の怪	歌川芳藤	弘化4年-嘉永5年(1847-52)	大判錦絵	●	●	
	125	東海道五十三駅之内 岡崎八橋村	歌川国貞	天保6年(1835)	大判錦絵	●		
126	おとよのけけ猫 嵯峨奥妖猫奇談	揚州周延	明治19年(1886)	大判錦絵		●		
127	東錦画夜覽 佐賀の怪猫	揚州周延	明治19年(1886)	大判錦絵	●			
2-5 妖怪動物園	128	東錦画浮世絵稿読 伊藤燕林	月岡芳年	慶応3年(1867)	大判錦絵		●	
	129	頼蒙阿闍梨	歌川国芳	文久元年(1861)	大判錦絵	●		
	130	和漢百物語 仁木弾正直則	月岡芳年	文久元年(1861)	大判錦絵		●	
	131	雪月花 山城 金剛寺 花ゆき姫	揚州周延	明治17年(1884)	大判錦絵	●	●	
	132	白藏主図	大原吞舟	江戸時代後期	紙本墨画淡彩	●	●	
	133	木曾街道六十九次之内 妻籠 安部保名 葛葉狐	歌川国芳	天保14年-弘化4年(1843-47)	大判錦絵	●		
	134	源治雲浮世画合 葛葉狐	歌川国芳	天保14年-弘化4年(1843-47)	大判錦絵		●	
	135	九尾狐退治	歌川国久	安政5年(1858)	大判錦絵		●	
	136	和漢百物語 左馬之助光年	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵	●		
	137	於吹島之館直之古狸退治図	月岡芳年	江戸時代末期-明治時代	大判錦絵	●	●	
	138	和漢百物語 小野川喜三郎	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵		●	
	139	東京日日新聞第百四十五号 三ツ目入道	落合芳幾	明治7年(1874)	大判錦絵	●		
	140	和漢百物語 橋多門丸正行	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵	●	●	
	141	通俗西遊記 悟空と八戒	月岡芳年	元治元年(1864)	大判錦絵	●		
142	通俗西遊記 沙悟浄	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵		●		

143	東海道五十三對 桑名 船のり徳藏の伝	歌川国芳	天保14年-弘化4年(1843-47)	大判錦絵	●	●
144	和漢百物語 鷺池平九郎	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵	●	●
145	破奇術額公袴垂為掃	歌川芳艶	安政5年(1858)	大判錦絵	●	
146	太平記焼山越之図	歌川芳艶	江戸時代末期	大判錦絵		●
147	佐藤正清化物退治	歌川芳虎	江戸時代末期	大判錦絵	●	
148	蝦蟇手本ひやうきんぐら	歌川国芳	弘化4年-嘉永5年(1847-52)	大判錦絵		●
149	児雷也豪傑物語	二代歌川国貞	江戸時代末期-明治時代	木版墨摺	●	●
150	源頼光土蜘蛛退治	歌川国長	江戸時代後期	大判錦絵	●	
151	和漢百物語 源頼光朝臣	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵	●	
152	新形三十六怪撰 源頼土蜘蛛ヲ切ル図	月岡芳年	明治25年(1892)	大判錦絵		●
153	今様源氏 三十四 大友若菜姫	落合芳幾	元治元年(1864)	大判錦絵		●
154	和漢百物語 田原藤太秀郷	月岡芳年	慶応元年(1865)	大判錦絵	●	●
155	新版からくり絵	景斎英寿	文政期後半(1824-30)頃	大判錦絵	●	
156	四谷怪談絵双六	作者不詳	江戸時代末期	大判墨摺		●
157	組上絵 舌切り雀	作者不詳	江戸時代末期	大判錦絵	●	
158	当りのかわりあんどん	歌川芳藤	明治時代	間版錦絵		●
159	筑前国宗像郡本木村化物次第書 全	竹園	安政6年(1859)写	紙本墨書・画	●	●
160	筑前国宗像郡化物退治図絵	作者不詳	江戸時代後期	紙本着色	○	○

2-6 実録 化物退治

シンボル展「やまなしの幽霊・妖怪」		所 蔵	年 代	展 示 期 間	
1	キの神神体	山梨岡神社(笛吹市)	宝永3年(1706)以前	○	○
2	山梨岡神社御神体之図	県立博物館	大正12年(1923)	○	○
3	キの神神札	県立博物館	現代	○	○
4	キの神来由記	県立博物館	慶応2年(1866)以降	○	○
5	峡中紀行	県立博物館	明治30年(1897) 原本は宝永3年(1706)	○	○
6	化蟹退治掛軸	長源寺(山梨市)	明治時代	○	○
7	河童地蔵	富士博物館(富士河口湖町)	昭和22年(1947)	○	○
8	経石	遠妙寺(笛吹市)		○	○
9	大蛇になりし女の事	県立博物館		○	○
10	裏見寒話	県立博物館		○	○
11	小松怨霊記	県立博物館		○	○
12	ニホンオオカミ頭骨	県立博物館		○	○ (9月4日まで)
13	疫病退散に付差紙	県立博物館		○	○

【展示平面図】



## iii 甲斐の黒駒

【会 期】平成26年10月11日（土）～12月1日（月）

会期日数52日間、展示日数45日間

【主 催】山梨県立博物館

【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局

【協 力】山梨交通株式会社

【会 場】企画展示室

【入場者数】7,002人

【担 当】学芸員 植月 学、学芸課長 森原明廣

## 【概 要】

古墳時代に大陸より伝わった馬は、古代には甲斐国の基幹産業となり、その後も武田の騎馬隊に象徴されるように甲斐の国の発展を支え続けた。本展では山梨における人と馬の歴史について、考古学、歴史、美術、民俗などの様々な資料から紹介することを目的とした。

## 【関連イベント】

## ■記念講演会「馬の来た道～東アジア世界の馬文化」

- ・講 師：末崎真澄氏（馬の博物館副館長）、菊地大樹氏（京都大学人文科学研究所）、諫早直人氏（奈良文化財研究所）、丸山真史氏（京都市埋蔵文化財研究所）
- ・日 時：平成26年11月23日（日）午後1時30分～5時
- ・場 所：生涯学習室

## ■乗馬体験「木曾馬に乗ってみよう！」（協力：紅葉台木曾馬牧場）

- ・日 時：平成26年10月18日（土）、11月1日（土）、24日（月・振休）午前10時～午後4時
- ・場 所：庭

## ■甲斐の黒駒 ミニ展示

- ・日 時：平成26年10月22日（水）～11月3日（月・祝）
- ・場 所：甲府市立図書館

## ■かいじあむ検定「勝沼ツアー」

- ・日 時：平成26年10月26日（日）午前9時から12時

## ■かいじあむ検定「館内クイズラリー」

- ・日 時：平成26年11月8日（土）午前10時から午後3時

## ■かいじあむ古文書講座「馬に関する古文書を読む」

- ・講 師：①海老沼真治（当館学芸員）、②宮澤富美恵（当館職員）
- ・日 時：①平成26年10月25日（土）午後1時30分～3時  
②同 11月22日（土）同

- ・場 所：生涯学習室

## ■かいじあむ子ども工房「ペーパークラフトで馬を作ろう・土馬を作ろう」

- ・日 時：平成26年10月11日（土）、11月8日（土）午前10時30分～午後3時
- ・場 所：ロビー

## ■ギャラリートーク

- ・日 時：平成26年10月13日（月・祝）、25日（土）、11月2日（日）、16日（日）、  
午後3時から1時間程度



展示風景



展示風景

【出品資料一覧】

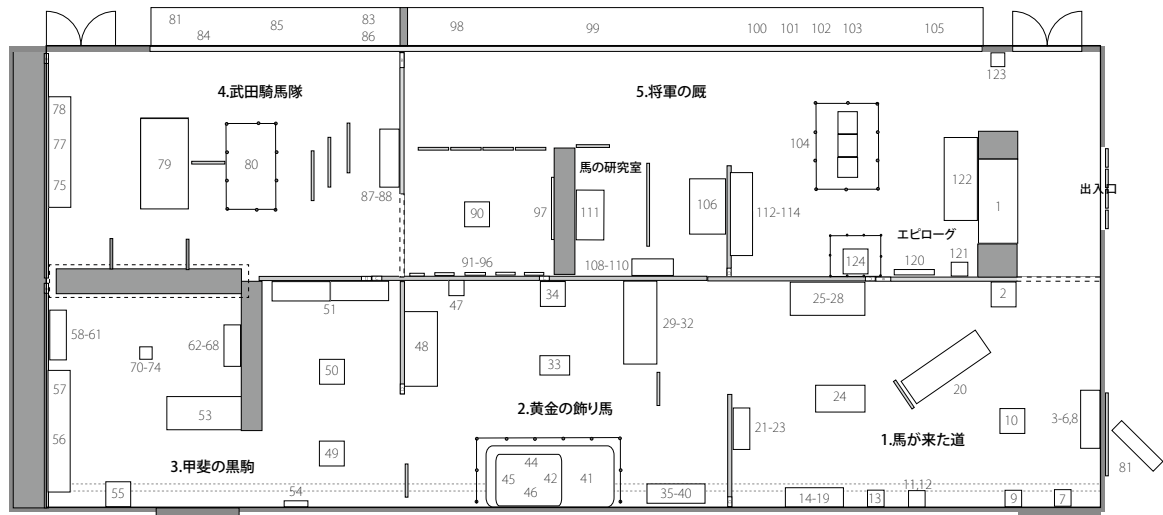
番号	指定	資料名	員数	作者/出土地	時代	所蔵者	
<b>第1章 馬が来た道</b>							
1		竹原古墳石室（模造）	1点	福岡県宮若市	古墳時代	馬の博物館	
2		ヒラコテリウム模型	1点			馬の博物館	
3		金銀象嵌轡	1点	南ロシア	前7～前6世紀	馬の博物館	
4		ハミ留め金具（複製）	1点	南ロシア	前8～前7世紀	馬の博物館	
5		ハミ・鏡板・手綱（複製）	1点	南ロシア	1世紀後半	馬の博物館	
6		ハミと鏡板（複製）	1点	南ロシア	1～2世紀	馬の博物館	
7		馬形飾り付冑	1点		西周～春秋戦国時代	馬の博物館	
8		馬形飾り付刀子	1点		西周～春秋戦国時代	馬の博物館	
9		加彩馬	1点		前漢時代（前2～前1世紀）	東京国立博物館	
10		三彩馬	1点		唐時代（8世紀）	東京国立博物館	
11		土偶 馬	1点		三国時代（新羅・6世紀）	東京国立博物館	
12	△	騎馬人物土偶	1点		三国時代（新羅・5～6世紀）	東京国立博物館	
13	△	馬形容器	1点	伝慶尚南道昌寧	三国時代（新羅・5世紀）	東京国立博物館	
14		鉄地金銅装「字」形鏡板	1対		三国時代（5世紀）	東京国立博物館	
15		銅製馬鐸	1点		三国時代（5～6世紀）	東京国立博物館	
16		銅製三環鈴	1点		三国時代（5～6世紀）	東京国立博物館	
17		鉄地金銅装刻菱形杏葉	1点		三国時代（5～6世紀）	東京国立博物館	
18		銅製五鈴杏葉	1点	伝韓国固城	三国時代（加耶・5～6世紀）	東京国立博物館	
19		馬形帯鉤	2点	伝岡山県榊山古墳	古墳時代	馬の博物館	
20		馬足跡剥ぎ取り資料	1点	群馬県白井北中道遺跡	古墳時代（6世紀中頃）	群馬県教育委員会	
21		三角縁陳氏作神獣車馬鏡（複製）	1点	甲府市甲斐鏡子塚古墳	古墳時代（4世紀）	山梨県立考古博物館	
22		馬歯	12点	甲府市塩部遺跡	古墳時代（4世紀後半頃）	山梨県立考古博物館	
23		馬具	1 鐮轡 2 木心鉄板張輪鏡 3 三環鈴	1具 1双 1点	甲府市かんかん塚古墳（茶塚）	古墳時代（5世紀後半）	山梨県立考古博物館
24		馬の全身骨格	1体	長野県飯田市宮垣外遺跡10号土壌	古墳時代（5世紀後半）	飯田市教育委員会	
25	◇	鉄製馬具	1 轡 2 輪鏡 3 鞍金具 4 杏葉	1具 1双 2点 2点	長野県飯田市宮垣外遺跡64号土壌	古墳時代（5世紀）	飯田市教育委員会
26		鐮轡	1具	長野県飯田市物見塚古墳	古墳時代	飯田市教育委員会	
27		木心鉄板張輪鏡	1双	長野県飯田市新井原遺跡2号古墳	古墳時代（5世紀後半）	飯田市教育委員会	
28		馬具	1 轡 2 杏葉 3 頭骨	1具 1点 1点	長野県新井原遺跡4号土壌	古墳時代（5世紀後半）	飯田市教育委員会
<b>第2章 黄金の飾り馬</b>							
29	◎	頭巾をかぶった男子埴輪（馬曳き）	1点	埼玉県行田市酒巻14号墳	古墳時代	行田市郷土博物館	
30	◎	馬形埴輪（飾り馬）	1点	埼玉県行田市酒巻14号墳	古墳時代	行田市郷土博物館	
31	◎	男子埴輪（馬曳き）	1点	埼玉県行田市酒巻14号墳	古墳時代	行田市郷土博物館	
32	◎	旗を立てた馬形埴輪	1点	埼玉県行田市酒巻14号墳	古墳時代	行田市郷土博物館	
33		蛇行状鉄器	2点	埼玉県行田市將軍山古墳	古墳時代	埼玉県立さきたま史跡の博物館	
34		馬冑（複製）	1点	埼玉県行田市將軍山古墳	古墳時代	埼玉県立さきたま史跡の博物館	
35		馬鈴	2点	長野県飯田市南条天神塚（雲彩寺）古墳	古墳時代	雲彩寺	
36		銅鈴	1点	福島県相馬市大字坪田	古墳時代（6世紀）	東京国立博物館	
37		馬鐸	1点	奈良県桜井市大字笠岡字沢ノ坊	古墳時代（5～6世紀）	東京国立博物館	
38		環鈴	1点	香川県綾歌郡綾川町 大字小野字津頭	古墳時代（5世紀）	東京国立博物館	
39		鈴杏葉	1点	群馬県前橋市鳥取町前原	古墳時代（6世紀）	東京国立博物館	
40		鐘形杏葉	2点	長野県鹿光寺地区	古墳時代	飯田市教育委員会	
41		石馬・石人（複製）	2点	福岡県八女市岩戸山古墳	古墳時代	馬の博物館	
42		馬形埴輪（飾り馬）	1点	群馬県前橋市白藤古墳	古墳時代	前橋市教育委員会	
43	※	馬備	1点		西晋時代	馬の博物館	
44	◇	埴輪（人が乗る裸馬）	1点	群馬県太田市高林	古墳時代	群馬県立がんセンター	
45		馬形埴輪（鞍を載せた馬）	1点	群馬県前橋市白藤古墳	古墳時代	前橋市教育委員会	
46		男子埴輪（貴人）	1点	群馬県月田地藏塚古墳	古墳時代（6世紀中葉）	前橋市教育委員会	
47	○	馬具	1 透彫心葉形鏡板付轡 2 壺鏡	1具 1双	笛吹市古柳塚古墳	古墳時代	笛吹市教育委員会
48	○	副葬品	1 花形鏡板 2 辻金具 3 鞍座金具 4 鉸具 5 鉄製素環鏡板付轡 6 丸玉 7 小玉 8 柄頭 9 鞘尻 10 珠文鏡 11 櫛目文鏡 12 勾玉 13 耳環 14 切子玉 15 璽玉 16 管玉 17 帯金具	1対 2点 2点 1点 1具 121点 200点 1点 1点 1面 1面 3点 2点 1点 1点 1点 2点	笛吹市平林2号墳	古墳時代 （6世紀後半～7世紀前半）	山梨県立考古博物館

第3章 甲斐の黒駒						
49		唐鞍装着模型		1点		馬の博物館
50	◎	金銅製馬具	1 龍文飾金具 2 蕨葉形杏葉 5 帯先金具 6 鈿具 7 花卉形步揺	1点 1点 1点 1点 1点 6点	奈良県斑鳩町藤ノ木古墳	古墳時代 文化庁蔵・奈良県立橿原考古学研究所附属博物館保管
51	◎	金銅製馬具・仏具	1 金銅製心葉形透彫杏葉 2 鉄地金銅張花形鏡板 3 鈴付金銅製雲珠（複製） 4 鉄地金銅張雲珠 5 隆泥 吊金具 6 鞍金具 鞍 7 銅鏡（複製）	4点 1対 1点 11点 3点 4点 1点 1点	群馬県高崎市観音塚古墳	古墳時代 高崎市観音塚考古資料館
52	◎	※光背		1点	法隆寺献納宝物	飛鳥時代又は三国時代（6～7世紀） 東京国立博物館
53	原品◎	馬具（復原・複製）	1 円形飾金具（複製処理前・処理後） 2 心葉形鏡板付轡（複製） 3 蓋鎧（複製） 4 前輪一式（複製） 5 後輪（復原） 6 後輪部品（複製） 7 金銅製歩揺付尻繫飾金具（復元） 8 金銅製半筒形品（複製） 9 金銅製大帯（複製） 10 金銅製履（複製）	2点 1点 1点 1点 1点 1点 1点 1点 1点 1点	奈良県斑鳩町藤ノ木古墳	奈良文化財研究所飛鳥資料館
54		黒駒太子像		1点		室町～桃山時代 山梨県立博物館
55	◇	聖徳太子騎馬像		1体		江戸時代 富士御室浅間神社
56		聖徳太子絵伝		2幅		江戸時代・文政年間（1818～1830） 正福寺
57		酒折宮連歌図		1幅	土佐光起筆	江戸時代 山梨県立博物館
58		「午」墨書土器		4点	笛吹市狐原遺跡	平安時代（9世紀） 山梨県立考古博物館
59		鞆鈴（複製）		2点	隠岐伝世	奈良時代 馬の博物館
60		駿河国正税帳（複製）		1点		奈良時代・天平10年（738） 山梨県立博物館 原品：正倉院
61		馬司食糧伝票木簡（複製）		3点	奈良県平城京跡	奈良時代（8世紀） 山梨県立博物館 原品：奈良国立文化財研究所
62		「牧」墨書土器		1点	北杜市宮間田遺跡	平安時代 北杜市教育委員会
63		焼印		1点	北杜市梅之木遺跡	平安時代（10世紀） 北杜市教育委員会
64		馬鈴		1点	北杜市寺前遺跡	平安時代 北杜市教育委員会
65		轡		1具	北杜市上原遺跡	平安時代 北杜市教育委員会
66		轡		1具	韮崎市宮の前遺跡	平安時代 韮崎市教育委員会
67		笠志前国嶋評付札木簡（複製）		1点	福岡県太宰府市国分松本遺跡	飛鳥時代（7世紀） 太宰府市教育委員会
68		絵馬（復原・複製）		各1点	奈良市日笠フシダ遺跡	奈良時代 奈良県立橿原考古学研究所
69		※「狼駒曳」絵馬（原資料、復原）		各1点	岡山市鹿田遺跡	奈良時代 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
70		土馬		1点	甲府市道々芽木遺跡	平安時代 山梨県立考古博物館
71		土馬		1点	甲斐金峰山	甲府市教育委員会
72		土馬		1点	北杜市中村道祖神遺跡	北杜市教育委員会
73		土馬		1点	北杜市坂下遺跡	北杜市教育委員会
74		猿型土製品		1点	北杜市坂下遺跡	北杜市教育委員会
第4章 武田騎馬隊						
75		隨身庭乗図		1巻	狩野常信筆	江戸時代・宝永7年（1710） 馬の博物館
76	◎	※隨身庭騎絵巻		1巻		鎌倉時代・宝治元年（1247） 大倉集古館
77		騎馬図巻		1巻	伝土佐長隆筆	鎌倉時代 馬の博物館
78		犬追物図説		1冊	伊勢貞文著	江戸時代・延享4年（1747） 山梨県立博物館
79		在来馬・騎馬武者復元模型		1点		馬の博物館
80		馬全身骨格（複製）		1体	武田氏館跡	甲府市教育委員会
81		武田氏館跡出土馬復元模型		1体		山梨県立博物館
82		武田信玄像		1幅		江戸時代 山梨県立博物館
83		武田二十四将図		1幅		江戸時代 山梨県立博物館
84		甲陽軍鑑 巻第一		1冊		江戸時代初期 山梨県立博物館
85		長篠合戦図屏風（複製）		6曲1隻		江戸時代 大山城白帝文庫
86		武田信玄陣立書		1巻		戦国時代 山梨県立博物館
87		武田信玄公備押作法之図		1巻		江戸時代 山梨県立博物館
88		※陣形図屏風		8曲1隻		江戸時代 馬の博物館
89		雑兵物語		2冊		江戸時代・弘化3年（1845） 馬の博物館
90		木馬		1点		長禅寺
91		武田信玄出陣之図		大判3枚続	歌川芳虎筆	江戸時代・文久3年（1863） 山梨県立博物館
92		川中嶋軍記之図		大判3枚続	歌川貞秀筆	江戸時代・弘化4年～嘉永5年（1847～1852） 山梨県立博物館
93		川中嶋合戦 備を立直す図		大判3枚続	歌川国芳筆	江戸時代・弘化4年～嘉永5年（1847～1852） 山梨県立博物館

94	信州川中嶋大合戦 朝霧ふかく立ちおほふの図	大判3枚続	歌川芳虎筆	江戸時代・弘化4年～ 嘉永5年（1847～1852）	山梨県立博物館
95	甲越大合戦之図	大判3枚続	歌川芳員筆	江戸時代・安政4年（1857）	山梨県立博物館
96	甲越川中嶋大合戦	大判9枚続	歌川貞秀筆	江戸時代・安政6年（1859）	山梨県立博物館
97	永禄四年九月川中嶋大合戦	大判3枚続	歌川国芳筆	江戸時代・安政元年（1854）	山梨県立博物館
<b>第5章 将軍の厩</b>					
98	厩図屏風	2曲1隻		安土桃山～江戸時代	馬の博物館
99	厩図屏風	6曲1双		江戸時代	馬の博物館
100	螺細鞍	1背		室町時代	馬の博物館
101	葡萄銀象嵌燈	1対	友貞作	室町時代	馬の博物館
102	馬面	1面		江戸時代	馬の博物館
103	馬面	1面		江戸時代	馬の博物館
104	馬鏡	1式		江戸時代	馬の博物館
105	牧馬図屏風	10曲 1隻		江戸時代初期	馬の博物館
106	在来馬骨格標本	1体		現代	奈良文化財研究所
107	※馬全身骨格	1体	甲府市朝気遺跡	平安時代	甲府市教育委員会
108	馬具（複製）	1点	大友館跡	戦国時代（16世紀）	馬の博物館
109	おもぐい	1点		現代	馬の博物館
110	馬歯	5点	南アルプス市 大師東丹保遺跡	鎌倉時代	山梨県立考古博物館
111	馬骨	10点	青森県大光寺新城跡	戦国時代	平川市教育委員会
112	飾馬図	1冊		江戸時代	山梨県立博物館
113	馬百態図	1冊	狩野安信筆	江戸時代	山梨県立博物館
114	驢毛図解	1巻		江戸時代	山梨県立博物館
<b>エピソード</b>					
120	◇ 黒駒大絵馬	1点	狩野邦信筆	江戸時代・元禄10年（1697）	河口浅間神社
121	駒形社神体	2体			河口浅間神社
122	流鏑馬用具	1式		現代	小室浅間神社
123	馬頭観音（複製）	1点			北杜市教育委員会
124	ボンボコサン	1点		現代	玉諸神社
125	※御幸祭絵図	1巻	三宅済美筆	江戸時代・宝暦9年（1759）	個人

◎国宝、◎重要文化財、△重要美術品、○県指定文化財、◇市町村指定文化財  
※は参考画像の展示

【展示平面図】



②シンボル展

i 広重の不二三十六景

【会 期】平成26年6月7日（土）～7月7日（月）

会期日数31日間、展示日数27日間

【主 催】山梨県立博物館

【協 力】山梨交通株式会社

【会 場】企画展示室

【入場者数】4,703人

【担 当】学芸員 近藤暁子、松田美沙子

【概 要】

歌川広重は、生涯にわたり数々の名所絵を世に送り出した、浮世絵風景画の名手として知られている。その作品は平明で美しく、情緒的な趣をたたえており、今も多くの人を魅了してやまない。本展では、富士山世界文化遺産登録一周年を迎えるこの機会に、広重による富士山をテーマとした連作、「不二三十六景」全作を一挙に展示した。

【関連イベント】

■かいじあむ古文書講座「富士山に関する古文書を読む1」

- ・講 師：中野賢治（当館学芸員）
- ・日 時：平成26年6月28日（土）午後1時30分～3時まで
- ・場 所：生涯学習室

■かいじあむ子ども工房1「立体浮世絵を作ろう」

- ・日 時：平成26年6月14日（日）午前10時30分～午後3時
- ・場 所：ロビー

■かいじあむ子ども工房2「浮世絵をすってみよう」

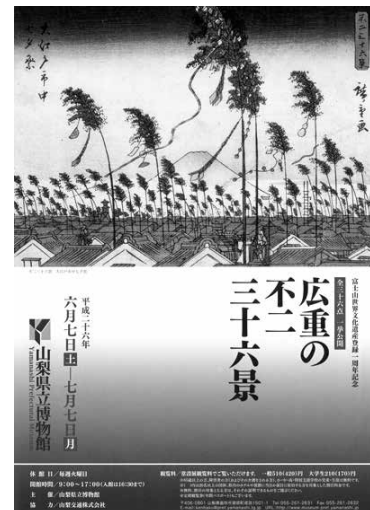
- ・日 時：平成26年6月22日（日）午前10時～11時30分、午後1時～2時30分
- ・場 所：体験学習室

■ギャラリートーク

- ・日 時：平成26年6月14日（土）、7月6日（日）午後3時から30分程度

【出品資料一覧】

	資 料 名	作 者	制作時期	法 量	技 法
1	不二三十六景 相模七里か濱風波	歌川広重	嘉永5年（1852）	大判（18.3×24.9cm）	木版多色摺
2	不二三十六景 箱根山中湖水	歌川広重	嘉永5年（1852）	大判（18.3×25.0cm）	木版多色摺
3	不二三十六景 相模川	歌川広重	嘉永5年（1852）	大判（18.3×25.1cm）	木版多色摺
4	不二三十六景 武蔵本牧海上	歌川広重	嘉永5年（1852）	大判（18.3×24.6cm）	木版多色摺
5	不二三十六景 神奈川海上	歌川広重	嘉永5年（1852）	大判（18.2×25.0cm）	木版多色摺
6	不二三十六景 相模大山来迎谷	歌川広重	嘉永5年（1852）	大判（18.3×25.0cm）	木版多色摺
7	不二三十六景 上総木更津海上	歌川広重	嘉永5年（1852）	大判（18.3×24.9cm）	木版多色摺
8	不二三十六景 下総鴻の臺	歌川広重	嘉永5年（1852）	大判（18.3×25.0cm）	木版多色摺
9	不二三十六景 上総鹿楚山鳥居崎	歌川広重	嘉永5年（1852）	大判（18.3×24.7cm）	木版多色摺
10	不二三十六景 上総天神山海岸	歌川広重	嘉永5年（1852）	大判（18.3×24.9cm）	木版多色摺
11	不二三十六景 安房鋸山	歌川広重	嘉永5年（1852）	大判（18.2×25.0cm）	木版多色摺
12	不二三十六景 東都飛鳥山	歌川広重	嘉永5年（1852）	大判（18.3×25.0cm）	木版多色摺
13	不二三十六景 東都目黒千代が崎	歌川広重	嘉永5年（1852）	大判（18.3×24.9cm）	木版多色摺
14	不二三十六景 武蔵小金井堤	歌川広重	嘉永5年（1852）	大判（18.3×25.0cm）	木版多色摺



展覧会ちらし

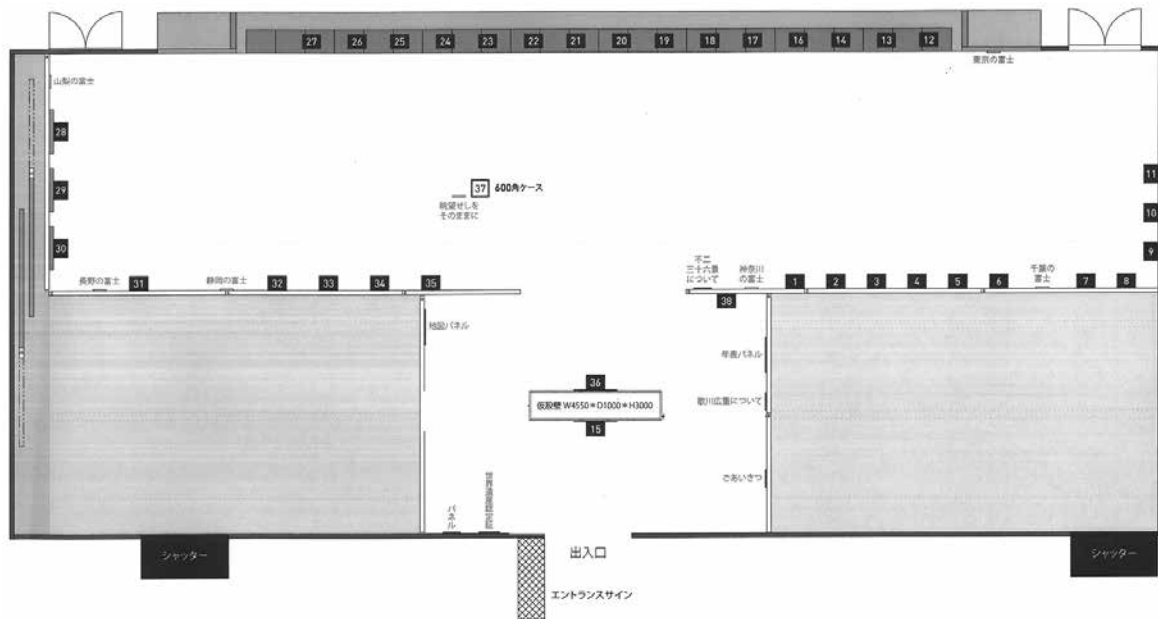


展示風景

15	不二三十六景	大江戸市中七夕祭	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.3×25.1cm)	木版多色摺
16	不二三十六景	東都山下町河岸	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.2×25.0cm)	木版多色摺
17	不二三十六景	東都水道橋	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.3×25.1cm)	木版多色摺
18	不二三十六景	東都永代橋佃島	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.3×24.9cm)	木版多色摺
19	不二三十六景	東都両國橋下	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.3×25.0cm)	木版多色摺
20	不二三十六景	東都青山	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.2×24.8cm)	木版多色摺
21	不二三十六景	武蔵多満川	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.2×25.0cm)	木版多色摺
22	不二三十六景	東都江戸橋日本橋	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.3×24.9cm)	木版多色摺
23	不二三十六景	東都駿河臺	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.3×25.0cm)	木版多色摺
24	不二三十六景	東都隅田堤	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.2×25.0cm)	木版多色摺
25	不二三十六景	東都木下川田甫	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.2×24.7cm)	木版多色摺
26	不二三十六景	武蔵野	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.2×24.9cm)	木版多色摺
27	不二三十六景	東海道大森縄手	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.3×24.9cm)	木版多色摺
28	不二三十六景	甲斐大月原	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.3×25.0cm)	木版多色摺
29	不二三十六景	甲斐犬目峠	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.3×25.0cm)	木版多色摺
30	不二三十六景	甲斐夢山裏富士	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.3×24.9cm)	木版多色摺
31	不二三十六景	信濃諏訪湖	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.1×25.5cm)	木版多色摺
32	不二三十六景	駿河不二川	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.4×25.1cm)	木版多色摺
33	不二三十六景	駿河薩岳嶺	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.2×24.9cm)	木版多色摺
34	不二三十六景	伊豆の海濱	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.3×24.9cm)	木版多色摺
35	不二三十六景	駿河田子の浦	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.3×25.0cm)	木版多色摺
36	不二三十六景	駿河富士沼	歌川広重	嘉永5年(1852)	大判(18.3×24.9cm)	木版多色摺
37	富士見百図		歌川広重	安政4年(1857)	22.0×15.5cm	木版多色摺
38	歌川広重像	三代歌川豊国(歌川国貞)		安政5年(1858)	大判(36.1×24.0cm)	木版多色摺

※所蔵はすべて山梨県立博物館

【展示平面図】





## ii さわれる富嶽三十六景

【会 期】平成27年2月7日(土)～3月9日(月)

会期日数31日間、展示日数27日間

【主 催】山梨県立博物館

【技術協力】TEAM MASA

【会 場】企画展示室

【入場者数】2,842人

【担 当】学芸員 松田美沙子、丸尾依子

## 【概 要】

「富嶽三十六景」は、葛飾北斎による浮世絵作品の傑作にして、世界で最も有名な富士図のひとつである。本展では、当館が所蔵している「富嶽三十六景」の画像データをベースにし、特殊な技術を用いて浮世絵の線描を立体的に表した、触覚型資料「さわれる富嶽三十六景」を展示し、視覚に障がいをお持ちの方はもちろんのこと、お年寄りからお子様まで、誰もが楽しんでいただける展覧会を行った。

## 【関連イベント】

## ■スペシャルギャラリー・トーク「さわれる富嶽三十六景制作裏話」

- ・講 師：中村正之氏（常磐大学コミュニティ振興学部教授）
- ・日 時：平成27年2月7日（土）、3月8日（日）午後2時から30分程度
- ・場 所：企画展示室

## ■常磐大学TEAM MASAによる展示案内

- ・日 時：平成27年2月7日（土）、28日（土）、3月1日（日）、7日（土）、8日（日）午後1時～4時まで

## ■立体しおりを作ろう！

- ・日 時：平成27年2月22日（日）、3月7日（土）午前10時30分～午後3時
- ・場 所：ロビー

## ■かいじあむ古文書講座「富士山に関する古文書を読む2」

- ・講 師：海老沼真治（当館学芸員）
- ・日 時：平成27年2月28日（土）午後1時30分～3時まで
- ・場 所：生涯学習室

## ■かいじあむ子ども工房「立体浮世絵を作ろう」

- ・日 時：平成27年2月14日（土）午前10時30分～午後3時
- ・場 所：ロビー

## ■ギャラリートーク

- ・日 時：平成27年2月8日（日）、15日（日）、3月1日（日）  
午後3時から30分程度



展覧会ちらし

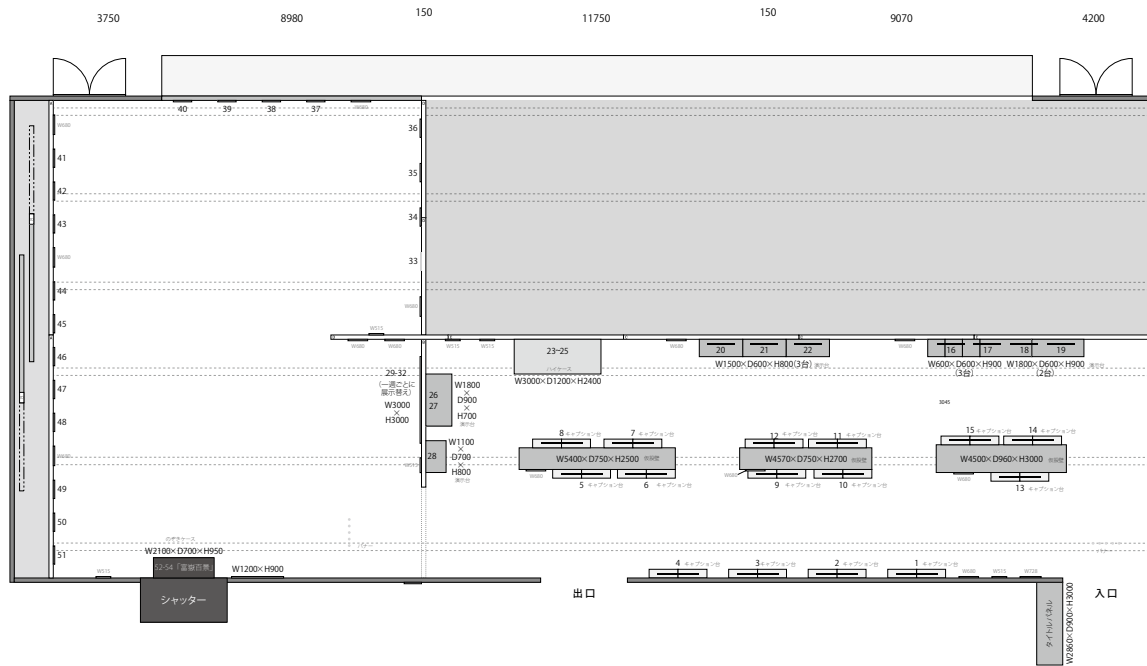


展示風景

【出品資料一覧】

	資料名	作者	制作時期	員数	法量	材質・技法	所蔵者
さわって楽しむ富嶽三十六景							
1	さわれる富嶽三十六景 凱風快晴	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
2	さわれる富嶽三十六景 甲州石班澤	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
3	さわれる富嶽三十六景 山下白雨	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
4	さわれる富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
5	さわれる富嶽三十六景 甲州三島越	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
6	さわれる富嶽三十六景 相州梅澤左	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
7	さわれる富嶽三十六景 遠江山中	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
8	さわれる富嶽三十六景 青山園座姿	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
9	さわれる富嶽三十六景 御殿川岸より両国橋夕陽見	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
10	さわれる富嶽三十六景 隠田の水車	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
11	さわれる富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略圖	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
12	さわれる富嶽三十六景 上総ノ海路	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
13	さわれる富嶽三十六景 東都浅草本願寺	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
14	さわれる富嶽三十六景 駿州江尻	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
15	さわれる富嶽三十六景 隅田川関屋の里	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
16	さわれる富嶽三十六景 甲州犬目峠	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
17	さわれる富嶽三十六景 甲州三坂水面	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
18	さわれる富嶽三十六景 甲州伊沢眺	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
19	さわれる富嶽三十六景 身延川裏不二	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
20	さわれる富嶽三十六景 深川万年橋下	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
21	さわれる富嶽三十六景 尾州不二見原	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
22	さわれる富嶽三十六景 東海道吉田	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(4枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	山梨県立博物館
23	立体コピー作成機 PIAF(ピアフ)			1台	50.0×51.0×19.0cm		常盤大学
24	さわれる富嶽三十六景 甲州石班澤(加熱前)	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	5枚	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	個人
25	さわれる富嶽三十六景 甲州石班澤(加熱後)	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	5枚	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	個人
26	さわれる天体写真	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1枚	29.8×42.2cm	スウェルペーパー	個人
27	さわれる顔写真	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	1セット(3枚)	21.1×29.8cm	スウェルペーパー	個人
28	スタッチくんのほしめぐり(白い絵本)	常磐大学中村研究室	平成26年(2014)	6冊	22.6×31.3cm	スウェルペーパー	個人
見て楽しむ富嶽三十六景							
29	富嶽三十六景 凱風快晴	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.6×37.7cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
30	富嶽三十六景 甲州石班澤(藍摺り)	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(26.4×38.6cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
31	富嶽三十六景 山下白雨	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(26.3×37.8cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
32	富嶽三十六景 神奈川沖津浪裏	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.6×37.7cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
33	富嶽三十六景 甲州三島越	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.5×37.7cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
34	富嶽三十六景 相州梅澤左	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.7×37.8cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
35	富嶽三十六景 遠江山中	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.6×37.5cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
36	富嶽三十六景 青山園座姿	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.7×38.5cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
37	富嶽三十六景 御殿川岸より両国橋夕陽見	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.6×37.8cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
38	富嶽三十六景 隠田の水車	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.6×37.5cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
39	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略圖	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.6×37.6cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
40	富嶽三十六景 上総ノ海路	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.6×37.6cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
41	富嶽三十六景 東都浅草本願寺	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.7×37.7cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
42	富嶽三十六景 駿州江尻	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.5×37.6cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
43	富嶽三十六景 隅田川関屋の里	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.6×37.0cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
44	富嶽三十六景 甲州石班澤	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.6×37.8cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
45	富嶽三十六景 甲州犬目峠	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.6×37.8cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
46	富嶽三十六景 甲州三坂水面	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.6×37.7cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
47	富嶽三十六景 甲州伊沢眺	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.6×37.9cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
48	富嶽三十六景 身延川裏不二	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.5×37.7cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
49	富嶽三十六景 深川万年橋下	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.7×37.8cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
50	富嶽三十六景 尾州不二見原	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(25.7×37.9cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
51	富嶽三十六景 東海道吉田	葛飾北斎	天保2年(1831)	1枚	大判(26.5×38.5cm)	木版多色摺	山梨県立博物館
52	富嶽百景 初編	葛飾北斎	天保5年(1834)	1冊	22.6×15.6cm	木版墨摺	山梨県立博物館
53	富嶽百景 二編	葛飾北斎	天保6年(1835)	1冊	22.6×15.6cm	木版墨摺	山梨県立博物館
54	富嶽百景 三編	葛飾北斎	刊行年不詳	1冊	22.6×15.6cm	木版墨摺	山梨県立博物館

【展示平面図】



(3) 展覧会関係刊行物

	名 称	発行年月日	体 裁
1	「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」展図録	平成25年6月29日	A4版変形 236頁（発行：NHKプロモーション）
2	「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」展別冊図録	平成25年9月20日	A4版変形 77頁（発行：NHKプロモーション）
3	「広重の不二三十六景」リーフレット	平成26年6月7日	A4版 8頁
4	「福岡市博物館所蔵 幽霊・妖怪画大全集」展図録	平成24年6月30日	A4版変形 204頁（発行：幽霊・妖怪画大全集実行委員会）
5	「やまなしの幽霊・妖怪」リーフレット	平成26年7月19日	A4版 4頁
6	「甲斐の黒駒」展図録	平成26年10月11日	B5版変形 152頁
7	「北斎の富嶽三十六景」リーフレット	平成27年2月7日	A4版 8頁
8	「微笑みに込められた祈り 円空・木喰展」図録	平成25年6月29日	A4版変形 236頁（発行：株式会社アートワン）



1



2



3



4



5



6



7



8

## 第5章 企画交流事業

### (1) 生涯学習サービス事業

#### ① 講演会・講座・シンポジウム等

##### ■ 講演会

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
平成26年 4月6日(日)	鴨川達夫氏(東京大学史料編纂所教授)	「武田信玄と甲斐の社会—本当はこうだったのでは?」	恩賜林記念館 (信玄公まつり)	60
4月27日(日)	丸山 昭氏(元講談社編集者)	「—マンガの神様と王様—素顔の手塚治虫と石/森章太郎」	県立博物館	70
7月19日(日)	中山喜一郎氏(福岡市美術館運営部長)	「幽霊・妖怪画の世界」	県立博物館	45

##### ■ 講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
平成26年5月18日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 1」	県立博物館	42
7月20日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 2」	県立博物館	41
8月21日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 3」	県立博物館	35
11月16日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 4」	県立博物館	36
平成27年1月18日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 5」	県立博物館	41
3月15日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 古代社会の実像を探る 6」	県立博物館	43
平成26年4月26日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 古文書に親しむ 1」	県立博物館	45
5月24日(土)	小畑 茂雄(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 古文書に親しむ 2」	県立博物館	45
6月28日(土)	中野 賢治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 富士山に関する古文書を読む」	県立博物館	52
7月26日(土)	宮澤富美恵(当館嘱託職員)	「かいじあむ古文書講座 お化けに関する古文書を読む」	県立博物館	55
8月23日(土)	小畑 茂雄(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 近代資料を読む2」	県立博物館	42
10月25日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 馬に関する古文書を読む 1」	県立博物館	77
11月22日(土)	宮澤富美恵(当館嘱託職員)	「かいじあむ古文書講座 馬に関する古文書を読む 2」	県立博物館	47
平成27年1月24日(土)	中野 賢治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 近世資料を読む」	県立博物館	37
2月28日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 富士山に関する古文書を読む」	県立博物館	37
平成26年4月26日(土)	-	「古文書相談 1」	県立博物館	5
5月24日(土)	-	「古文書相談 2」	県立博物館	2
6月28日(土)	-	「古文書相談 3」	県立博物館	4
7月26日(土)	-	「古文書相談 4」	県立博物館	1
8月23日(土)	-	「古文書相談 5」	県立博物館	5
10月25日(土)	-	「古文書相談 6」	県立博物館	8
11月22日(土)	-	「古文書相談 7」	県立博物館	4
平成27年1月24日(土)	-	「古文書相談 8」	県立博物館	5
2月28日(土)	-	「古文書相談 9」	県立博物館	5

■シンポジウム

日 時	内 容	開催場所	参加者 (人)
平成26年11月23日 (日)	記念講演会「馬の来た道～東アジア世界の馬文化～」 ・基調講演 末崎真澄 (公益財団法人 馬事文化財団理事・馬の博物館副館長) 「天馬翔けるユーラシア」 ・報告1 菊池大樹氏 (京都大学人文科学研究所) 「中国古代を駆けた馬たち」 ・報告2 諫早直人氏 (奈良文化財研究所) 「海を渡った騎馬文化～朝鮮半島から日本列島へ～」 ・報告3 丸山真史 (京都市埋蔵文化財研究所) 「ヤマト王権と馬～日本における馬の普及と意義～」	県立博物館	144
平成27年2月22日 (日)	富士山総合学術調査研究シンポジウム 「富士山の古代を探る」～考古学、美術史、文学を素材にして～ ・報告1 渡井英誉氏 (富士宮市教育委員会) 「富士信仰に関する遺跡 一山宮浅間神社を中心として」 ・報告2 鈴木麻里子氏 (山梨県文化財保護審議会委員 (有形文化財部会調査員)) 「南アルプス市江原浅間神社神像と『富士山記』」 ・報告3 永池健二氏 (元奈良教育大学教授) 「『梁塵秘抄』と富士山をめぐる歌謡」 ・討 論 司会 萩原三雄氏 (帝京大学文化財研究所長)	県立博物館	58

■やまなし再発見講座・かいじあむ講座 (山梨県生涯学習推進センターと共催)

◎「水王国山梨の歴史」

開催年月日	講 演 者	タ イ ト ル	開催場所	参加者 (人)
平成26年12月17日 (水)	海老沼真治 (当館学芸員)	「川をめぐる生業と歴史」	山梨県生涯学習推進センター	74

◎「やまなしの祭りと伝統芸能」

開催年月日	講 演 者	タ イ ト ル	開催場所	参加者 (人)
平成27年3月18日 (水)	丸尾依子 (当館学芸員)	「下福沢の七福神 一祭りを担う青年」	山梨県生涯学習推進センター	47
3月20日 (金)	丸尾依子 (当館学芸員)	「一之瀬高橋の春駒 一過疎集落の民俗芸能を継承する」	山梨県生涯学習推進センター	48
講演会・講座・シンポジウム等参加者数合計				1,260

②体験プログラム

日 時	内 容	開催場所	参加者 (人)
平成26年4月19日 (土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7
5月17日 (土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7
6月21日 (土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	20
7月19日 (土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	6
8月16日 (土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	8
9月20日 (土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	8
10月18日 (土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	5
11月15日 (土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7
12月20日 (土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	5
平成27年1月17日 (土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	10
2月21日 (土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	8
3月21日 (土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	13
平成26年4月12日 (土)	かいじあむ子ども工房「マンガ家になろう！」	県立博物館	51
5月10日 (土)	かいじあむ子ども工房「マンガ家になろう！」	県立博物館	50
6月14日 (土)	かいじあむ子ども工房「立体浮世絵を作ろう」	県立博物館	23
6月22日 (土)	かいじあむ子ども工房「立体浮世絵を摺ってみよう」	県立博物館	39
7月12日 (土)	かいじあむ子ども工房「鳴くセミを作ろう」	県立博物館	20
8月9日 (土)	かいじあむ子ども工房「紙コップでお化けを作ろう」	県立博物館	102
9月13日 (土)	かいじあむ子ども工房「紙とんぼを作ろう」	県立博物館	11
10月11日 (土)	かいじあむ子ども工房「ペーパークラフトで馬を作ろう」	県立博物館	11
10月11日 (土)	かいじあむ子ども工房「土馬を作ろう」	県立博物館	14
11月8日 (土)	かいじあむ子ども工房「ころ柿を作ろう」	県立博物館	27
11月8日 (土)	かいじあむ子ども工房「土馬を作ろう」	県立博物館	30

平成27年1月10日(土)	かいじあむ子ども工房「甲州弁かるた大会」	県立博物館	20
2月14日(土)	かいじあむ子ども工房「立体浮世絵を作ろう」	県立博物館	26
3月14日(土)	かいじあむ子ども工房「けん玉名人に挑戦！」	県立博物館	32
平成26年5月4日 (日・祝)	かいじあむ子ども祭り(鎧・十二単衣・紙かぶと・缶バッジ)	県立博物館	228
5月5日 (月・祝)	かいじあむ子ども祭り(鎧・十二単衣・紙かぶと・缶バッジ・草餅)	県立博物館	460
5月11日(日)	アニメ上映会「鉄腕アトム・リボンの騎士」	県立博物館	61
8月3日(日)	人形芝居上演「吉窪美人鏡」(笹子迫分人形芝居保存会：大月市)	県立博物館	300
8月9日(木)	怪談：三遊亭門朝作「豊志賀」五街道雲助師匠	県立博物館	160
8月14日(木)	かいじあむの夏祭り(水鉄砲・うちわ・折り紙・すいとん・スーパーボール)	県立博物館	571
8月15日(金)	かいじあむの夏祭り(水鉄砲・うちわ・折り紙・ヨーヨー・寺子屋ひろば)	県立博物館	515
9月6日(土)	妖怪ウォッチ「ジパニャンと握手&撮影会」	県立博物館	600
10月18日(土)	「木曾馬」に乗ってみよう	県立博物館	51
11月1日(土)	「木曾馬」に乗ってみよう	県立博物館	75
11月20日(木)	かいじあむの秋祭り(切り紙、紙芝居、方言カルタ、ウォークラリー、鎧、単衣、折り紙、芋煮、収穫祭)	県立博物館	462
11月24日(月)	「木曾馬」に乗ってみよう	県立博物館	114
平成27年1月2日(金)	かいじあむのお正月(おみくじ、福引き、書き初め、凧作り)	県立博物館	343
1月3日(土)	かいじあむのお正月(おみくじ、福引き、書き初め、餅つき、凧作り)	県立博物館	590
2月22日(日)	立体しおりを作ろう！	県立博物館	81
3月7日(土)	立体しおりを作ろう！	県立博物館	116
体験プログラム参加者数合計			5,287

### ③その他

展示交流員が毎週土曜日に常設展示の見どころを案内する「常設展スルーガイド」や、企画展・シンボル展の開催期間中には「ガイドツアー」、毎週日曜日に体験型展示を案内する「あそぼう！まなぼう！寺子屋広場」を定期的実施した。

## (2) 博学連携

### ①かいじあむティーチャーズクラブ

#### i 会員の状況

学校の先生方にティーチャーズクラブを知ってもらうために、各種研究会・研修会に赴き加入依頼を行った。前年度実績2,961名からさらに増加した。また、平成26年度教職員による視察件数は1,382件である。(平成27年3月末日現在)

#### ii 会員数

校 種	会員数(人)
小学校	1,184
中学校	550
高等学校	1,095
教育庁	97
総合教育センター	68
市町村他	24
総計	3,018

iii 活動実績

- ・平成26年6月11日(水) 第1回研究会 実践研究の進め方の提案等
- ・ 8月7日(木) 夏季研修会 博物館研修(見学など)
- ・ 8月21日(木) 夏季研修会 博学連携ワークショップ等
- ・平成27年2月13日(金) 第2回研究会 実践発表
- ・ 3月23日(月) 『博物館活用事例集⑩』発行

②授業の一環としての博物館利用

	来館日時	学校名	人数(人)			来館日時	学校名	人数(人)	
			児童・生徒	引率				児童・生徒	引率
1	4月16日(水)	白根御勅使中学校(班)	16	0	52	7月28日(月)	山梨学院大学附属小学校	58	2
2	4月18日(金)	青森山田高校	22	3	53	7月30日(水)	山梨学院大学附属小学校	37	2
3	4月18日(金)	玉幡中学校(班)	3	0	54	8月1日(金)	甲斐市西児童館	28	3
4	4月23日(水)	青森山田高校	28	3	55	8月6日(水)	大月東中学校	16	2
5	4月25日(金)	中央児童相談所	15	7	56	8月16日(土)	春日居中美術部	8	2
6	5月8日(木)	笛川中学校	51	6	57	8月30日(土)	目黒区駒場小学校	62	9
7	5月8日(木)	玉徳南小学校	64	4	58	9月3日(水)	石田小学校	58	4
8	5月9日(金)	青森山田高校	28	3	59	9月5日(金)	伊勢小学校	61	4
9	5月9日(金)	谷村第一小学校	68	5	60	9月5日(金)	貢川小学校	68	4
10	5月10日(土)	下部中学校	20	8	61	9月5日(金)	里垣小学校	46	4
11	5月14日(水)	田富中学校(班)	4	0	62	9月8日(月)	長野県富士見高等学校	31	2
12	5月14日(水)	玉穂中学校(班)	3	0	63	9月10日(水)	塩山高校	182	8
13	5月14日(水)	白根巨摩中学校	37	2	64	9月12日(金)	富士見支援学校	5	5
14	5月14日(水)	帝京八王子中学校	32	4	65	9月12日(金)	朝日小学校	38	2
15	5月14日(水)	勝山小学校	31	2	66	9月26日(金)	大嵐小学校	27	6
16	5月14日(水)	小立小学校	59	4	67	10月1日(水)	西原小学校	5	3
17	5月15日(木)	甲斐清和高校	40	2	68	10月1日(水)	鳴沢小学校	19	3
18	5月15日(木)	都留第一中学校	92	6	69	10月2日(木)	旭小学校	20	2
19	5月15日(木)	韭崎中学校(班)	6	0	70	10月3日(金)	小菅小学校	8	4
20	5月15日(木)	韭崎東中学校(班)	6	1	71	10月8日(水)	都留こすもす教室	8	3
21	5月16日(木)	大月東中学校	98	9	72	10月8日(水)	相川小学校	61	3
22	5月16日(金)	櫛形中学校(班)	3	0	73	10月8日(水)	朝日小学校	32	3
23	5月16日(金)	都留市宝小学校	28	3	74	10月8日(水)	原小・西島小	19	4
24	5月17日(土)	都留第二中学校(班)	10	0	75	10月8日(水)	山中小学校	38	3
25	5月17日(土)	小淵沢中学校	53	7	76	10月9日(木)	塩山南小学校	63	4
26	5月19日(月)	青森山田高校	25	3	77	10月9日(木)	八田小学校	79	5
27	5月21日(水)	秋山中学校	9	3	78	10月10日(金)	市川小学校	53	5
28	5月22日(木)	双葉中学校(班)	8	0	79	10月10日(金)	湯田小学校	25	3
29	5月23日(金)	甲府城西高	140	8	80	10月10日(金)	明見小学校	63	4
30	5月23日(金)	敷島中学校(班)	16	1	81	10月15日(水)	六郷小学校	46	5
31	5月23日(金)	敷島中学校(班)	16	1	82	10月15日(水)	鳥沢小学校	24	3
32	5月23日(金)	明見中学校	16	1	83	10月15日(水)	池田小学校	100	6
33	5月28日(水)	笛吹高校	290	16	84	10月15日(水)	大里小学校	105	6
34	5月28日(水)	山中湖中学校	43	6	85	10月16日(木)	強瀬小学校	6	2
35	5月29日(木)	押原中学校(班)	29	0	86	10月16日(木)	山城小学校	174	7
36	5月29日(木)	芦安中学校	1	0	87	10月17日(金)	敷島北小学校	51	4
37	5月29日(木)	甲西中学校(班)	23	0	88	10月17日(金)	増穂小学校	79	5
38	5月29日(木)	忍野小学校	73	4	89	10月17日(金)	八幡小学校	55	6
39	5月30日(金)	目黒区緑ヶ丘小学校	41	8	90	10月17日(金)	山梨小学校	76	7
40	6月4日(水)	白州中学校	19	4	91	10月20日(月)	新紺屋小学校	28	3
41	6月11日(水)	目黒区中央中学校	205	24	92	10月22日(水)	押原中学校	8	3
42	6月14日(土)	山梨大学	81	1	93	10月23日(木)	田富北小学校	48	3
43	6月18日(水)	西桂中学校	15	1	94	10月23日(木)	下山小学校	5	2
44	6月20日(金)	鰍沢小学校	28	2	95	10月24日(金)	上条中学校	119	8
45	6月21日(土)	山梨県立大学	57	1	96	10月27日(月)	富士見小学校	52	3
46	6月25日(水)	尾久西小学校	87	9	97	10月31日(金)	竜王西小学校	56	4
47	6月27日(金)	台東区柏葉中学校	27	12	98	10月31日(金)	国母小学校	83	6
48	7月5日(土)	健康科学大学	40	1	99	10月31日(金)	舞鶴小学校	63	4
49	7月10日(木)	敷島小学校	71	3	100	10月31日(金)	韭崎北東小学校	77	5
50	7月18日(金)	成立学園中学校	31	7	101	11月5日(水)	西条小学校	85	6
51	7月25日(金)	千塚小寺子屋	10		102	11月5日(水)	日川小学校	32	2



	来館日時	学校名	人数(人)			来館日時	学校名	人数(人)	
			児童・生徒	引率				児童・生徒	引率
103	11月6日(木)	駿台甲府小学校	61	4	115	12月17日(水)	南アルプス子どもの村小学校	23	2
104	11月12日(水)	山梨高校	190	11	116	12月18日(木)	須玉小学校	46	3
105	11月13日(木)	泉小学校	51	3	117	1月16日(金)	中央児童相談所	7	4
106	11月13日(木)	大河内小学校	11	2	118	1月19日(月)	わかば支援学校	17	5
107	11月14日(金)	竜王南小学校	70	3	119	1月28日(水)	甲府市立南中学校	6	3
108	11月14日(金)	白州小学校	22	3	120	1月29日(木)	高根東小学校	33	2
109	11月19日(水)	上野小学校	23	2	121	1月29日(木)	春日居小学校	52	3
110	11月19日(水)	大月東小学校	46	5	122	2月9日(月)	一宮西小学校	60	4
111	11月19日(水)	南湖小学校	41	3	123	2月19日(木)	石和東小学校	29	3
112	11月27日(木)	一宮北小学校	14	2	124	2月23日(月)	鯉沢小学校	17	2
113	12月5日(金)	韮崎高校(定時制)	64	7	125	2月26日(木)	双葉西小学校	4	2
114	12月12日(金)	高根東小学校	27	2	126	2月26日(木)	高根西小学校	35	2
小 計								5757	485
総 計								6242	

③出前授業

■出前授業実施一覧

No.	実施日	主催	学校・団体名(会場)	内 容	担当職員	人数
1	平成26年4月16日(水)	笛吹市立御坂東小学校	笛吹市立御坂東小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	古屋 和彦 天野 研	15
2	4月17日(木)	笛吹市立石和東小学校	笛吹市立石和東小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	古屋 和彦	35
	4月24日(木)	甲斐市立敷島小学校	甲斐市立敷島小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	古屋 和彦	70
4	4月28日(月)	大月市立鳥沢小学校	大月市立鳥沢小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	古屋 和彦 天野 研	18
5	5月12日(月)	笛吹市立石和西小学校	笛吹市立石和西小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	古屋 和彦 天野 研	59
6	5月14日(水)	ことぶき勤学院中北教室	山梨県立博物館	「馬の考古学」	植月 学	33
7	5月21日(水)	山梨県立笛吹高等学校	山梨県立笛吹高等学校	「山梨県立博物館(概要)」	古屋 和彦 天野 研	290
8	5月22日(木)	甲斐市立双葉西小学校	甲斐市立双葉西小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	古屋 和彦 天野 研	57
9	5月31日(土)	甲府市教育委員会	甲府市役所6階研修室	第8回甲府歴史学講座「山本勘助の実像を探る」	海老沼真治	237
10	5月31日(土)	山梨県立大学	山梨県立大学	山梨の政策課題「甲府の食文化」	植月 学	37
11	6月2日(月)	山梨市立三富小学校	山梨市立三富小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	古屋 和彦	7
12	6月5日(木)	大学コンソーシアムやまなし	健康科学大学	山梨の歴史「やまなしの祭り」	丸尾 依子	50
13	6月7日(土)	甲斐市教育委員会	甲斐市竜王北部公民館	甲斐市歴史講座第1回「古文書講座入門編」	中野 賢治	24
14	6月14日(土)	山梨大学教育人間科学部生涯学習課程	山梨県立博物館 体験学習室	文化施設実地研修	海老沼真治	10
15	6月15日(日)	福光園寺	福光園寺	第1回福光園寺シンポジウム	植月 学	30
16	6月18日(水)	笛吹市立春日居小学校	笛吹市立春日居小学校	明治40年の水害	小畑 茂雄	55
17	6月21日(土)	甲斐市教育委員会	甲斐市竜王北部公民館	甲斐市歴史講座第2回「古文書講座入門編」	中野 賢治	24
18	6月23日(月)	富士河口湖町立河口小学校	富士河口湖町立河口小学校	富士山の文化	松田美沙子 古屋 和彦	21
19	6月25日(水)	ことぶき勤学院映南教室	総合教育センター	「広重の不二三十六景」	松田美沙子	37
20	6月29日(日)	山梨県立大学	山梨県立博物館体験学習室ほか	「日本の歴史1」	海老沼真治	18
21	6月30日(月)	山梨学院大学	山梨学院大学	「やまなし観光カレッジ」	植月 学	200
22	7月3日(木)	笛吹市立石和南小学校	笛吹市立石和南小学校	「幽霊・妖怪画」	高野 玄明 丸尾 依子 古屋 和彦 中野 賢治	54
23	7月4日(金)	富士川町立増穂小学校	富士川町立増穂小学校	「富士川舟運」	古屋 和彦	101
24	7月7日(月)	山梨市立牧丘第三小学校	山梨市立牧丘第三小学校	「昔の生活を学ぼう」	古屋 和彦 天野 研	19
25	7月12日(土)	山梨文化学園	山梨文化学園	歴史文化教室「武田信玄と食」	植月 学	30
26	7月17日(木)	笛吹市立石和西小学校	笛吹市立石和西小学校	「山梨の戦争」	古屋 和彦 天野 研	59
27	8月6日(水)	北杜市教育委員会	北杜市郷土資料館	「古文書講座」	海老沼真治	30
28	8月20日(水)	山梨県立図書館	山梨県立図書館	「夏休み自由研修・工作お助け教室」	中野 賢治	13
29	8月21日(木)	山梨県立図書館	山梨県立図書館	「夏休み自由研修・工作お助け教室」	海老沼真治	13
30	8月27日(水)	北杜市教育委員会	北杜市郷土資料館	「古文書講座」	海老沼真治	30
31	9月3日(水)	ことぶき勤学院(映東)	山梨県立博物館	「甲斐の木喰」	近藤 暁子	13
32	9月4日(木)	甲州市立塩山南小学校	甲州市立塩山南小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	古屋 和彦	79
33	9月12日(木)	富士河口湖町立西浜小学校	富士河口湖町立西浜小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	古屋 和彦	5
34	10月4日(土)	飯山市	飯山市民会館	飯山城築城450年記念 飯山城シンポジウム 「御館の乱・甲越同盟と武田氏の飯山支配」	海老沼真治	210

第Ⅱ編 事業・諸活動

35	10月9日(木)	大学コンソーシアム山梨	山梨英和大学	大学コンソーシアム山梨連携講座「山梨の地誌・歴史」 「山梨の道祖神について」	丸尾 依子	40
36	10月22日(水)	山梨県立山梨高等学校	山梨県立山梨高等学校	博物館見学事前学習	古屋 和彦 天野 研	200
37	10月27日(月)	南アルプス市立芦安中学校	南アルプス市立芦安中学校	県内巡り	古屋 和彦	8
38	10月27日(月)	笛吹市富士見小学校	山梨県立博物館	明治40年の水害	小畑 茂雄 天野 研	52
39	10月27日(月)	山梨県立甲府東高等学校	山梨県立甲府東高等学校	第38回創立記念日講演会「世界文化遺産富士山登録の歩み」	森原 明廣	850
40	10月29日(水)	山梨県立韮崎高等学校	山梨県立韮崎高等学校	浮世絵	松田美沙子	25
41	11月3日(月)	第11回富士河口湖町文化祭実行委員会	富士河口湖町 藤山ふれあいセンター(さくやホール)	第11回富士河口湖町文化祭記念講演会「世界遺産「富士山」の文化的価値と将来への展望」	森原 明廣	80
42	11月5日(水)	ことぶき勸学院(中北教室)	山梨県立博物館	「人と馬の歴史」	植月 学	52
43	11月10日(月)	山梨県立かえで支援学校	山梨県立かえで支援学校	「山梨の戦争」	古屋 和彦 天野 研	17
44	11月12日(水)	笛吹市立御坂東小学校	笛吹市立御坂東小学校	「昔の道具体験」	古屋 和彦 丸尾 依子 天野 研	28
45	11月12日(水)	ことぶき勸学院(南北都留教室)	山梨県立博物館	江戸時代における甲信地域の馬と人	中野 賢治	41
46	11月21日(金)	笛吹市立石和北小学校	笛吹市立石和北小学校	信玄堤	古屋 和彦 天野 研	34
47	11月21日(金)	山梨県総合教育センター	山梨県立博物館	初任者研修会「博学連携」	古屋 和彦 天野 研	34
48	12月17日(水)	山梨県生涯学習推進センター	山梨県生涯学習推進センター	山梨学講座「水王国やまなしの歴史」第2回「川をめぐる生業と歴史」	海老沼真治	74
49	平成27年1月6日(火)	山梨県教育委員会	山梨県総合教育センター	「山梨県立博物館の活用法」	古屋 和彦 天野 研	99
50	1月18日(土)	甲府城下町を語る会	びゅあ総合	考古学から見た「甲斐の馬」	植月 学	50
51	2月2日(月)	笛吹市立境川小学校	笛吹市立境川小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	古屋 和彦 天野 研	39
52	2月4日(水)	甲府市立羽黒小学校	甲府市立羽黒小学校	「昔の道具体験」	古屋 和彦 丸尾 依子 天野 研	71
53	2月6日(金)	甲州市立井尻小学校	甲州市立井尻小学校	「信玄堤」	古屋 和彦 天野 研	22
54	2月7日(土)	大野山福光園寺・福光音寺歴史シンポジウム実行委員会	大野山福光園寺	歴史シンポジウム 古代甲斐と官道—東海道「甲斐路」をめぐって 「古代・中世「御坂路」の展開」	海老沼真治	44
55	2月9日(月)	笛吹市立一宮西小学校	山梨県立博物館	「昔、山梨でも戦争があった」	古屋 和彦	60
56	2月12日(木)	笛吹市立八代小学校	笛吹市立八代小学校	「昔の道具体験」	古屋 和彦 天野 研	67
57	2月12日(木)	山梨県タクシー協会 山梨県観光推進機構	山梨県立博物館	「山梨県おもてなしタクシードライバー養成講座」 「山梨の基礎情報」	高野 玄明	31
58	2月16日(月)	大月市立大月西小学校	大月市立大月西小学校	「信玄堤」	古屋 和彦 天野 研	14
59	2月18日(水)	甲州市立井尻小学校	甲州市立井尻小学校	「昔の道具体験」	古屋 和彦 丸尾 依子 天野 研	20
60	2月18日(水)	山梨県立日下部小学校	山梨県立日下部小学校	「昔の道具体験」	天野 研	61
61	2月18日(水)	山梨県タクシー協会 山梨県観光推進機構	山梨県立博物館	「山梨県おもてなしタクシードライバー養成講座」 「峡中・峡東」	古屋 和彦	20
62	2月19日(木)	甲州市立大和小学校	甲州市立大和小学校	「昔の道具体験」	古屋 和彦 天野 研	20
63	2月19日(木)	笛吹市立石和東小学校	山梨県立博物館	「昔の道具体験」	古屋 和彦 天野 研	30
64	2月19日(木)	山梨県タクシー協会 山梨県観光推進機構	山梨県立博物館	「山梨県おもてなしタクシードライバー養成講座」 「富士東部・峡北」	高野 玄明	11
65	2月21日(土)	笛吹市教育委員会	笛吹市立春日居郷土館	富士山の日記念講演会「富士山の信仰と歴史文化—世界遺産としての価値と今後の課題—」	森原 明廣	40
66	2月25日(水)	笛吹市立一宮西小学校	笛吹市立一宮西小学校	「昔の道具体験」	古屋 和彦 丸尾 依子 天野 研	60
67	2月27日(金)	甲府市立舞鶴小学校	甲府市立舞鶴小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	古屋 和彦 天野 研	50
68	3月4日(水)	山梨大学附属小学校	山梨大学附属小学校	「昔の道具体験」	古屋 和彦 丸尾 依子 天野 研	95
69	3月12日(木)	笛吹市立石和西小学校	笛吹市立石和西小学校	「昔の道具体験」	古屋 和彦 天野 研	64
70	3月12日(木)	笛吹市立一宮南小学校	笛吹市立一宮南小学校	「昔の道具体験」	古屋 和彦 天野 研	22
71	3月13日(金)	山梨県立加納岩小学校	山梨県立加納岩小学校	「昔の道具体験」	古屋 和彦 天野 研	69
71	3月18日(水)	山梨県生涯学習推進センター	山梨県生涯学習推進センター	山梨学講座「やまなしの祭り」と伝統芸能「下福沢の七福神—祭りを担う青年—」	丸尾 依子	47
73	3月20日(水)	山梨県生涯学習推進センター	山梨県生涯学習推進センター	山梨学講座「やまなしの祭り」と伝統芸能「一之瀬高橋の春駒—過疎集落の民俗芸能を継承する—」	丸尾 依子	48
74	3月23日(月)	甲府市立国母小学校	甲府市立国母小学校	「昔の道具体験」	古屋 和彦 丸尾 依子 天野 研	68
75						

総 計 4,740

## ④職場体験

## ■職場体験実施一覧

実 施 日	学 校 名	学 年	人数(人)
平成26年7月9日(水)～7月11日(金)	甲斐市立双葉中学校	2	2
平成26年7月26日(土)～7月27日(日)	山梨県立山梨高等学校	2	3
平成26年7月31日(木)～8月1日(金)	甲府市立北中学校	2	2
平成26年8月4日(月)・6日(水)	笛吹市立一宮中学校	2	2
平成26年8月6日(水)～8月7日(木)	笛吹市立浅川中学校	2	1
平成26年8月6日(水)～8月7日(木)	笛吹市立春日居中学校	2	1
平成26年8月8日(金)	山梨県立甲府西高等学校	2	5
平成26年8月18日(月)	富士河口湖町立西浜中学校	2	1
平成26年8月22日(金)	甲府市立西中学校	2	3
平成26年8月25日(月)	山梨市立山梨南中学校	2	2
平成26年11月13日(水)～11月14日(木)	笛吹市立石和中学校	2	4
平成26年11月26日(水)～11月27日(木)	山梨県立笛吹高等学校	1	5
小	計(中学校)		18
小	計(高等学校)		13
小	計(大学)		0
総	計		31

## ⑤「未来の山梨を描こう!募集

	応募学校数(校)	応募人数(人)
小学校	28	80
中学校	3	5
合 計	31	85

## ⑥子ども学芸員事業

「子ども学芸員事業」は、平成21年12月より試行が行われ、平成22年度より本格的に実施している。学校団体見学等での来館、または出前授業を受講の後、学習成果としてのレポートを提出すると、「子ども学芸員」に認定するという制度である。「子ども学芸員」には家族招待状を渡し、博物館の利用促進を図り、山梨の歴史や文化に対する興味や関心を高めてもらう。平成26年度は1,360名を認定し、現在までのところ、6,196人が初級に認定されている。

番号	年 月 日	学 校 名	学年	人数	常設展	企画展	備 考
1	平成26年 5月16日	都留市立宝小学校	3, 4	28	○	○	グループ・学芸委員へのインタビュー
2	5月23日	富士吉田市立明見中学校	2	7	○	○	
3	5月28日	山中湖村立山中湖中学校	2	43	○		
4	5月28日	山梨県立笛吹高等学校	1	290	○		出前授業
5	10月10日	富士吉田市立明見小学校	3	63	○		
6	10月15日	甲府市立大里小学校	3	102	○	○	
7	10月17日	富士川町立増穂小学校	4	79	○		
8	10月23日	身延町立下山小学校	4	5	○		
9	10月31日	甲府市立舞鶴小学校	4	63	○	○	
10	平成27年 1月22日	ふるさと山梨郷土学習コンクール		12			
11	1月29日	笛吹市立春日居小学校	3	52	○		
12	2月 4日	甲府市立羽黒小学校	3	71			出前授業
13	2月 6日	甲府市立井尻小学校	4	22			出前授業
14	2月12日	笛吹市立八代小学校	3	67			出前授業
15	2月16日	大月市立大月西小学校	4	14			出前授業
16	2月18日	甲府市立井尻小学校	3	20			出前授業
17	2月19日	甲州市立大和小学校	3, 4	19			出前授業
18	2月26日	北杜市立高根西小学校	6	35	○		シンボル展
19	2月27日	甲府市立舞鶴小学校	5	50			出前授業
20	3月 4日	山梨大学教育人間科学部付属小学校	3	95			出前授業
21	3月12日	笛吹市立石和西小学校	3	64			出前授業
22	3月12日	笛吹市立一宮南小学校	3	22			出前授業
23	3月13日	山梨市立加納岩小学校	3	69			出前授業
24	3月23日	甲府市立国母小学校	3	68			出前授業
認 定 数				1,360			

※ふるさと山梨郷土学習コンクールの優秀作品を平成27年2月7日から3月9日まで、当館ロビーに展示した。

## ⑦大学教育との連携

## i 学芸員実習

【期 間】平成26年8月11日（月）から同年8月22日（金）まで（計10日間）

【受け入れ人数】14人（男6人、女8人）

【実習生所属大学】

- ・山梨県内 都留文科大学 3人 山梨英和大学 1人
- ・山梨県外 東海大学 2人 神奈川大学・京都女子大学・駒澤大学・創価大学・大東文化大学  
・多摩美術大学・帝京大学・立正大学 各1人

【主な実習内容】

- ・県立博物館の概要と役割などについての概説と施設見学
- ・学芸員が行う調査・研究、展示、資料保存など各業務についての分野別講義及び実習
- ・企画交流事業について講義及び実習
- ・県立博物館との意見交換

## ii 大学非常勤講師の受託

担当職員	大学名（科目名）	期 間
植月 学	都留文科大学（博物館資料論）	平成26年10月1日（水）から平成27年3月31日（火）まで
海老沼真治	山梨県立大学（日本の歴史I）	平成26年4月1日（火）から平成26年9月30日（火）まで
海老沼真治	身延山大学（博物館情報・メディア論、博物館経営論）	平成26年10月1日（水）から平成27年3月31日（火）まで

## ⑧発行物

名 称	発 刊 日	体 裁
『博物館活用事例集⑩ 山梨県立博物館の活用～使い方いろいろ～』	平成27年3月23日	簡易印刷

## (3) 博物館同士のネットワーク

## ①ミュージアム甲斐・ネットワーク

## i ミュージアム甲斐・ネットワーク会議

## ■平成26年度第1回会議

日時：平成27年3月16日（月）

場所：生涯学習室

内容：平成26年度の活動報告

平成27年度の活動計画案とスケジュールの確認

夏休み自由研究プロジェクトの開催について

ミュージアム甲斐・ネットワーク名簿の更新について

報告「文化財防災の最前線」

## ■博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト

【合同プレゼンテーション】

日時：平成26年7月21日（月・祝）

場所：アイメッセ山梨

参加者数：808名

参加館数：19館

【ミニブック配布】

参加館数：34館

#### (4) 広 報

年4回の「かいじあむ通信 K a i (交い)」の発行や、常設展チラシ・ポスター・パンフレット、企画展・シンボル展のチラシ・ポスター、博物館通信「e-かいじあむ」、県政たより「ふれあい」、県教育委員会広報誌「e教育やまなし」、県政テレビ放送、県政ラジオ放送等の各種媒体を用いて広報に努めてきた。

今後も広報活動の充実に努め、県立博物館のPRを積極的に実施する。

#### ■各種だより、リーフレット類一覧

上述のとおり、広報には各種媒体を用いてきたが、多岐にわたるため、紙媒体で県立博物館が主体となって作成したものを中心に掲載する。

誌 名	発行年月日
かいじあむ通信 K a i (交い) 第34号	平成26年 6 月 1 日
かいじあむ通信 K a i (交い) 夏休み特別号	平成26年 6 月22日
かいじあむ通信 K a i (交い) 第35号	平成26年 9 月 1 日
かいじあむ通信 K a i (交い) 第36号	平成26年12月 1 日
かいじあむ通信 K a i (交い) 第37号	平成27年 3 月 1 日

## 第6章 施設の整備・管理

### (1) 安全快適な施設づくり

県立博物館では、山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、安全かつ快適な施設の整備・管理に努めている。

#### ■防災訓練等非常時における対応訓練の実施

県立博物館では、来館者の安全を守るための避難誘導や初期消火等を円滑に進めることを目的に、職員を対象に訓練を実施している。

#### ・防災訓練

回数	開催日	内容
第1回	平成26年9月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災を想定した常設展示室からの総合防災訓練</li> <li>・避難経路・消防設備等の確認</li> <li>・消火器による消火訓練</li> <li>・燻煙装置による避難体験</li> </ul>

### (2) 施設開放

県立博物館は開かれた博物館を目指し、施設の一部を一般に開放している。その利用状況は次のとおりである。

年月	生涯学習室		交流室	
	利用人数 人	利用金額 円	利用人数 人	利用金額 円
平成26年4月	3	4,180	0	0
5月	166	20,280	0	220
6月	387	23,680	12	1,980
7月	202	29,560	0	0
8月	51	8,500	0	0
9月	160	10,980	2	770
10月	306	36,660	0	2,090
11月	253	12,300	9	1,430
12月	246	12,580	7	0
平成27年1月	127	10,700	0	0
2月	121	15,640	0	0
3月	290	17,940	10	330
計	2,312	203,000	40	6,820

## 第7章 情報の発信と公開

### (1) 資料閲覧室の利用状況

資料閲覧室は、博物館展示をとおして利用者が持った歴史等に対する探求心や日常の学習意欲に応えるための資料・情報を提供するとともに、研究者、学芸員等の調査研究に必要な文献を的確に収集、整備し、その研究活動を支援する役割を担う。

#### ■利用時間

午前9時00分から午後5時まで  
(書庫内資料の請求、複写申込は午後4時30分まで)  
(即日閲覧資料の請求は、午後3時まで)  
入室は無料

#### ■資料検索

資料閲覧室内の利用者端末(2台)により収蔵資料、図書・雑誌等の書誌情報の検索が可能となっている。フリーワード検索では、資料名、作者名、発行者名などの一部からも検索ができる。

ホームページの収蔵資料案内からも同様に検索が行える。

#### ■資料閲覧

- ・ 図書、雑誌は来館者が自由に閲覧できる。室内には各分野の辞典類や歴史に関する書籍、郷土研究についての資料、『山梨県史』や県内の市町村史誌類、逐次刊行物など約2,500冊が配架されている。書庫内の図書資料も職員に請求することにより、閲覧が可能である。
- ・ 歴史資料等のうち「甲州文庫」の画像データは資料閲覧室内の端末で閲覧できる。
- ・ 収蔵資料のうち、即日閲覧対象資料(古文書・古記録・版木等)、「甲州文庫」及び古文書のデジタル・マイクロフィルムは即日閲覧可能である。
- ・ 即日閲覧対象外の原資料については、「歴史資料等閲覧申請書」により事前に申し込み、博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で閲覧する。

#### ■資料撮影

原資料についての撮影は、「歴史資料等撮影申請書」により事前に申し込み、許可された場合は、「歴史資料等撮影決定通知書」に従い、博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で行う。

#### ■レファレンスサービス

質問や調査事項に応じて、参考資料や文献を紹介し、利用者の調査・研究活動の援助を行っている。専門的な質問については、必要に応じて学芸員が調査・研究の成果に基づき回答している。

#### ■コピーサービス(有料)

著作権法に基づき、博物館所蔵の図書・雑誌等の活字資料、「甲州文庫」等のマイクロ・デジタル化資料の複写サービスを行っている。

#### ■展示関連資料紹介

当館で開催する企画展・シンボル展への関心や理解を更に深めてもらうために、期間中資料閲覧室内に関連資料の紹介コーナーを設けている。

#### ■キッズライブラリー

山梨発見エリア内のキッズライブラリーには、小・中学生向けの歴史の調べ方や自然観察の本、幼児のための絵本などを揃えている。

#### ■ビデオライブラリー

山梨発見エリア内のビデオブース(3台)では、歴史・文化財に関するビデオ・DVDなどを視聴することができる。



## ■平成26年度資料閲覧室利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
入室者	365人	519人	253人	467人	856人	219人	178人	242人	74人	123人	135人	178人	3,609人	
ビデオ利用	63件	93件	81件	132件	294件	70件	69件	65件	17件	34件	39件	51件	1,008件	
レファレンス	レファレンス	10件	37件	14件	19件	28件	19件	30件	26件	9件	17件	12件	244件	
	利用相談	28件	17件	31件	35件	41件	18件	20件	35件	14件	21件	36件	310件	
	小計	38件	54件	45件	54件	69件	37件	50件	61件	23件	38件	48件	554件	
複写	件数	33件	37件	32件	38件	36件	24件	29件	38件	14件	33件	23件	359件	
	電子式	887枚	739枚	559枚	621枚	1,517枚	363枚	353枚	409枚	231枚	618枚	520枚	214枚	7,031枚
	マイクロ、デジタル	1,160枚	629枚	368枚	624枚	502枚	571枚	906枚	476枚	544枚	480枚	669枚	185枚	7,114枚
	小計	2,047枚	1,368枚	927枚	1,245枚	2,019枚	934枚	1,259枚	885枚	775枚	1,098枚	1,189枚	399枚	14,145枚
キッズライブラリー利用	367人	539人	222人	811人	1,701人	374人	146人	229人	53人	160人	181人	190人	4,973人	



展示関連資料紹介「福岡市博物館所蔵 幽霊・妖怪画大全集」  
期間：平成26年7月19日(土)から9月8日(月)まで

## (2) 博物館総合情報システム

山梨県立博物館は、山梨の歴史や文化・産業など広範な分野にわたる膨大な資料情報を一元的に管理し、効率的な博物館運営を行うため、博物館総合情報システムを導入している。このシステムの活用によって広く館内外に情報発信を行い、県民の山梨の歴史に関する興味を喚起し、多くの人に親しまれる「開かれた博物館」が実現することを目的としている。平成23年度にシステムの更新を行い、平成24年3月1日に本稼働させた。

このシステムは、以下の3つのシステムから構成される。

## ■データベースシステム

博物館資料の管理システムとして、収蔵資料・図書資料等に関する各種情報を一元的に管理するためのシステムである。資料の受入情報から収蔵情報、付随する資料のメディアファイル類も、一元的に管理が可能となる。そして、データベースから常設展示情報端末への資料情報連携を行う展示システムも含まれる。

## ■利用者公開システム

データベースシステムで管理されている情報を、利用者の必要に応じて加工し、館内外で情報発信を行うシステムである。館内では、資料閲覧室における収蔵資料・図書情報検索や地域インデックスにおける各種県内情報等の発信がある。館外では、博物館ホームページにおける情報発信や、その中での収蔵資料・図書情報・レファレンスデータ検索がある。

## ■ネットワークシステム

情報処理室には各種サーバが設置され、そこを拠点に館内にはLANが張り巡らされている。そして、インターネットへは情報処理室から隣接する総合教育センターを経由して接続されている。館内におけるセキュリティは、山梨県情報セキュリティに準じている。

### (3) 博物館ホームページ

平成17年10月1日より現ホームページの公開を開始し、展示案内・イベント案内等を公開しているほか、随時ページの増設、更新を行っている。

#### 【ホームページの主な更新履歴】

平成26年6月25日 公式フェイスブック・ツイッターの運用を開始。

平成26年7月4日 アクセス数70万件を突破。

平成26年12月20日 アクセス数75万件を突破。

「収蔵資料案内」ページの更新：収蔵資料・図書・レファレンスの検索を行うことができるページを、随時更新している。

検索可能件数（平成27年3月現在）

- ・収蔵資料 84,484件
- ・図書類 42,338件
- ・レファレンス 442件

PC向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

携帯電話向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/mb>

公式フェイスブック：[kaiseum.ypm](https://www.facebook.com/kaiseum.ypm)

公式ツイッター：[kaiseum\\_ypm](https://twitter.com/kaiseum_ypm)



アクセス件数（アクセスカウンタによる数値）

年 月	件数/月	1日平均	昨年度件数
平成26年 4月	7,129	238	6,444
5月	8,632	278	7,464
6月	6,194	206	8,948
7月	9,586	309	11,179
8月	14,363	463	13,345
9月	5,949	198	5,637
10月	5,877	190	6,603
11月	6,128	204	6,641
12月	3,243	105	3,145
平成27年 1月	5,909	191	4,748
2月	5,362	192	3,252
3月	6,816	220	6,592
合 計	85,188	233	83,998
ソーシャルメディアフォロワー数		平成27年3月末日現在	
フェイスブック	113		
ツイッター	212		

## 第8章 県民参画

### (1) NPOとの連携

平成26年度、県立博物館では前年度に引き続き、NPO法人との協働による県民参画事業として、「かいじあむ検定」及び「通信簿ツアー」を実施した。

「かいじあむ検定」は、企画展・シンボル展の開催に合わせて実施し、クイズに答えながら展示の見どころを楽しんでいただくクイズラリー形式の事業が定着している。平成26年度は、「福岡市博物館所蔵 幽霊・妖怪画大全集」展及び「甲斐の黒駒」展に際し、展示をめぐるクイズラリーと組み合わせて、展示にゆかりのある地域を訪ねるツアーを実施し、県立博物館と県内各地の史跡や文化財とを結びつけることをめざした。

また、上記の企画展を広く紹介するため、山梨県立図書館及び甲府市立図書館の会場を使用して、展示内容をパネルで紹介するミニ展示を実施し、県立博物館への誘導を図った。

なお、「通信簿ツアー」の詳細は第I編第2章を参照されたい。

#### ① かいじあむ検定

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成26年8月13日(水)から 同年8月19日(火)まで	「福岡市博物館所蔵 幽霊・妖怪画大全集展」ミニ展示	山梨県立図書館	150
平成26年8月24日(日)	甲府の町の妖怪発見ツアー	県立博物館 JR甲府駅北口周辺	
平成26年10月21日(火)から 同年11月3日(月)まで	「甲斐の黒駒展」ミニ展示	甲府市立図書館	331
平成26年10月26日(土)・ 同年11月8日(土)	甲斐の黒駒ゆかりの地ツアー	県立博物館 甲州市勝沼町内	
参加者数合計			481

#### ②通信簿ツアー

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成26年8月17日(日)	通信簿ツアー	県立博物館	200
平成26年11月20日(木)	通信簿ツアー	県立博物館	164
参加者数合計			364

※委託先のNPOについては、平成26年6月20日(金)に県民参画(NPO委託)事業審査会を開催し、その結果、両事業ともNPO法人「つなぐ」に委託することとなった。



平成26年8月13日(水)～19日(火)実施の「福岡市博物館所蔵 幽霊・妖怪画大全集展」ミニ展示の様子。展示内容をクイズ形式で説明するパネルを設置し、ミニクイズブックを配布した。



平成26年10月26日(日)に実施した「甲斐の黒駒ゆかりの地ツアー」の様子。聖徳太子と甲斐の黒駒伝説にゆかりの深い万福寺ほか甲州市内の史跡や文化財を訪ねるツアーを行った。

## (2) 博物館協力会（ボランティア）との連携

当館におけるボランティア活動は、原則として山梨県立博物館協力会の協力員によるものである。会員数は若干の変動はあるが60名ほどであり、館の主催する様々な活動を支援してきた。

県立博物館協力会の主たる活動は次の通りである。

- ・来館者への展示ガイド、及び体験型展示の利用の補助。
- ・館蔵の図書、資料、写真などの整理。
- ・ミュージアムショップの運営。
- ・館が行うイベントなどの補助や島など野外施設の管理。
- ・広報物発送の補助
- ・協力会企画のイベントの実施

これまで会員数が70～80名で推移していたことを考えると、人数が減少傾向にあり、今後、会員増が大きな課題である。

### ■平成26年度の協力会の主な活動

平成26年6月1日（日）第1回 運営委員会

6月14日（土）協力会総会（平成25年度事業・決算の報告、26年度事業・予算の決定）

7月20日（日）第2回 運営委員会

9月23日（火・祝）第1回研修旅行（神奈川県方面・馬の博物館、相模国分寺跡等）

11月9日（日）第3回 運営委員会

平成27年3月25日（水） 協力会だより第6号発行

その他、常時実施したのは次の活動である。

- ・ショップ運営…ミュージアムショップ当番
- ・資料整理補助…「広瀬家資料」の資料専用封筒詰め、ナンバリング等の作業
- ・イベント補助…年4回のお祭りイベント、月1回の子ども工房、その他不定期イベントの補助
- ・お庭ガイド講師…毎月第3土曜日開催「ボランティアによるお庭の見どころガイド」の講師



平成26年5月4日（日・祝）「かいじあむの子ども祭り」へのイベント補助として、十二単体験の補助をしているところ。



平成26年9月23日（火・祝）に実施された第1回研修旅行で訪れた神奈川県・馬の博物館の玄関にての集合写真。

### (3) かいじあむ みんなの研究

県立博物館では、平成24年12月25日に策定した開館6周年年度目から10周年年度目までの評価制度において、新たに「県民参画による調査・研究が行われているか？」を評価項目に加えた。この実現のため、平成25年度から新規に実施した事業が「かいじあむ みんなの研究」(以下「みんなの研究」という)である。みんなの研究では、県民のみなさんが、学芸員の支援を受けながら、山梨の歴史や文化に関する調査や研究に自ら取り組み、その成果を県立博物館で発表することをめざしている。

研究テーマは、①「山梨の自然と人」という当館の基本テーマに合っていること、②実現性が高いこと、などの条件に合った応募テーマの中から、みんなで作る博物館協議会における審査を経て決定する。そして、決定したテーマの実施者は、担当学芸員のアドバイスを受けながら、2年間かけて研究成果をまとめる。

平成26年度は、前年度に研究テーマを募集して、応募のあった14件のテーマから選考し、3件の研究テーマを採用した。それぞれに支援を担当する学芸員を決め、8月に研究実施者と協議を行い、研究を開始していただいた。平成27年度までの2年間にわたって、調査・研究を実施していただく予定である。

#### 【研究テーマ】

- ①西郡三十三所観音霊場
- ②「甲斐国志」とその典拠の研究
- ③小沢一仙と武藤外記について

## 第9章 組織・人員

### (1) 職員の資質向上

#### ①職員参加研修一覧

氏名	研修名	主催	場所	期間	研修内容
海老沼真治	第9回 指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー	文化庁文化財部美術学芸課	東京国立博物館	平成26年7月7日(月)～11日(金)	文化財保護・収集・活用と取扱・修理等に関する専門的知識と技能の研修
松田美沙子	国宝修理装演師連盟 第20回 定期研修会	一般社団法人 国宝修理装演師連盟	京都府民総合交流プラザ京都テルサ	平成26年11月13日(木)	文化財の保存修理に関する専門的知識の研修
森原 明廣	平成26年度博物館学芸員専門講座	文部科学省	国立教育政策研究所	平成26年12月10日(水)～12日(金)	学芸員として必要な高度かつ専門的な知識と技能の研修
中野 賢治	第1回 文化財防災ネットワーク研修	国立文化財機構	奈良文化財研究所	平成27年3月3日(火)～5日(木)	文化財防災ネットワーク事業および被災文化財レスキュー活動等についての講義と実習

#### ②展示交流員研修一覧

日時	内容
4月中	新任交流員に対し博物館業務の研修を随時実施
平成26年9月19日（金）	①自衛防災訓練を行い、安全・安心の確保に努めるなど 幅広い研修を実施 ②常設展スルーガイドの仕方研修を実施

### (2) 第三者委員会

#### ①山梨県立博物館運営委員会

##### i 運営委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

氏名	勤務先・役職等
小澤 龍一	(財)やまなし文化学習協会山梨県生涯学習推進センター前所長 みんなでつくる博物館協議会委員長
清雲 俊元	山梨郷土研究会理事長
五味 文彦	放送大学教授 東京大学名誉教授
萩原 三雄	帝京大学教授 帝京大学文化財研究所長
早川 源	公益財団法人 山梨県総合研究所副理事長
守屋 正彦	筑波大学教授

##### ii 運営委員会の検討状況

##### ■第28回運営委員会

日時：平成26年6月4日（水）

検討内容：平成27年度の企画展について

開館10周年事業について

平成26年度の調査研究事業について

##### ■第29回運営委員会

日時：平成26年10月24日（金）

検討内容：今年度・来年度の調査研究事業について

来年度以降の企画展について

開館10周年事業について

##### ■第30回運営委員会

日時：平成27年2月20日（金）

検討内容：平成27・28年度の企画展について  
開館10周年事業について

②山梨県立博物館資料・情報委員会

第II編第3章(1)で詳述

③みんなでつくる博物館協議会

i みんなつくる委員名簿(五十音順、敬称略)

氏名	勤務先・役職等
植松 光宏	なまよみ文庫館長
漆原 正二	山梨県農業協同中央会専務理事
小澤 龍一	(財)山梨文化学習協会生涯学習推進センター前所長
数野 妙子	甲府市立相川小学校教諭
新海 一男	山梨県中小企業団体中央会専務理事
末木 健	中央市豊富郷土資料館館長
丹沢 良二	(株)タンザワ会長
辻 茂	甲府市立甲府南中学校元校長
出澤 忠利	(株)印傳屋上原勇七総務部長
戸田 達昭	シナプテック(株)代表
長沢 宏昌	石和温泉活性化研究会副理事長
畑 大介	山梨郷土研究会事務局長
八田 知子	ホテル八田代表
山本 育夫	特定非営利活動法人つなぐ理事長
渡辺 昭夫	前富士河口湖旅館組合組合長・現相談役

ii みんなつくる検討状況

■平成26年度第1回みんなつくる協議会

日時：平成26年6月4日(水)

検討内容：開館10周年事業について

「かいじあむ みんなの研究」応募テーマの選考について

■みんなつくる協議会「みんなの研究」テーマ選考 小委員会

日時：平成26年7月17日(木)

検討内容：「かいじあむ みんなの研究」応募テーマの選考

■平成26年度第2回みんなつくる協議会

日時：平成27年2月20日(金)

検討内容：開館10周年事業について

博物館評価制度(H23-27)の進捗状況について

## 第10章 外部支援と連携

### (1) 外部支援

#### ■外部資金を得た調査・研究

第II編第2章(1)で詳述

#### ■委員等の受託

担当職員	役 職	主 管	委嘱期間
森原 明廣	公益財団法人やまなみ文化基金助成事業選考委員会委員	公益財団法人やまなみ文化基金	平成26年4月1日～平成28年3月31日
森原 明廣	連方屋数学术調査報告書執筆委員会委員	山梨市教育委員会	平成25年3月27日～事業終了
丸尾 依子	「河口の稚児の舞」調査委員会委員	富士河口湖町教育員会	平成26年3月29日～事業終了
堀内 眞	「河口の稚児の舞」調査委員会委員	富士河口湖町教育員会	平成26年3月27日～事業終了
堀内 眞	連方屋数学术調査報告書執筆委員会委員	山梨市教育委員会	平成25年3月27日～事業終了

### (2) 外部との連携

平成24年度に有形無形の文化財資源の保存と活用に努めるという共通の目的を持ち、博物館の相互の交流と連携を図ることを実践の貫徹を目指すため、「全国歴史民俗系博物館協議会」が設立された。

今年度は、平成26年7月17日(木)～18日(金)に第3回年次集会在ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)で「博物館の危機管理」をテーマに開催された。当館は、中部ブロックの副幹事館を務め、ブロック会議では「災害からの文化財資源の保護に係る地域ネットワーク形成」等について協議が行われた。

#### ■全国歴史民俗系博物館協議会への参加

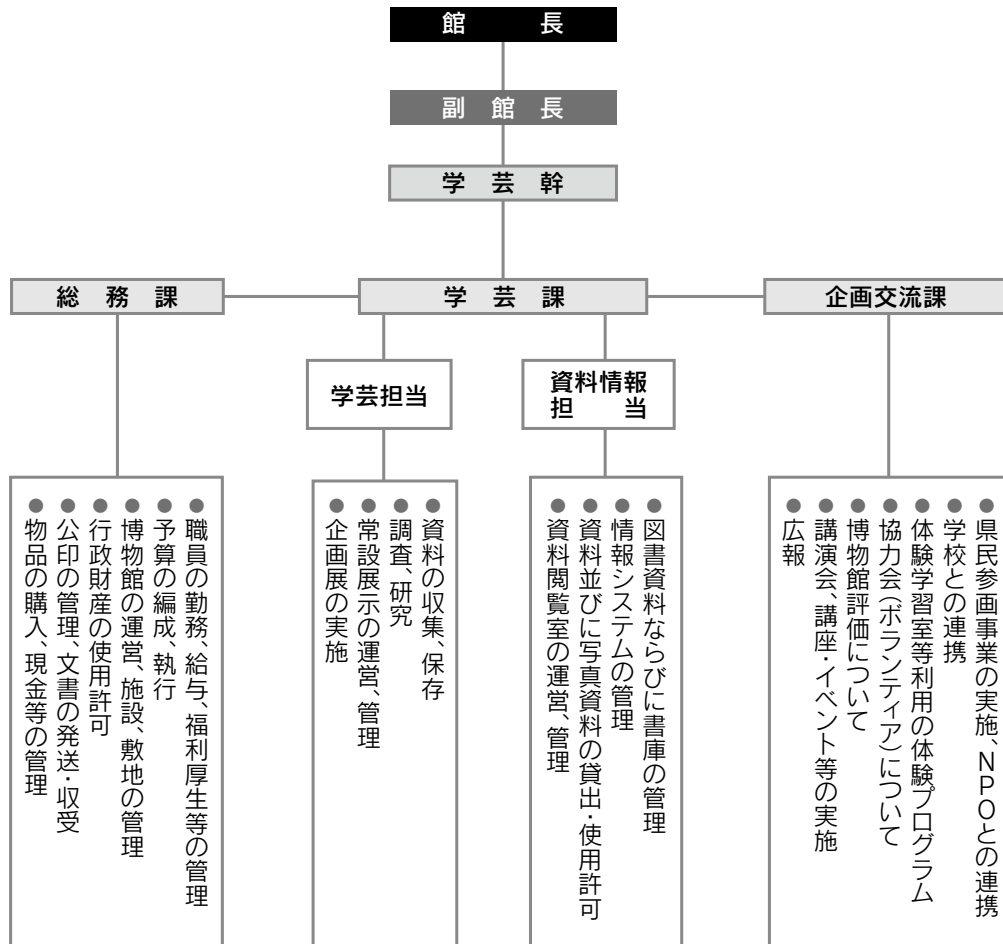
開催年月日	参加職員	場 所	内 容
平成26年7月17日(木)～18日(金)	平川 南(館長) 森原 明廣(学芸課長)	ふくやま草戸千軒 ミュージアム(広島県立歴史博物館)	全国歴史民俗系博物館協議会 設立集会(第3回年次集会) ○総会 ○研究集会 ・基調講演 ・報告 ○検討会 ・各ブロックにおける協議



# 第Ⅲ編 各種資料

## 1 組織・職員等名簿

### ■組織図



### 関係委員会

#### 運営委員会

- 博物館運営全般の専門的指導
- 企画展テーマ等に関する協議
- 共同調査、研究テーマ等に関する協議

#### 資料・情報委員会

- 資料収集の適否の審議
- 資料・情報の収集方針の検討
- 資料・情報の活用計画検討

#### みんなでつくる博物館協議会

- 利用者の立場からの博物館運営の検討
- 博物館評価制度の検討

■関係委員及び職員名簿

●山梨県立博物館運営委員会委員

第Ⅱ編第9章(2)参照

●山梨県立博物館資料・情報委員会委員

第Ⅱ編第3章(1)参照

●みんなでつくる博物館協議会

第Ⅱ編第9章(2)参照

●博物館職員 (H27. 3. 31現在)

館長	平川 南
副館長	小澤 賢蔵
総務課	
課長	河野 彰
副主査	渡邊 素子
主任業務員	白倉 政富
非常勤嘱託	村松亜紀子
非常勤嘱託	小幡 理美
非常勤嘱託	古屋恵里佳
非常勤嘱託	片山 敬子
非常勤嘱託	天野 幸代
非常勤嘱託	松野 美波
非常勤嘱託	石川 利彦
非常勤嘱託	米岡 京子
非常勤嘱託	今福 一仁
非常勤嘱託	今宮 美香
非常勤嘱託	若木俊一郎
非常勤嘱託	岩間しのぶ
非常勤嘱託	小林 可奈
非常勤嘱託	長坂 悠
非常勤嘱託	佐藤 栄治
非常勤嘱託	田口 美加
臨時職員	川崎 奈緒

学芸課

課長	森原 明廣	考古学
学芸担当		
学芸員	植月 学	古環境
学芸員	近藤 暁子	美術
学芸員	小畑 茂雄	歴史
学芸員	松田美沙子	美術
非常勤嘱託	堀内 眞	
非常勤嘱託	雨宮 美紀	

資料情報担当

副主幹	齊藤 初美	
学芸員	丸尾 依子	民俗
非常勤嘱託	宮澤富美恵	
非常勤嘱託	石原 宝	
非常勤嘱託	郷田 敦子	
非常勤嘱託	早川 美保	

企画交流課

課長	高野 玄明	
副主幹・教育主事	古屋 和彦	
主任・教育主事	天野 研	
学芸員	海老沼真治	歴史
学芸員	中野 賢治	歴史
非常勤嘱託	村松 良子	

## 2 平成26年度予算額

単位：千円

事業名	予算額	事業内容
博物館事業費	74,960	企画展運営、調査・研究事業、運営委員会・みんつく運営経費
歴史資料等収集費	15,217	歴史資料等の収集・保存・管理・修復、図書資料の整備
博物館運営費	216,321	施設管理、常設展示機器管理、非常勤職員人件費
合計	306,498	

※ 職員給与費を除く。

## 3 年間日誌

### ■主な出来事及び新聞記事から抄

平成26年4月1日（火）消費税法及び地方税法の一部改正に伴い、常設展示観覧料等を改定

平成26年5月10日（土）マンガのちから展1万人突破

平成26年6月7日（土）広重描いた富士一堂に（平成26年6月8日付「山梨日日新聞」）

平成26年7月3日（木）幽霊と妖怪の違い 学芸員が出前授業（平成26年7月4日付「毎日新聞」）

平成26年7月19日（土）幽霊・妖怪画大全集展開催（平成26年7月20日付「山梨日日新聞」）

平成26年8月7日（木）幽霊・妖怪画大全集展1万人突破（平成26年8月8日付「山梨日日新聞」）

平成26年8月20日（水）幽霊・妖怪画大全集展2万人突破（平成26年8月21日付「毎日新聞」）

平成26年9月10日（水）笛吹高校3年生が博物館の「古代の畠」で白菜の苗を植える（平成26年9月13日付「山梨日日新聞」）

平成26年10月11日（土）甲斐の黒駒展開催（平成26年10月11日付「山梨日日新聞」）

平成26年11月15日（日）県立博物館観覧者100万人（平成26年11月16日（月）付「山梨日日新聞」ほか）

平成27年2月7日（土）さわって感じる富嶽三十六景（平成27年2月6日（金）付「山梨日日新聞」）

平成27年3月28日（土）円空・木喰展開催



平成26年11月15日、100万人目の観覧者となったお客様へ、石川洋司県教育委員長より記念品を贈呈。

---

---

平成26年度 山梨県立博物館年報

発行日 2016(平成28)年3月18日  
編集・発行 山梨県立博物館  
〒406-0801  
山梨県笛吹市御坂町成田1501-1  
TEL 055 (261) 2631  
印刷 株式会社 少国民社

---

---